# 木更津市の教育

令和 元 年度

木更津市教育委員会

#### はじめに

市政の発展にともない、木更津市の教育が遅滞なく着実な歩みを続けておりますことは喜びに耐えないところであります。これもひとえに、教育関係各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力に賜物であり、深く感謝申し上げます。

令和元年度は、向こう4年間の教育施策の基本的な方向を示した「第2期 木更津市教育振興基本計画」及び本市の教育施策推進の指針となる市長策定 の「木更津市第2次教育大綱」をスタートいたしました。さらに、中郷小学 校においては、新校舎での生活が始まるとともに、懸案事項でありました夏 の猛暑対策としてのエアコン整備は、普通教室への設置が完了しました。ま た、小中一貫教育校として歩み出した(通称)富来田学園では、様々な取り 組みが進められています。

現在、木更津市では、全国的な少子化社会の中、定住促進による人口増加がみられ、児童生徒数もほぼ横ばいの状況にあります。このような中、木更津市の教育の基本理念である「子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり」は、この地域が活力ある豊かな社会として発展していく上で、欠くことのできない取組条件であり、教育の果たす役割は、ますます重要なものになってきています。

教育をめぐる社会環境が大きく変化している中、今後も「まちづくりの礎は人づくり」という強い思いをもって、様々な教育環境の整備、施策の推進にあたってまいりたいと考えています。

ここに、令和元年度の「木更津市の教育」を刊行し、本市の教育の現況を お知らせするとともに、木更津市教育の更なる進展に向けて、今後のご指導 ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年3月

教育長 髙澤茂夫

## 木更津市の教育目標

## 子どもを育む環境づくり

- 1. 子育て支援の充実
- 2. 学校教育の充実
- 3. 青少年の健全育成

## まちを支える人づくり

- 1. 社会教育の推進
- 2. スポーツ・レクリエーションの振興
- 3. 市民文化の充実
- 4. 人権擁護の推進

## 目 次

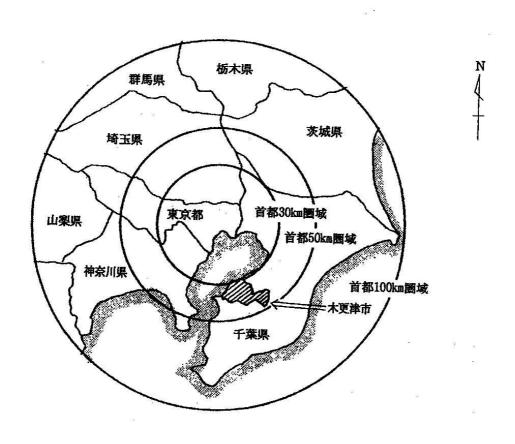
は	Ü	め	1=	
木更	津市	方の教	女育 目	標

1.	<b>木 更</b> 位 沿	置•				施•	行 •		人 ·	П •	•			•																		•		3
2.	<b>木更</b> 教	<b>津市</b> 育振					<b>注</b> 言	† •	回 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		g
3.	<b>木更</b> 教	<b>津市</b> 育			· ·	•			•	•						•	•								•				•			•	•	15
4.	<b>教</b> 教	<b>育</b> 育					•		•		•				•					•	•		•	•		•	•						•	21
	-	育委																																22
	-	育委	-																															23
	教	育委	員会	幾核	<b></b> 冓図										•						•											•		24
		育委													•						•						•					•		27
	教	育	財	政	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	28
5.	学	校	教	Ż	育																													
	重	点	目	標	•	•	•		•	•	•			•	•	•		•	•	•			•	•	•	•	•				•	•	•	31
	小	• #	学核	₹— <u></u>	覧	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	36
	教	育相	談•	教耳	哉員	研	修	•	学	校	支	援	事	業		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	38
	幼	児言	語教	室	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	39
	特	別支	援教	育	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	40
	就	学	援	助	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	42
	学	校	保	健	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	43
	بردر																																	
	子	校	給	食	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	45
6.	生	涯	学	<u>5</u>		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		
6.	<b>生</b> 重	<b>涯</b> 点	<b>学</b>	<b>查</b> 標	•																													49
6.	<b>生</b> 重 社	<b>涯</b> 点 会教	<b>学</b> 目 :育事	標業	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	49 54
6.	<b>生</b> 重 社	<b>涯</b> 点 会教	学 目 :育事 : <b>己</b>	標業館	•	•							•	•				•						•							•	•	•	49 54 57
6.	<b>生</b> 重社公少	<b>涯</b> 点 教 手自	<b>学</b> 目 育事 民 然の	左 標業館家	・・・・	・ ・ ン	・ ・ プ	· · 場		•			•	•		•	•	•							•						•	•	•	49 54 57 71
6.	<b>生</b>	<b>涯</b> 点 教 手自	<b>学</b> 目 育 民 然 書	■ 標業館家館 「標業館家館	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ ・ ン	・プ・・	· · 場		•	•			•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•		•		•	•	•	49 54 57

7.	資料	4																										
	歴代教育委員及	び教育長		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	87
	教育功労被表彰	者一覧	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	90
	市内指定等文化	財一覧	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	93
	学校施設等		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	95
	社会教育施設		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	97

1. 木 更 津 市 の 概 要

## 位 置



## 地勢

令和2年1月1日現在

市役所	の位置	広	ぼう	標	高	面積
東経	北緯	東西	南北	最高	最低	田 作
139° 92′ 48″	35° 38′ 12″	21.98km	14. 54 km	200. 0m	0.1m	138. 95 kui
				真里谷	畔戸	

## 市制施行

昭和17年11月3日

### 人口

135,617人(令和2年1月1日現在の住民基本台帳による)

### 沿 革

「きさらづ」の名が文献に現れてきたのは、鎌倉時代に入ってからであるが、日本武尊の東夷征討 伝説として『相模の走水から上総へ渡ろうとしたとき、海上にわかに強風が起こり、船はいまにも転 覆せんとした。尊の妃弟橘媛命は、身をもって尊の命を救わんと海中に身を投じ、海神を慰めたので、 怒濤はたちまちにしておさまり、無事上総へ渡ることができた。尊は、媛の末路を哀れみ、その運命 を悲しんで、しばしこの地を去らず、後年この地を「君不去」(きみさらず)と名づけ、更になまりが 変って「きさらづ」になった』という話が語り継がれている。

菅生の弥生時代農耕遺跡や長須賀の金鈴塚古墳から発掘された金鈴や飾り大刀などから考えてみて も、木更津の地が古代から豪族や庶民の一大集落地として栄えていたことが立証される。

古代から平安時代の末までは、馬来田国造の支配や上総氏一族の支配を経て、鎌倉時代に入った。 室町・戦国時代には、真里谷武田氏・北条氏・里見氏の勢力がこの地の覇権を争った。天正18年 (1590)、里見氏削封の後、江戸時代の末に一部請西藩の領地になったが、概ね旗本の知行所となり、 明治維新に及んだ。

明治元年(1868)4月、木更津・貝渕・吾妻の3村は上総・安房監察兼知事柴山典の所轄となり、明治4年(1871)廃藩置県の改革によって桜井県の所轄に、更に同年11月には従来の諸県が廃されて木 更津県となったものの、明治6年(1873)6月、木更津県は廃され千葉県を置くこととなった。

明治11年(1878)、県の官制改革によって郡制が設けられ、郡区町村編成法を定めて望陀・周淮・ 天羽の3郡を一区画とし、郡役所を木更津村に置き、望陀周淮天羽郡役所と称した。

その後は郡長の下に戸長制を敷いていたが、明治22年(1889)4月、市町村制が実施されて木更津・ 貝渕・吾妻の3村が合併し木更津町ができた。

明治30年(1897)4月に郡制が施行されて望陀・周淮・天羽の3郡は君津郡と改称され、大正15年(1926)6月、郡役所廃止に至るまで、君津郡役所の所在地となった。

昭和7年(1932)、県営築港に着手、時を同じくして海面埋立工事が行われ、翌昭和8年(1933)4月には隣接の真舟村を合併して町勢は著しく進展した。

昭和11年(1936)、築港・埋立の両工事が完成し、海路による京浜方面への利便は一段と増す一方、同年4月、木更津海軍航空隊が設置され、更に昭和16年(1941)11月、隣接の岩根村に工員1万7千人を擁する海軍航空廠が設置されたことにより、一躍軍都としてのめざましい発展を見るに至り、 隣接町村間との市制施行の盛り上りによって、昭和17年(1942)11月3日、木更津町、清川村・岩根村・波岡村による1町3村が合併し、市域54.23k㎡、人口33,817人、全国第197番、千葉県下6番目の市として木更津市が誕生した。

木更津市はそのまま軍都として繁栄するかと思われたが、市制施行後3年目にして太平洋戦争も終わり、一転して商業都市としての新しい第一歩を踏み出すことになった。

昭和28年(1953)、町村合併法の公布によって、木更津・鎌足・金田・中郷の1市3村の合併問題が討議され、翌昭和29年(1954)11月3日に鎌足村を、同30年(1955)2月11日に金田村を、同年3月1日に中郷村をそれぞれ合併し、一躍、人口も5万人を超える木更津市となった。

やがて一連の臨海部埋立による京葉臨海工業地帯の発展に伴い、昭和36年(1961)、隣接の君津町 (現君津市)と本市の臨海部にまたがって八幡製鐵(現日本製鉄㈱)の進出が決まり、同40年(1965)の操業を契機として関連企業の進出による工業化も一段と進展するなか、内陸部での土地区画整理事

業をはじめ民間宅地造成等の開発も急速に進み、首都圏内の近郊都市として発展、同43年(1968)4 月、木更津港の重要港湾指定により著しい変貌を遂げてきた。

昭和46年(1971)9月に富来田町と合併し概ね現在の市域となり、昭和40年代~50年代にかけては、市民体育館、中央公民館、保健相談センター、市民総合福祉会館などの教育施設や福祉施設などの充実が進んだ。

時代が平成に変わってからは、平成4年(1992)、首都機能の一躍を担う業務核都市に位置づけられるとともに、県の千葉新産業三角構想(昭和58年)の一角に位置づけられたかずさアカデミアパークの整備が進展した。

平成9年(1997)には東京湾アクアラインが開通し、東関東自動車道館山線や首都圏中央連絡自動車 道等の整備とあわせ、交通の結節点としての機能が強化された。

その後、東京・神奈川とを結ぶ東京湾アクアライン高速バス網の充実や平成21年(2009)から実施された東京湾アクアライン料金引下げ社会実験による地域経済への様々な波及効果等から、平成23年(2011)には人口が13万人を超えた。

平成24年(2012)には、かずさアクアシティの金田東地区まちびらきに伴い、大型集客施設が相次いで開業するとともに、第1回目のちばアクアラインマラソンが開催されるなど、交流人口の増加が顕著となる。

平成26年(2014)10月には、築地地区に大型集客施設が開業するとともに、平成29年(2017)10月には、道の駅「木更津 うまくたの里」が開業し、地域全体への活力や求心力が高まりをみせている。

	_	
	c	
-	n	-

## 2. 木更津市 教育振興基本計画

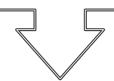
#### 【教育の基本理念・指針と基本目標】

教育の基本理念

子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり

教育の基本指針

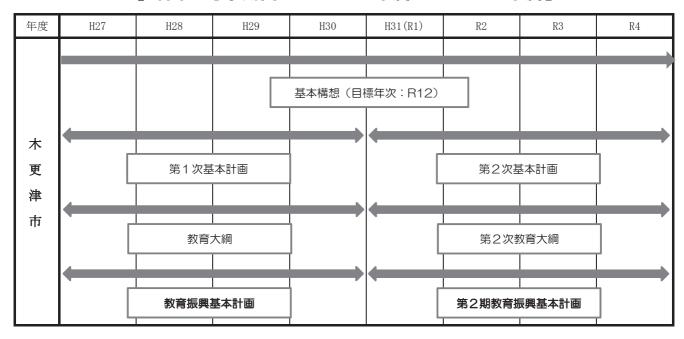
まなびあい、きらりかがやく「教育都市きさらづ」



#### 基本目標

- 1 次代を担う子どもたちを地域の中で安心して産み育てることができる環境づくりをめざします。
- 2 児童・生徒の「生きる力」を育むため、家庭や地域社会から信頼される魅力ある学校づくりをめざします。
- 3 青少年の健やかな成長を社会全体で支える仕組みを整備し、ひとりの人間として自立した、こころ豊かな人間性と主体的な判断力をもつ青少年を育みます。
- 4 自然と文化を愛し、だれもが自ら学び、健康で生きがいのある生活を送ることができる生涯学習社会の実現をめざします。
- 5 健康の保持・増進や市民相互の交流を促進するために、市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができ、 運動習慣を身につけることができる生涯スポーツの環境づくりをめざします。
- 6 歴史・文化・芸術に触れる機会を市民に提供することで、市民による芸術文化活動を活性化するとともに、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐことをめざします。
- 7 人権問題に対する正しい認識を広めることにより、だれもがお互いを認めあい、自分らしい生き方ができる差別のない社会をめざします。

#### 【計画の対象期間:2019年度~2022年度】



### 【基本目標を実現するための政策・施策】

基本理念	基本目標	政策	施策
	1 次代を担う子ども たちを地域の中で 安心して産みることが 道づくりをめざし ます。	<i> 子育て支援の充実</i>	子育て支援の充実  ①子どもの居場所づくり ア)放課後等の子どもの居場所づくり(生学) イ)余裕教室の活用促進(教総)
子どもを育む 環境づくり	2 ・生徒を育め、からあるさします。 をあるさします。 ・生きめ、からあるがあるがします。	<Ⅱ> 学校教育の充実	学校教育の充実
	3 青少年を全体を を全全を を全をを を全る、しこ性と が他を がで整人 で で で で で で で と の に り い し こ と り に と り に と り と と も と の し と り に り に り に り に り に り た り た り し り た き ま も き ま き ま き ま ま き ま ま ま ま ま ま ま ま ま	<Ⅲ> 青少年の健全育成	青少年の健全育成  ①青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上 ア)青少年育成支援施策の総合的な推進(生学) イ)地域の教育力の向上(生学) ウ)地域の青少年健全育成活動の支援(生学) ②青少年育成事業の推進 ア)青少年育成事業の推進 ア)青少年自然の家キャンプ場の利用促進(生学) ウ)ボランティアの活用と活性化(生学) ③青少年を取り巻く環境浄化と非行防止 ア)社会教育指導員等専門家による相談活動の実施(まなび) イ)青少年への愛の一声運動による非行防止活動(まなび) ウ)青少年非行防止啓発活動の実施(まなび・生学) エ)有害環境浄化活動の推進(まなび・生学) オ)連携・ネットワークによる青少年指導関係事業の実施(まなび)

<sup>\*「</sup>資産」表記については、関係部署となる総務部資産管理課を指す。

0	基本目標	政 策	施策	
			社会教育の充実  ①生涯学習・社会教育推進体制の充実 ア) 市民参画による社会教育行政の推進(生学) イ) 社会教育振興のための支援体制の充実(生学) ウ) 生涯学習の基盤整備と総合調整(生学)	
	4 自然と文化を愛 し、だれもが自ら		②生涯学習・社会教育活動の充実 ア)子育で・家庭教育支援事業の充実(生学) イ)女性の社会参加の促進(生学) ウ)生涯学習を通じたまちづくりの振興(生学) エ)社会教育関係団体の育成と支援(生学) オ)生涯学習成果の活用(生学)	
	学び、健康で生き がいのある生活を 送ることができる 生涯学習社会の実 現をめざします。	<iv> 社会教育の推進</iv>	③図書館サービスの充実 ア)地域の実情に即した図書館運営(図書館) イ)公民館等地域の読書環境の充実(図書館・公民館) ウ)学校との連携の強化(図書館・学教) エ)魅力ある図書館事業の展開(図書館)	
			⑤社会教育施設の整備 (郷土博物館金のすずを除く) ア) 社会教育施設の耐震対策 (資産・生学・公民館) イ) 社会教育施設の適正な保全・整備 (資産・生学・公民館)	
まちを支える 人づくり	5 健市では、 は で は は は は は は は は は は は は は は は は	<v> スポーツ・レクリ エーションの振興</v>	スポーツ・レクリエーションの振興  ①スポーツ・レクリエーション活動の推進 ア)スポーツ大会の誘致促進(学教) イ)学校体育施設の放課後開放(教総)	
			市民文化の充実	
	6 歴史・文化・芸術に触れる共産に無いる。 に無規提市民の名とで、文化ところる芸術ではとともに産って、 をいるとともに産って、 地域など、 地域などの文とは	<vi> 市民文化の充実</vi>	①芸術文化活動の推進 ア)芸術文化活動の充実(文化) イ)芸術文化団体への支援(文化) ②ふるさと文化の継承 ア)文化財保護対策の推進(文化) イ)埋蔵文化財保護対策の推進(文化) ウ)木更津市史の編さん・刊行(文化) エ)博物館事業の充実(博物館)	
	伝統芸能を次世代に引き継ぐことをめざします。		オ) 金鈴塚古墳出土品の調査研究の推進(文化・博物館) カ) 郷土に関する調査研究の推進(文化・博物館) ③文化施設・郷土博物館金のすずの整備 ア) 文化施設の適正な保全・整備(資産・文化・博物館)	
	7 人権問題に対する 正しい記識を広め ることによりを れもがおれるいを がおり があり がと があり が が が が が が が が が さ こ が が ら こ が が ら い に が が ら こ が が ら に が が ら に が が ら に が ら い ら に が ら い ら に が ら い ら に う だ が ら る き を が ら る と が ら る と が め る と が め る と が め め る と め め め め め め め め め め め め め め め め	<vii> 人権擁護の推進</vii>	人権擁護の推進 ①人権意識の高揚 ア)人権教育研修会の開催(生学) イ)人権啓発活動の実施(生学)	

- 12 -
--------

## 3. 木 更 津 市 教 育 大 綱

## 木更津市第2次教育大綱

#### 1 趣旨

平成27年4月から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、市長と教育委員会から構成する総合教育会議を設置することが義務付けされました。

また、同会議において、地域の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされ、本市では平成27年11月に木更津市教育大綱を策定し、市長と教育委員会が連携してそれぞれの施策を進めてきました。

今般、この教育大綱の期間が平成31年3月をもって終了することから、市長と教育委員会が協議、 調整のうえ、新たな教育大綱を定めるものです。

#### 2 大綱の位置づけ

市長は、総合計画である「木更津市第2次基本計画」を、教育委員会は、教育振興の基本計画である 「第2期木更津市教育振興基本計画」を所管し、施策を推進しています。

この教育大綱は、市長が教育行政のうち、特に重点的に教育委員会と連携して進めるべき事項について、総合教育会議における協議を経て定めたもので、「木更津市第2次基本計画」及び「第2期木更津市教育振興基本計画」と同様に7つの施策から構成されます。

**3 計画期間** 2019年4月から2023年3月まで

#### 4 基本目標

魅力あふれる 創造都市 きさらづ~東京湾岸の人とまちを結ぶ躍動するまち~(木更津市基本構想)

- ・人がつながり支え合うまちづくり(木更津市第2次基本計画・重点テーマ) 良好な教育環境の提供
- ・~まなびあい、きらりかがやく「教育都市きさらづ」~(第2期木更津市教育振興基本計画)

#### 5 基本施策

#### (1)子育て支援の充実

①児童生徒の放課後の居場所づくりを推進します。

放課後に児童生徒が安心して過ごせる場所が必要です。引き続き放課後子ども教室や放課後児童 クラブに関する施設整備や担い手の確保を進め、放課後に児童生徒が安全かつ有意義に過ごせる居 場所をつくり、子育てを支援します。

#### (2) 学校教育の充実

①小中学校の統合の検討及び学校跡地の利活用を進めます。

「木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」に基づき、小中学校の再配置 を進めるとともに、同方針と整合を図り、統合後の学校跡地の有効活用や社会教育施設との複合化 を検討します。 ②グローバルな人材を育成します。

外国語指導助手(ALT)の拡充や海外の友好都市との交流により、児童生徒の国際的な視野を 養うとともに、コミュニケーション能力を高めます。

③健康な体を育むために、児童生徒の体力向上に取り組みます。

児童生徒の体力向上や健康づくりを支援していくとともに、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機として、児童生徒のスポーツに親しむ意識を高めます。

④顔の見える「地産地消」給食を推進します。

児童生徒の食育や持続可能なまちづくりに対する関心を高め、郷土意識の醸成を図るため、学校 給食に地元で採れた有機・無農薬米や野菜等の素材を取り入れる地産地消給食を拡大していくとと もに、これをきっかけとした地域の人たちとの交流を広げます。

#### (3) 青少年の健全育成

①青少年が地域社会の一員となるよう支援します。

価値観やライフスタイルの変化により青少年が地域の人たちと交流する機会が減少しています。 青少年が地域の人と交流し、地域を支える担い手となる人づくりを進めます。

#### (4) 社会教育の推進

①社会教育施設とその機能の充実を図ります。

「木更津市公共施設再配置計画」等に基づき、機能の維持を図りながら社会教育施設と小中学校との複合化による再配置を検討します。

②住民主体の地域づくりの担い手を育成、支援します。

防災や福祉、青少年健全育成などについて、解決すべき地域の課題があります。地域で自ら課題 を解決する力を養い、協働してまちづくりを進められる地域の担い手の育成、支援をします。

#### (5) スポーツ・レクリエーションの振興

①学校体育施設の有効活用を図ります。

市民が気軽にスポーツをするための施設の確保が必要です。引き続き、学校体育施設の有効活用を積極的に進めます。

②スポーツ大会の開催及び誘致・支援を推進します。

江川総合運動場の陸上競技場等を活用して、児童生徒を対象とした各種スポーツ大会を積極的に 誘致するとともに、児童生徒がスポーツに接する機会を増やします。

#### (6) 市民文化の充実

①多彩な芸術文化活動を推進します。

市民が身近な地域文化や多彩な芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民の芸術文化活動の発表の場となる新たな市民会館ホールの建設及び運営方法について検討します。

②文化財を活用した地域の活性化を推進します。

金鈴塚古墳出土品など地域の特色ある文化財の価値や魅力を市内外に広く発信することを通じて、郷土意識の醸成や観光・産業振興等に活かします。

#### (7) 人権擁護の推進

①人権問題に係る教育や啓発等を推進します。

児童虐待、いじめ問題などの身体的、精神的な暴力の防止を図るとともに、LGBT等への差別、 偏見などさまざまな人権問題に対して、多様性を認め合える豊かな心の育成をします。

- 18 -	
--------	--

## 4. 教 育 行 財 政

## 教育委員



**教育長** 髙澤茂夫



**教育長職務代理者** 武 井 紀 夫



**委 員** 渡 部 佳 子



**委 員** 豊 田 雅 之



**委 員** 井 上 美 鈴

役	職	氏	名	就任年月日	職業
教	<b>是</b>	髙澤	茂夫	Н 27. 4. 1	
教育長職	務代理者	武井	紀 夫	Н 21. 10. 1	医 師
委	員	渡 部	佳 子	H 28. 10. 1	
委	員	豊田	雅之	Н 30. 10. 1	会社役員
委	員	井 上	美鈴	R 1. 10. 1	大学講師

## 教育委員会会議

#### 〇 平成30年及び平成31年(令和元年)の会議開催数

区分	回数			
	Н30	H31 (R1)		
定 例 会	12	12		
臨時会	1	1		
計	13	13		

#### 〇 平成30年及び平成31年(令和元年)に議決された案件

H	件数		
内 C	Н30	H31 (R1)	
○教育行政の運営に関する基本方針の決定に関すること。	2	3	
○教育委員会事務の点検評価に係る報告書の作成・議会への報告・公表	1	1	
○教育機関の設置及び廃止に関すること。			
○教育財産の取得及び処分の申し出に関すること。		1	
○職務の級が5級以上の職員等の任免に関すること。	2	1	
○校長及び教頭の進退の内申に関すること。			
○職員及び教職員の分限及び懲戒の処分に関すること。			
○教育委員会規則の制定又は改廃に関すること。	6	9	
○教育功労者の表彰に関すること。	1	1	
○議会の議決を要する事件の議案の申し出に関すること。	10	5	
○教育機関の敷地並びに建物の設定又は変更に関すること。	1		
○附属機関の委員の任命又は委嘱に関すること。	8	8	
○教育関係職員の研修の一般方針の決定に関すること。			
○教科書採択及び教科書等の取扱いの一般方針の決定に関すること。	2	2	
○学校の通学区域の設定又は変更に関すること。			
○文化財の指定及び解除に関すること。			
○職員団体との重要な交渉に関すること。			
○請願及び陳情に関すること。			
○その他	6	3	
計	39	34	

### 教育委員会表彰

昭和28年「教育功績者表彰内規」が制定され、木更津市教育の向上に功績のあった個人及び団体について表彰していたが、昭和44年「教育委員会表彰規程」に改正され、木更津市における教育・学術又は文化の振興に関し、特に顕著であった個人又は団体を表彰するもので、11月に表彰式を行う。

#### 〇表 彰 基 準

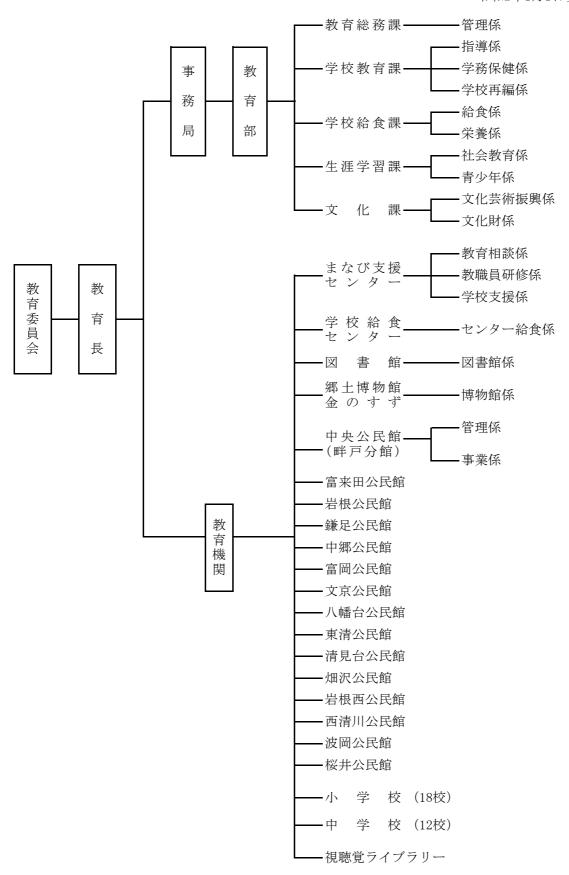
- 1. 職員にして教育向上のため尽力し、その功績が顕著なもの
- 2. 有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの
- 3. 学校教育又は社会教育の振興について、その功績が顕著であったもの
- 4. 学術又は文化の向上発展について、その功績が顕著であったもの
- 5. 上記1~4以外で、表彰することが適当と認められる業績があったもの

#### 〇 令和元年度被表彰者

区分	所属等	氏 名	備 考
1号	木更津第一中学校 校長	廣部昌弘	
1号	清見台小学校 校長	佐 藤 千 明	
1号	八幡台小学校 校長	田村淳也	
1号	木更津第二中学校 校長	矢 野 直 明	
1号	富来田小学校 教頭	北川久雄	
1号	鎌足中学校 教頭	越川茂夫	
1号	木更津第一小学校 教諭	伊藤裕美	
1号	富来田小学校 教諭	星野志げ子	
1号	畑沢小学校 教諭	鈴 木 一 枝	
1号	真舟小学校 教諭	緒形由美子	
1号	岩根中学校 教諭	鶴岡宗一	
1号	東清小学校 事務長	中澤恵	
3号	木更津市スポーツ推進委員会	松本衣江	
4号	木更津ユネスコ協会		※団体表彰

#### 教育委員会機構図

令和2年1月1日現在



#### 〇 事務局(教育部)の業務内容

課名	主 な 業 務 内 容
教育総務課	教育委員会会議、職員の任免・分限・服務及び身分、教育財産の取得又は処分・
	契約・登記及びその他管理、奨学基金、学校施設台帳の保存
学校教育課	教育課程・学習指導その他学校教育の指導、教職員の研修、教職員の配置等・
	人事、通学区域、学校保健、学校再編の計画推進
学校給食課	学校給食の運営、学校給食費の賦課・徴収
生涯学習課	生涯学習事業の企画及び振興、社会教育関係団体の育成、生涯学習バスの管理
	運営、青少年健全育成、少年自然の家キャンプ場
文 化 課	芸術・文化の振興、芸術文化団体の育成、文化財の調査・保護及び活用、埋蔵
	文化財の保護対策、文化財の指定及び管理、木更津市史の編さん

#### 〇 教育機関の業務内容

機関名	主 な 業 務 内 容
まなび支援	幼児及び保護者に対する指導・助言、教育相談教室・学校適応指導教室の
センター	運営、教職員研修の企画・運営、外国語指導助手の配置・指導等、青少年
	の非行防止・指導及び相談
学校給食	学校給食センターの管理運営、学校給食の献立作成・食材契約、配食校の食
センター	指導関係、食物アレルギー対応
図書館	図書館の管理運営、図書の管理・貸出、図書館協議会
郷土博物館	郷土博物館金のすずの管理運営、郷土博物館金のすず協議会、
金のすず	旧安西家住宅
公 民 館	公民館の管理運営、公民館の利用、定期講座、講習会等
視聴覚	
ライブラリー	視聴覚教材及び視聴覚機材の整備及び貸出しに関すること
(生涯学習課内)	

#### 〇関係部局の業務内容

課名	主 な 業 務 内 容					
資産管理課	教育施設の整備、学校施設整備計画、学校施設整備に係る国庫補助金等、					
	学校施設台帳の整備、学校教育施設整備基金					

## 教育委員会職員数

令和2年1月1日現在

#### 〇 事 務 局

課	_	\	罪	<b>哉</b>	部 長部参事	次 長参 事	課補主	副主幹	主査	主任主事 主任技師	主 事 栄養士	事務員嘱託員	計
教		育		部	1								1
教	育	総	務	課		1	1		1	2		1	6
学	校	教	育	課		1	3	1	7		1	非(1)	13 非(1)
学	校	給	食	課			1	2		1	2		6
生	涯	学	習	課			1	2		1	1	2	7
文		化		課		1	2	2	1	1			7
		計			1	3	8	7	9	5	4	3 非(1)	40 非(1)

#### 〇教育機関

<u>U 软 月 1%</u>										
機関	職	館長所長	主 幹副館長	副館長副主幹	主査	主任主事主任技師	主事	事務員 栄養士	指相導員 指導護 指導援 管理人	計
ま な び セ ン	支 援 タ ー	1	1	1	3	2			非(28)	8 非(28)
学校給食も	<b>ニンター</b>	1				1		1		3
図書	館	1 兼(1)	1		7	3				12 兼(1)
郷 土 博金 の	物 館 す ず	非(1)	1	2		2				5 非(1)
公 民	館	4 非(11) 兼(1)	1	5	9	9	4	0	非(10)	32 非(21) 兼(1)
計		7 非(13) 兼(2)	4	8	19	17	4	1	非(35)	60 非(48) 兼(2)

#### 〇小中学校

<u> </u>						
職 学校	主査	栄養士	総括:学校事務員 用務員・調理員	主任:学校事務員 用務員・調理員	学校事務員 用務員・調理員	計
小学校	1	5	5	3	非(15)	14 非(15)
中学校			1	5	非(10)	6 非(10)
計	1	5	6	8	非(25)	20 非(25)

## 教 育 財 政

#### 〇 項目別教育費

単位:千円

払 巧		令和元年度	当初(A)	平成30年度	当初(B)	比較	<u>単位:十円</u> ((A)-(B))
款項	目	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
50 教育	育費	4, 291, 809	100.0%	4, 320, 159	100.0%	△ 28, 350	△ 0.7%
5	教育総務費	477, 478	11.1%	458, 691	10.6%	18, 787	4. 1%
	5 教育委員会費	17, 450	0.4%	17, 501	0.4%	△ 51	△ 0.3%
	10 事務局費	361, 295	8. 4%	356, 249	8. 2%	5, 046	1.4%
	17 まなび支援センター費	98, 733	2.3%	84, 941	2.0%	13, 792	16. 2%
10	小学校費	898, 413	20.9%	1, 180, 406	27. 3%	△ 281, 993	△ 23.9%
	5 学校管理費	515, 900	12.0%	372, 213	8.6%	143, 687	38. 6%
	10 教育振興費	147, 785	3. 4%	111, 313	2.6%	36, 472	32. 8%
	15 学校建設費	234, 728	5. 5%	696, 880	16. 1%	△ 462, 152	△ 66.3%
15	中学校費	512, 519	11.9%	297, 532	6. 9%	214, 987	72. 3%
	5 学校管理費	245, 437	5. 7%	203, 062	4. 7%	42, 375	20. 9%
	10 教育振興費	99, 463	2.3%	94, 470	2. 2%	4, 993	5. 3%
	15 学校建設費	167, 619	3. 9%	0	0.0%	167, 619	_
20	幼稚園費	0	0.0%	0	0.0%	0	_
	5 教育振興費	0	0.0%	0	0.0%	0	_
25	社会教育費	988, 559	23.0%	992, 236	23.0%	△ 3,677	△ 0.4%
	5 社会教育総務費	161, 518	3.8%	164, 195	3. 8%	△ 2,677	△ 1.6%
	10 青少年育成費	11, 930	0.3%	13, 918	0.3%	△ 1,988	△ 14.3%
	15 公民館費	476, 295	11.1%	590, 127	13. 7%	△ 113, 832	△ 19.3%
	20 図書館費	120, 427	2.8%	123, 067	2. 8%	△ 2,640	△ 2.1%
	25 少年自然の家費	12, 594	0.3%	8, 764	0. 2%	3, 830	43. 7%
	27 博物館費	199, 516	4.6%	86, 167	2.0%	113, 349	131. 5%
	30 生涯学習まちづく り推進事業費	6, 279	0.1%	5, 998	0. 1%	281	4. 7%
30	保健体育費	1, 414, 840	33.0%	1, 391, 294	32. 2%	23, 546	1. 7%
	5 保健体育総務費	0	0.0%	0	0.0%	0	_
	10 体育施設費	0	0.0%	0	0.0%	0	
	20 学校給食費	1, 414, 840	33.0%	1, 391, 294	32. 2%	23, 546	1. 7%

<sup>\*</sup> 市民1人あたり教育費予算

31,647 円

(令和2年1月1日現在住民基本台帳人口135,617人)

## 5. 学 校 教 育

1

# 「確かな学力」を備え、心身共に健康で、「生きる力」を身につけた児童生徒の育成

家庭・地域社会から信頼され、魅力ある学校づくり

# 学校教育の重点目標

# 1.学習習慣の形成

- ① 基礎的・基本的学力の定着
- ② 学習意欲を高める授業改善の推進
- ③ 学習に前向きな集団づくり
- ④ 読書活動の推進
- ⑤ 特別支援教育の充実
- ⑥ 家庭学習の習慣化
- ⑦ キャリア教育の推進
- ⑧ 外国語教育・活動の充実
- ⑨ 情報教育の充実

1

# 2. 心の教育の推進

- ① 人権意識の高揚と道徳教育の充実
- ② 3つの心「やさしい心」、「ルールを守 る心」、「一生懸命取り組む心」の育成
- ③ いじめのない集団づくり
- ④ 長欠児童生徒対策の取組の強化
- ⑤ 校内教育相談体制の確立
- ⑥ 自己評価を高める生徒指導の推進

# 3. 健康・体育・安全指導の充実

- ① 健康的な生活習慣の定着
- ② 「食」に関する指導の推進
- ③ 学校安全指導体制の確立
- ④ 地域の安全ネットワークの整備・充実
- ⑤ 運動意欲の高揚と体力増進
- ⑥ 保健・体育授業の
  - 工夫・改善



#### 具 体 取組 校に おけ 的 **る**

- ★年間1回は、算数数学検定を受検す るように働きかける。 ※算数・数学ドリルの活用
- ★授業改善研究協力員や層別教員の相 2
- ▼投来以告切れ励力員で高加多点の10 互授業参観を設定する。 ★県標準学力検査において、各学年の 教科平均の半数以上が県平均点を上 3 回る。
  - ★月1冊以上読書をする児童生徒を90 %以上にする。
- ★県標準学力検査の国語「読むこと」 4 の領域で、全学年、県平均点を上回る。 ※木更津読書プランの活用
- ★校内委員会を定例化し、個別の教育支援 (5) 計画、個別の指導計画の作成、活用を図る。 (通常学級含む) ※特別支援教育木更津システムの活用
- ★家庭学習啓発資料を作成し、家庭に 6 配布する等、家庭学習の定着を目指 した取組を行う。
  - 6年生の就業密着観察学習を
- 推進する。 2年生の職場体験学習を充実 7 させる。
- ★ (小・中) ALTとのティームティーチングを 通して、外国語教育を充実させる。 (中) 県標準学力検査の英語「聞くこと」の 8
  - 領域で、全学年県平均点を上回る。
- ★コンピュータの稼働率を60%以上に する。 9

- ★「考え、議論する道徳」を意識した 道徳科・道徳の時間の学習を、年35
- 時間確実に実施する。 ★地域行事に積極的に参加させる (地域との交流・ボランティア活動)
- 「木更津市いじめ防止対策基本方針」 に則した各学校の基本計画を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化
- 2 ★学級経営、いじめ対策(生徒指導・ 教育相談・望ましい集団作り)に関 する取り、いじが対象に

  - ★年間3回、いじめ実態調査を行う。 ★児童生徒の自治的活動による「いじ め防止」を推進する。
  - ★生徒指導部会を組織し、関係機関と の連携ネットワークを明確にする。
- ★生徒指導の機能を生かした学級経営、 授業づくりを推進する。
  - ★情報モラルに関する指導の強化を図る。
  - ★定期教育相談を、年間2回以上実施する。
- ★スクールカウンセラー、心の教室相 談員等の役割を明確にし、効果的に 活用する。
- ★市教育相談教室を効果的に活用する。
- 化し、長火石ルサー を図る。 (小)長欠率を1%以内にする。 (中)長欠率を4%以内にする。

- ★望ましい食生活に関する指導を、全 学級で年間1回実施する。
- ★保健の授業で、生活習慣病の予防及 (1) びがん教育に関する授業の実施に努 める。 2
  - ★「早寝早起き朝ご飯」運動を推進する。
  - ★保健指導の充実を目指し、学校保健 委員会を年間1回行う。
  - 「学校危機管理対策ガイドライン」 「学校大災害対応ガイドライン」に基 づき、学校安全指導マニュアルの改 訂を行い、機能的な学校安全指導体 制を確立する。
  - ★実践的避難訓練(予告無し等)を、 年間1回実施する。
  - ★遊具を含めた、学校施設の安全点検 を日常化する。
  - ★児童生徒の安全意識の高揚を図り 特に自転車の乗り方指導の強化を図る。
  - ★AEDの使用方法を含め、緊急時の 対応に関する研修を定期的に行う。
  - ★登下校の安全確保のための安全パト □−ル組織の充実を図る。
    - ★(小・中) 運動能力証合格率を40%
- ★(小・中) 連製能力配口でする。 ★(小・中) 千葉県体力・運動能力調査 の結果を分析し、体育授業の工 大・で、要動意欲の 6 高揚を図る。

#### 会の な る 点 施 2. 心の教育の推進

#### 1. 学習習慣の形成

- 市算数数学検定を年間2回実施 読書相談員を全小中学校に配置
- 市スクールサポートティーチャー21人を小学校に配置
- ALT20人を全小中学校に配置
- 体験学習推進事業の実施
- 授業改善フェスティバルの開催
- 特別支援教育体制整備推進事業の実施
- 授業改善研究協力員の登録 清和大学との連携(SAS)
- 市英語検定料補助金制度の活用
- 心の教育推進協議会の年間3回開催
- 心の教室相談員の配置
- 市教育相談教室の実施
- Ε
- 「心の教育ポスター」の活用 「いじめ根絶リーフレット」 「いじめゼロポスター」の活用 「生活意識(規範)調査」結果の活用
- 「木更津市いじめ防止対策基本方針」の活用
- 生徒指導担当者会議の年間3回開催 長欠目標値、具体的取組の設定

- - 一層の推進 ② 学校評議員制度の一層の充実

- 3. 健康・体育・安全指導の充実
- 「学校危機管理対策ガイドライン」 「学校大災害対応ガイドライン」の活用
- B 武道指導資料を活用した安全指導の徹底
- 熱中症対応ガイドラインの活用 C
- D 部活動ガイドラインの活用
- 木更津高専と連携した陸上教室の実施
- F 防犯ブザー配布(小・新入生全員)
- G 安心・安全メールの配信

#### ☆研修による指導力の向上☆ 尿庭・地域社会との協働☆

6

- 学習指導要領の趣旨・内容の理解
- ② 授業改善プログラムの推進
- ③ 夏季教職員研修会の充実
- 学校支援ボランティア活動推進事業
- ☆組織マネジメントの活用☆
  - 学校事務の共同実施の推進
- 働き方改革に向けた業務改善の促進

①学校による自己評価(統一20項目) 校評価水更津システム ②学校評議員による学校関係者評価 PRDCAサイクル: Plan → Research → Do → Check → Action

行政によるトライ

# 平成31年度 学校教育の重点目標及び推進方策

## Ι 学校教育の重点目標

# 「確かな学力」を備え、心身共に健康で、 「生きる力」を身につけた児童生徒の育成

―― 家庭・地域社会から信頼され、魅力ある学校づくり ――

#### Ⅱ 推進方策

- 1. 基盤となる方策
  - (1)「**家庭、地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動」**を更に推進し、「地域に開かれた学校」、「地域に信頼される、魅力ある学校」をつくる。
    - ①学校支援ボランティア活動推進事業の一層の推進を図る。
      - ・校内交流会の定例化
      - ・担当教職員とボランティアコーディネーターの連携の複線化
      - ・地域と学校の相互支援サイクルの確立
    - ②学校評議員制度推進事業の充実を図る。
      - ・学校の教育活動の積極的公開 ・外部評価委員としての活動の充実
    - ③家庭との連携の重要性を認識し、教師と保護者の信頼関係を構築する。
      - ・各種たよりの工夫 ・家庭訪問、三者面談、オープンスクール等の工夫
    - ④学校種間、研究機関、社会教育機関、清和大学、木更津工業高等専門学校等と連携した 取組の充実を図る。
  - (2) P(計画)・R(調査)・D(実施)・C(評価)・A(改善)のマネジメント・サイクル を柱に、教育施策を推進し、学校教育の活性化に努める。
    - ①学校評価「木更津システム」に基づいた学校評価及び教育施策評価を行う。
    - ②人事評価制度を効果的に活用し、教職員の資質力量を高める。
  - (3) 教職員の年齢層やニーズに応じた教職員研修を企画運営するとともに、授業改善プログラムを生かし、教職員の資質力量の向上を図る。
    - ①初任者、3年目、ミドルリーダー研修を有効に活用する。
    - ②夏季教職員研修に積極的に参加し、資質力量の向上のための研鑽に努める。
      - ・若年教員が主体的に研修できる体制を整備する。
  - (4) 学校における働き方改革に向けた、業務改善の推進を図る。
    - 教職員の出退勤時刻の管理
    - 「部活動ガイドライン」に沿った、部活動の適正な運営
    - ・学校行事や業務内容の見直し等による業務改善

#### 2. 学習習慣の形成

- (1) 改訂学習指導要領の趣旨・内容を理解し、教育計画、教育活動に反映する。
- (2)「授業改善」、「学習に前向きな学級集団づくり」のための、校内研究・教職員研修を計画的、継続的に推進する。
  - ①授業改善研究協力員や層別教員の相互授業参観を推進し、校内における授業研究を充実する。
  - ②授業改善フェスティバルを効果的に活用し、初任者、3年目、ミドルリーダーの資質力量の向上に努めるとともに、校内授業研究に生かす。
  - ③全国学力学習状況調査の分析ツールを活用するとともに、県標準学力検査の結果を分析 し、課題解決のための具体的取組を実践する。

- (3) 算数数学検定を積極的に活用し、基礎・基本の定着と学習意欲の喚起を図る。
- (4)「第4次木更津市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書活動の一層の充実を図る。
  - ①読書相談員や学校支援ボランティアと連携し、読み聞かせの充実や学校図書館の整備に 努める。
  - ②「読書の日」の有効活用や市立図書館、家庭との連携に努め、読書に対する意欲の喚起を図る。
- (5)特別支援教育の意義を理解し、特別な支援が必要な児童生徒の指導の充実に努める。
  - ①保護者との連絡を密にしながら、関係機関との連携に努め、適切な就学支援を行う。
  - ②「特別支援教育木更津システム」に基づき、校内の特別支援教育体制の確立を図る。
  - ③児童生徒の実態に応じて個別の教育支援計画、**個別の指導計画を作成**し、**校内委員会を 定例化**する。
  - ④スクールサポートティーチャー (SST) 配置校は、特別支援教育に関する実践研究を 行い、成果を広める。
  - ⑤若年層教職員に向けて、「特別支援スタートブック」を活用した研修を進める。
- (6) 勤労意欲や正しい職業観を育成するためのキャリア教育の充実を図る。
  - ①小学校では、第6学年で半日間以上の就業密着観察学習を実施する。
  - ②中学校では、第2学年で3日間以上の職場体験学習を実施する。
- (7) 外国語教育の充実と国際理解教育の推進に努める。
  - ①小学校においては、新教材に対応した授業づくりの研究を進め、教職員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手(ALT)を効果的に活用することによって「話す」「聞く」の領域の指導を充実させる。
  - ②中学校においては、ALTとのティームティーチングを有効に活用し、コミュニケーション能力の育成に努める。
  - ③中学校3年生を対象にした英語検定3級以上の検定料補助制度を活用し、英語の学習意 欲向上を図る。
- (8) 情報社会に適切に対応するための、情報教育の充実に努める。
  - ①コンピュータ等の教育機器の効果的活用を通し、**児童生徒の情報活用能力の育成**に努めるとともに、**個人情報保護及び情報モラルの高揚(SNSに関する指導含む**)に努める。
  - ②教職員の情報活用能力やコンピュータ等を活用した授業づくり等の指導力を向上するための研修の充実に努める。
- (9) **家庭学習の定着を目指し**、児童生徒一人一人の学習意欲や学習スタイル等に応じた**個別 支援の充実**を図る。

#### 3. 心の教育の推進

- (1) 教職員の意識啓発と「いじめの予防」、「いじめが起きた場合の連絡指導体制づくり」を 柱とし、いじめのない学校づくりを推進する。
  - ①「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則し、各学校の実情に応じた「学校いじめ防止 対策基本方針」を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。
  - ②学級経営、いじめ対策に関する校内研修等を行い、全教職員が、「いじめはどこにでも存在する」という意識を持つ。
  - ③児童会活動や生徒会活動等、児童生徒の**自治的活動による「いじめ防止**」を推進する。
  - ④**定期的にいじめの実態を把握**し、いじめが起きた場合には、迅速かつ組織的な対応ができるような体制を確立する。
- (2) 教育活動全体を通じ、人権教育、道徳教育を推進し、児童生徒の人権意識の高揚に努める。
  - ①木更津市心の教育推進協議会が提唱する3つの心「やさしい心」、「ルールを守る心」、「一生懸命取り組む心」を養い、豊かな人間性や社会性の育成に努める。
  - ②「考え、議論する道徳」を意識した、道徳科・道徳の時間の学習を、年間35時間確実 に実施する。
  - ③地域の行事や学校支援ボランティア活動の様子を紹介し、**地域の行事に児童生徒が積極 的に参加**できるようにする。

- (3)機能的な生徒指導体制づくりに努め、自己肯定感を高める生徒指導の一層の充実を図る。
  - ①生徒指導に関する教職員研修を充実し、**生徒指導の機能を生かした学級経営、授業づく** りを推進する。
  - ②生徒指導部会を定例化し、生徒指導体制を的確に機能させる推進組織とする。
  - ③生徒指導上の諸課題に対しては、生徒指導体制の下、全教職員で連携し、組織的に対応 する。
  - ④「豊かな人間関係づくり実践プログラム」等を活用し、豊かな人間関係づくりやコミュニケーション能力の育成を図る。
- (4) 教育相談体制を整備し、**長欠、不登校児童生徒の予防的指導を強化**するとともに、長欠、 不登校状態の改善・解消に努める。
  - ①的確な児童生徒理解を推進するため、**定期的に教育相談期間を設置**するとともに、日常的に教育相談が行われるような教職員の意識啓発に努める。
  - ②長欠児童生徒対策部会を定例化し、長欠、不登校児童生徒に組織的に対応する。
  - ③児童生徒、保護者からの相談窓口を明確にするとともに、スクールカウンセラー等、心の 教室相談員、市教育相談教室などの学校外の相談機関との連携を図り、教育相談ネットワークを構築する。
- (5) 日常の児童・生徒の様子に注意し、虐待が疑われる場合は、児童相談所をはじめとした関係機関と連携し、安全を最優先とした迅速な対応に努める。

#### 4. 健康・体育・安全指導の充実

- (1)保健体育に関する授業の工夫改善を行い、児童生徒の健康維持、体力向上に努める。
  - ①運動課題を明確にし、**達成感を味わえる授業づくり**に心がける。
  - ②保健の授業を計画的に実施するとともに、生活習慣病の予防及びがん教育に関する授業の実施に努める。
  - ③児童生徒の健康づくりを推進するため、**保健室経営の充実**と年間計画に基づいた、**計画 的な保健指導の推進**に努める。
  - ④学校保健委員会を定例化し、家庭、地域社会、学校の三者の協力により、組織的に児童 生徒の健康づくりを推進する。
- (2)「食」に関する指導の充実を図り、児童生徒の健康管理能力を高め、健康的な生活習慣の定着を推進する。
  - ①望ましい食生活に関する指導を、児童生徒の発達段階に応じ、意図的・計画的に行う。
  - ②毎日の給食指導の中で、「食」に関する指導の日常化を図る。
  - ③「早寝・早起き・朝ご飯」運動を推進する。
  - ④小学5年生を対象に、環境と食を結びつけた「エコ・クッキング」を年間6校で実施する。
- (3) 学校安全指導マニュアルを改訂し、「学校危機管理対策ガイドライン」「学校大災害対応 ガイドライン」に基づいた**機能的な学校安全指導体制を確立**し、児童生徒の安全指導の充 実を図る。
  - ①**地震・火災・不審者対応に関する避難訓練を実施**し、児童生徒の安全意識及び危険回避能力を高める。
  - ②AEDの使用方法を含め、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。
  - ③遊具を含めた**学校施設の安全点検の日常化**を図り、学校事故を未然に防止するシステムを確立する。
- (4)「熱中症対応ガイドライン」に基づいて熱中症の危険について正しく理解し、熱中症指数モニター等の活用により事故防止に努める。
- (5) 地域の安全ネットワークの整備に努め、児童生徒の安全対策の強化を図る。
  - ①学校支援ボランティア、PTA等と連携し、児童生徒の登下校の安全確保のための**安全** パトロール組織を構築する。
  - ②学校安全、交通安全等、安全に関する授業や行事等を取り入れ、児童生徒の安全意識の 高揚を図り、特に自転車の乗り方指導の強化図る。
- (6)「部活動ガイドライン」を活用し、適切な活動時間や休養日の設定等の基準に沿った部活動運営に努める。

市内小・中学校指定校等 実績一覧

	<						,	4000 mil 4. 0. 4. 11. 11.		キャリア教育(地域自律・民		- of - observe only 4-th					
	く組	<b>浩撼</b>	世帯				~61	ゆめ仕事びったり実践校	10	キャリア教育(地域目標・民間活用型)実践校	23∼24 ⊈	金融教育研究校					
			大教 群 辑 十 十		福 福 祖 社 社 社		3	社会人活用	23~25	体力づくり推進モデル校	25~27 福利	福祉教育(社会部)	17~19	地域子ども教室推進事業 18~19 理数大好きモデル推進校 19~	学校評価システム協力校 放課後 子ども教室実践校	20 理数律	理数教育地域型キャリア教育
回告	局和	. **	福 福 職 職 社 国 国		******		4~6	福祉教育(社会部)	16~18	福祉教育(社会部)	18~20 學]	学童農園推進事業	3~2	学校同和教育協力校 16~	地域子ども教室推進事業	19~   放調	放課後子ども教室実践校
厄佐	<b>厄</b> 格		- 東東	<b>神</b>	安全		21~23	福祉教育推進校	26~27	学校安全			7∼8	学校同和教育協力校			
	撒丝	. 10	中 中		账刊		9 ~ 10	夢を育む教育推進地域	16~18	福祉教育(社会部)	17~ (Φ#D{	ゆめ仕事ぴったり実践校					
	参は、		张 全			無無ナリオリンプランプランプ	9~10 12	夢を育む教育推進地域 県社研	-41	地域ぐるみの学校安全体制 整備推進事業拠点校	30-31 7-112	オリンパック・パーリンパック 教育権通事業				***********	
回告	四級	囲盤		<b>計</b> 拉		***********	11~13	国際化時代児童育成	29	小・中・高相互授業公開実践校	20 福 21~23 特別支	福祉教育推進校 特別支援教育研究指定校	7~8	学校同和教育協力校			
		. 100	<b>小</b> 藜		*********								~91	地域子ども教室推進事業		19~	放課後子ども教室実践校
	44		脚数 中か 樹 数 観 瀬 瀬	**********	*********	臣紋	18	キャリア教育(地域自律・ 民間活用型)実践校	28 −	ゆめ仕事びったり実践校	20 重	「ちばっ子元気に」 食と農体験事業	11~12	スクールカウンセラー活用 17~19 調査研究委託	理数大好きモデル推進校	令和元年 文科省	省 学級活動(防災教育)
	<b>和</b> 描		を強力を発力を発生を発生された。				8~8	生徒指導推進地域協力校	-11	地域ぐるみの学校安全体制 整備推進事業拠点校	20 キャリフ	キャリア教育(地域自律・民間活用型)実践校	17~19 E	理数大好きモデル推進校		20 理数	理数教育地域型キャリア教育
体力		邮令	<b>小教</b> 食職 苗教 十十		账规		7 41	体力向上 豊かな心を育む公開事業 1	18~19	「ちばっ子元気に」 食と農体験事業	18~ ⇔bbf	ゆめ仕事ぴったり実践校	~_	地域子ども教室推進事業 17~19	理数大好きモデル推進校	19~ 故謀後 20 理数卷	拡膜後子ども教室実践校 理数教育地域型キャリア教育
<b>神</b> 神			計點 計點 +				5~7	福祉教育(社会部)	17	キャリア教育(地域自律・ 民間活用型)実践校	17 地域ぐ	地域ぐるみの学校安全体制 整備推進事業拠点校	18~19	学校評価システム協力校			
		點繼	中				9∼11	福祉教育(社会部)			19 rbbh	ゆめ仕事びったり実践校					
	點繼	點繼	봳			個米							18	性教育研究推進事業			
	英語	影画	服 在 存 分 力	贫資	食質	<ul><li>⊞ ←</li></ul>	13~16	要鳥モデル校 (環境生活部)	20~22	体力づくり推進モデル校	24~25 地域に	24~25 地域における食育推進事業	18	性教育研究推進事業			
		ボラボラ	安全 事課 事課				13~14	学校支ボ・パイロット校	12.11.17	県造形 交通安全モデル事業(県 ※)	9~31	福祉教育推進指定校	91	県技術家庭科 18~19	18~19 学校評価システム協力校		
図軸		<b>計七</b>	神 田 田 路 田 路 田 本 本 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			≺₩	6~7	図書館教育	21	こりばっ子元気に」 食と農の体験事業			14~16 7~10 10	サンローフロントイア 18~19 (女 20 田教 大学 半 ドン・ 18 ~ 19 20 日教 大学 半 ドン・ 18 次 第 4 2 2 2 2 2 2 2 3 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3	18~19 学校評価システム協力校 20 理教教育地域型キャリア教育	31~2 人権	人権教育指定校
		群 神 神 井 井 井 井 井	首 仕 子 キャ 数 キャ				14~16	福祉教育(社会部)	~/1	ゆめ仕事びったり実践校	20 牛ヤブ	キャリア教育(地域自律・民間活用型)実践校		_	放課後子ども教室実践校	***************************************	
						年数	∄~3	県 算数科								**********	
7 9	8 9 10 11 12	13 14 15	16 17 18 19 20 21	22 23 24	25 26 27 28	29 30 31 令和	유원 3		些	翼					国		
	和推	陆艦	田				12~13	生徒指導特別指定校	~91	不登校支援	元(14年 81	キャリア教育(地域自律・民間活用型)実践校	14 -12	16~17 サイエンスパートナーシップ 17~19	17~19 理数大好きモデル推進校	20 理数律	理数教育地域型キャリア教育
	機器	評議 学力	排 数 題 数 題 数 題 数 相 数 数 相 数 数 相 数 数 相				8	圖內指導	25~27	福祉教育(社会部)			14~16	学力向上フロンティア (文章省)	理数大好きモデル推進校	18~19 学校評 20 理数卷	学校評価システム協力校 理数教育地域型キャリア教育
厄佐			长鹤	<b>萨</b> 拉			16~18	不登校支援	8	CSW実践校	20 小中寸	小·中·高相互授業公開実践校 福祉教育推進校	7∼8	学校同和教育協力校			
		類位	不啻用数十十十				14~15 16~17	適応指導不登校支援	81	CSW実践校	19 年1	キャリア教育(地域自律・ 民間活用型)実践校	17~19 B	理数大好きモデル推進校		***********	
			数面数据数据				က	教育放送·進路指導	8	CSW実践校			17~19 €	理数大好きモデル推進校			
	<b>孙</b> 森	孙华	补贴				11~13	学校体育研究	81	CSW実践校			18~19	学校評価システム協力校			
帽神	中 草 中		刺		******		7~9	福祉教育(社会部)					82	性教育研究推進事業			
厄柱	<b>参</b> 位 <b>参</b> 位		開發 開發 計器 十十				7~8	学校同和教育拠点校	9~10	夢を育む教育拠点校			17~19	理数大好きモデル推進校 18~19	18~19 学校評価システム拠点校	20 理数	理数教育地域型キャリア教育
	<b>账</b> 规		単なり職の			4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	12.11.17	県造形	29~31	福祉教育推進指定校			16 日 18~81	仕事ふれあい活動支援事業 18~19 豊かな心を育てる推進事業 17~19	学校評価システム協力校 理数大好きモデル推進校	20 理数	理数教育地域型キャリア教育
	點繼	陆繼	<b>小</b> 教 存七	<b>徐</b> 力 <b>徐</b> 力		*********	18	CSW実践校	20	いきいきちばっ子 健康・体力づくり研究校	20~22 体力	体力づくり推進モデル校	17	地域子ども教室推進事業			
	<b>账</b> 拉		生理理理卡拉数数数十十				12.11.22	- 県社研	16	生徒指導困難校	20 年七 医胃炎	キャリア教育(地域自律・ 民間活用型)実践校	17~19	理数大好きモデル権進校		20 理数	理数教育地域型キャリア教育
厄告	阿 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣		<b>小教</b>			袋	18	CSW実践校					7~8	学校同和教育協力校 9~10	環境教育(地球観測)	11~12 環境16~17 地域	環境データ観測モデル校 地域子ども教室推進事業
	41	2				₫Œ	2	単れたいか若た教育	18~10	12 13 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	01	特制研外のご					

# 小・中学校一覧

## 木更津市立小学校一覧

令和元年5月1日現在

								分和π			5亿1工	
							Ī	学	: 級	数		
									特別才	支援学	学級	
区分	学校名	電話番号	所 在 地	校長名	児童数 (人)	学級数	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	弱視		通級指導教室
1	木更津第一	23-1051	中央一丁目11番1号	河野 勝	416	13	2	1	0	1	2	(言語)
2	木更津第二	23-2216	文京五丁目6番24号	大木 昌代	459	16	1	1	0			
3	東清	98-0424	菅生114番地	前田 達哉	61	6	1	1	0			
4	西清	22-2818	長須賀2445番地	座間 良彦	253	10	2	1	0			
5	南清	98-3193	ほたる野三丁目5番地	小倉 敏幸	487	16	1	1	1			
6	清見台	98-2351	清見台南一丁目15番1号	佐藤 千明	541	18	3	1	0			
7	祗 園	98-3158	清川一丁目1番1号	齋藤 雄一	586	18	3	1	0		2	(言語) (難聴)
8	岩 根	41-1303	西岩根8番1号	唐鎌 勲	321	12	2	1	0			
9	高 柳	41-2085	高柳5932番地	臼井 弘子	389	13	1	1	0		1	(言語)
10	波 岡	36-2820	畑沢1270番地	百瀬 正洋	223	9	1	1	0		2	(言語)
11	鎌足	52-2004	矢那609番地	榎本 聡	78	6	1	1	0			
12	金 田	41-0009	中島2931番地1	高野 芳一	201	8	1	1	0			
13	中 郷	98-0824	井尻978番地	増田 一秀	76	6	1	1	0			
14	富来田	53-2004	真里谷518番地	相場 明彦	181	6	1	1	0			
15	畑沢	36-3003	畑沢南二丁目16番1号	篠田 薫	557	19	3	1	0		2	(言語)
16	請西	36-9331	請西二丁目8番1号	稲村 由則	491	15	2	1	0			
17	八幡台	36-6696	八幡台四丁目5番1号	田村 淳也	879	27	3	1	0			
18	真 舟	36-0058	真舟二丁目6番1号	中澤 泰藏	978	30	2	1	0			
		合	計		7, 177	248	31	18	1	1	9	

#### 木更津市立中学校一覧

令和元年5月1日現在

							学	級 梦	数	
								特別支	援学級	
区分	学 校 名	電話番号	所 在 地	校長名	生徒数(人)	学級数	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	通級指導教室
1	木更津第一	22-5321	中央一丁目10番1号	廣部 昌弘	320	10	1	1	0	_
2	木更津第二	36-2280	請西941番地	矢野 直明	537	15	2	1	0	_
3	木更津第三	23-2645	永井作一丁目1番1号	齊藤 毅人	276	9	1	1	1	_
4	岩根	41-2096	高柳三丁目7番49号	高橋 達之	191	6	1	2	0	_
5	鎌足	52-2092	矢那2797番地	藤嵜保	46	3	0	0	0	_
6	金 田	41-0032	中島2820番地	西 克夫	73	3	1	1	0	_
7	富来田	53-2020	真里谷275番地	出口 雅志	110	4	1	1	0	_
8	太田	98-7001	東太田一丁目2番1号	市原 浩	580	17	2	1	0	_
9	畑沢	36-5021	畑沢1053番地1	平 一晶	399	12	1	1	0	_
10	岩根西	41-3681	久津間373番地	小峯 清茂	180	6	1	1	0	_
11	波 岡	36-0911	大久保三丁目9番1号	矢田 博幸	407	11	2	1	0	_
12	清川	98-0188	中尾1096番地	中務 公明	366	11	1	1	0	_
		合	計		3, 485	107	14	12	1	-

# 児童・生徒数の推移

各年5月1日現在 (単位:人)

				17	平5月1日現任		(単位・八)
	区 分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
小学	児童数	7, 048 (164)	7,009 (183)	6, 922 (215)	6, 916 (214)	6, 960 (236)	6, 930 (247)
校	学級数	246 (43)	247 (45)	246 (50)	249 (48)	252 (50)	248 (51)
中	生徒数	3, 370 (76)	3, 364 (74)	3, 414 (79)	3, 422 (85)	3, 392 (97)	3, 367 (118)
学 校	学級数	111 (26)	110 (24)	116 (24)	114 (26)	111 (26)	107 (27)
小中	児童・生徒数	10, 418 (240)	10, 373 (257)	10, 336 (294)	10, 338 (299)	10, 352 (333)	10, 297 (365)
計	学級数	357 (69)	357 (69)	362 (74)	363 (74)	363 (76)	355 (78)

( ) は特別支援学級

# 教育相談·教職員研修·学校支援事業

#### 1. 目 的

教育相談事業活動の充実を図るとともに、教職員研修・学校支援活動を推進し、子どもたちの健 やかな成長と教職員の指導力向上を支援する。

#### 2. 業務内容

- (1)教育相談
- ① 教育相談教室:精神科医、臨床心理士等による、発達障害や不登校等、問題を抱えた子どもたちの教育相談活動を充実する。

平成30年度実施回数及び人数:57回 103人(人数は実人数、対象児童生徒数)

- ② 学校適応指導教室「あさひ学級」の運営:不登校児童生徒の学校復帰を目指し、学校以外の場に集め積極的な適応指導を行う。
  - ・開設場所:まなび支援センター内
  - ・開設日時:月曜日~金曜日(学期は小中学校と同じ) 10:00~15:00
  - ・通級者数(\*令和元年度は、1月1日現在 仮通級含む)

年月	r L	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
人劵	ζ	16	16	16	17	15	16	14	15	25	20	22	28	25

- (2) 学校教育関係職員の研修
- ① 研究指定校:木更津市研究指定校の研修会の取組を支援する。
- ② 夏季教職員研修講座:児童生徒理解・特別支援教育、授業改善等現場のニーズや今日的課題に 即した研修を実施する。 令和元年度実績:10回 参加者617名
- ③ 授業改善フェスティバル等、授業改善に関わる研修や、初任者研修、3年目経験者研修、ミドルリーダー研修等教職員層別研修を実施する。
- ④ 小学校外国語活動実践研修:小学校の外国語活動を充実させるため、主任ALTおよび指導主事が学校を訪問し、授業参観後、協議会実施。(R元年度:18校中2校で実施)

新教材対応外国語活動研修:移行期に使用する新教材の特色や活用の仕方を学び、学級担任が 主導する外国語活動の授業ができるよう研修する。指導主事および主任ALTが学校を訪問し 指導。(R元年度:18校中17校で実施)

- ⑤ 情報教育の充実:コンピュータを含めた教育機器を活用した授業のあり方についての研修を実施する。
- (3) 学校支援
- ① 小・中学校に外国語指導助手(ALT)の配置:児童生徒のリスニング技能向上と国際理解教育推進のために配置し、効果的な活用方法について研究する。
- ② 算数数学検定:児童生徒の学習意欲の喚起を支援するため年2回実施する。
- ③ 優れた指導案の収集と提供:授業改善協力員と連携を図り優れた指導案を収集し、誰でも閲覧できるシステムを構築する。
- ④ 学校イントラネットの活用促進および小・中学校のホームページの充実支援、センターホームページの充実を図る。

# 幼児言語教室

#### I 業務目的

ことばに課題を持つ就学前の幼児に対し、その問題を早期に発見し、個別の言語指導・保護者との面談等を通して、スムーズな小学校就学に向けてのよりよい支援を目指す。

#### Ⅱ 業務内容

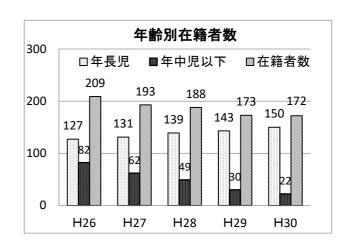
- 1 相談・個別指導・保護者面談(年齢やケースによって週1回~月1回の指導) ケースの種類・・・発音の誤り、言語発達の遅れ、吃音、難聴など
- 2 年長児の言語検査

4月10日~6月26日 市内28 園年長児対象 1145 名実施6月17日~6月28日 検査日欠席児・市外園通園児など対象 21 名実施

- 3 入学後のことばの検査対象児の名簿作成・小学校への伝達
- 4 小学校への引き継ぎ・個別の引き継ぎシート作成・配付
- 5 講演会開催 11月21日 参加者55名
  - 講師:独立行政法人国立特別支援教育総合研究所インクルーシブ教育システム推進センター 上席総括研究員 久保山 茂樹 氏
- 6 就学支援委員会調查員
- 7 特別支援教育連携協議会参加
- 8 幼児言語教室便り「ひまわり」発行
- 9 特別支援教育啓発リーフレット・ポスター「にっこり」作成
- 10 事例研修会 年間 3 回 講師: 君津中央病院 言語聴覚士 金子 義信 氏

#### Ⅲ 利用状況

平成 26 年度以降の在籍者数は,高水準で推移している。年中児以下の相談は,緊急性の高い特別な配慮を要する場合を除いては,年長児を最優先している。年中児以下でより高い専門性を必要とするケースについては,「子育て世代包括支援センター(きさらづネウボラ)」との連携を密にしながら対応している。「言語発達の遅れ」がより多い状況は,例年同様にあまり変化が見られない。



#### Ⅳ 成果と課題

- ○低年齢児を「子育て世代包括支援センター(きさらづネウボラ)」に紹介できるようになり年長児 中心の指導体制が整い、年長児がより早くから回数多く通所できるようになった。
- ○言語教室では、幼児の様子について振り返る機会を設けることで、目に見えない成長への気づきを 促したり、保護者の子育てについて認め合ったりする場となっている。
- ○年長児は小学校や通級指導担当者への引き継ぎを行い、スムーズな就学に繋がっている。
- ●発音の誤り以外にも多岐にわたる主訴(言語理解・表出,コミュニケーション,発達のかたより,情緒面など)がある場合,優先すべき指導事項が多く,発音を中心とした指導をすぐに開始することは難しくなっている。
- ●入学後のことばの検査対象児は、近年増加傾向にある。本市に在住しており、他市の園などから入学を予定している幼児の言語検査は、広報や就学時健康診断、巡回相談(きさらづネウボラによる)等で知らせているので、追加の検査者は若干増えている。しかし、入学予定者全員を把握し検査することはできていない。

# 特別支援教育

『特別支援教育』とは、これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、その対象でなかった通常学級に在籍するLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)等を含む、障害のある児童生徒に対してその一人一人の教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものです。

#### 〇 就学支援委員会

就学支援委員会では、特別な支援が必要な児童生徒に対し、ニーズに合った教育的支援を医学的・心理的・教育的見地から総合的に審議検討し、適切な就学措置を判断して指導している。

#### ・入級 (入学) の手順



#### 〇 知的障害特別支援学級

知的な遅れの児童・生徒に対して、その子にとって最もふさわしい教育の場で、その可能性を 最大限に伸ばし、できる限り積極的に社会参加できるようにするために、特別な教育課程によっ て指導する。

近年、就学支援委員会の対象となる児童・生徒が増えており、その重要性からも一層の充実を 図っていかなければならない。

#### O 自閉症・情緒障害特別支援学級

情緒障害とは、情緒の現れ方が偏っていたり、その現れ方が激しかったりする状態を、自分の意 志ではコントロールできないことが継続し、学校生活や社会生活に支障となる状態であるといえ る。自閉症・情緒障害特別支援学級では、このような不適応の改善を図り、より充実した生活が 送れるように指導を行っている。

#### 〇 肢体不自由特別支援学級

日常生活動作に困難さのある児童・生徒に対して、障害に基づく困難を改善、克服するための 指導を行なっている。特に、自立活動の指導において、身体の動きの改善を図ることやコミュニ ケーションの力を育てることに重点を置いている。

#### 〇 弱視特別支援学級

視機能が低下している児童に対して作業や行事等を通して生活体験の拡大を図ったり、補助具の活用の仕方を学ぶ場を設定したりして、障害に基づく困難を改善・克服するための指導を行っている。

#### 〇 言語障害通級指導教室 (ことばの教室)、難聴通級指導教室 (きこえの教室)

ことばの教室では、話しことばの障害・問題のある児童に対し、その要因をできるだけ的確に 把握し、コミュニケーション上の困難を改善または軽減する教育を行っている。

きこえの教室では、聴覚障害が比較的軽度な児童生徒に対し、補聴器の適切な装用の指導、聴く態度の育成、聞き取りの練習、音声の聴取及び分別の指導等を行っている。

いずれも、児童の自己表現の援助をし、社会生活への適応力を高めることなどを目標としている。

# 就学援助

#### 〇 奨学金制度

本市奨学金制度は、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学基金により入学資金の支給及び 奨学資金の貸し付けを行う。

#### • 入学資金

学校	種 別	支 給 額
高 等	学 校	25,000 円
高 等 専	門学校	20,000 [ ]
大	学	50,000 円
	•	

#### · 奨学資金 (限度額)

学 校 種 別	貸 付 額
高 等 学 校	月 10,000 円
高等専門学校	
大 学	国・公立
短 期 大 学	月 40,000 円
高等専門学校(4・5年)	私立
	月 50,000 円

#### · 年度別奨学資金新規貸付者数

年度	高校生	大学生	計
H21		2	2
H22	2	1	3
H23		2	2
H24	1	2	3
H25		2	2
H26		2	2

年度	高校生	大学生	計
H27		2	2
H28	1	1	2
H29	1	1	2
Н30		2	2
H31(R1)		2	2

#### 〇 就学援助制度

経済的に困難な児童、生徒の保護者に対し、就学に要する経費の補助を行うもので、平成30年度において49,356,327円の援助を行った。

#### 〇 特別支援教育就学奨励制度

特別支援学級へ就学する児童、生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費の 補助を行うもので、平成30年度において8,917,233円の補助を行った。

# 令和元年度 児童生徒定期健康診断集計表 【小学校】

区分	小学校	男	男	男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女	女	女	男女	男女
E//	在籍者数	6歳 570	7歳	8歳	9歳 624	10歳	11歳	計 3.641	%	6歳 619	7歳 575	8歳 569	9歳	10歳	11歳 595	計 3.533	%	合計 7.174	<u>%</u>
	受検者数	556	651	624	586	606 555	566 508	3,641	94.3%	599	552	547	566 531	609 538			93.2%	6.725	93.7%
			624												526	3,293			
<b>畑田坦土烩</b> 木	1.0未満0.7以上の者	50	71	60	56	47	43	327	9.5%	71	68	61	63	62	54	379	11.5%	706	10.5%
	0.7未満0.3以上の者	33	51	55	72	66	78	355	10.3%	36	39	58	87	92	87	399	12.1%	754	11.2%
	0.3未満の者		9	12	23	20	36	102	3.0%	6	8	22	28	45	50	159	4.8%	261	3.9%
	※裸眼視力省略の者	17	26	30	45	64	69	251	6.9%	16	27	31	42	88	99	303	8.6%	554	7.7%
明の松木	受検者数	560	0	0	617	0	0	1,177	32.3%	609	0	0	560	0	0	1,169	33.1%	2,346	32.7%
眼の検査	感染性眼疾患の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	1	0	0	0	0	0	1	0.1%	1	0.0%
	その他の眼疾患・異常の者	56	0	0	50	0	0	106	9.0%	60	0	0	36	0	0	96	8.2%	202	8.6%
聴力検査	受検者数	570	650	624	-	604	$\sim$	2,448	99.9%	618	574	570	-	602	_	2,364	99.7%	4,812	99.8%
	難聴の者	6	6	6	<u> </u>	2	<u> </u>	20	0.8%	6	7	5	<u> </u>	4	<u> </u>	22	0.9%	42	0.9%
:	受検者数	556	0	1	0	595	0	1,152	31.6%	603	0	0	0	598	0	1,201	34.0%	2,353	32.8%
耳鼻咽頭の 検査	耳疾患の者	72	0	1	0	56	0	129	11.2%	87	0	0	0	51	0	138	11.5%	267	11.3%
1天旦	鼻・副鼻腔疾患の者	62	0	0	0	80	0	142	12.3%	60	0	0	0	31	0	91	7.6%	233	9.9%
	口腔咽頭疾患の者	10	0	0	0	1	0	11	1.0%	7	0	0	0	6	0	13	1.1%	24	1.0%
	受検者数	564	643	619	614	596	554	3,590	98.6%	614	567	560	554	603	584	3,482	98.6%	7,072	98.6%
	処置完了の者	72	123	146	157	146	102	746	20.8%	76	91	115	111	107	102	602	17.3%	1,348	19.1%
	未処置歯のある者	140	147	116	134	95	93	725	20.2%	114	101	117	91	102	74	599	17.2%	1,324	18.7%
	COのある者	43	45	31	61	20	71	271	7.5%	32	40	34	67	22	53	248	7.1%	519	7.3%
	歯列・咬合 1の者	60	62	76	72	68	68	406	11.3%	52	55	64	65	62	69	367	10.5%	773	10.9%
JE = 1A	歯列・咬合 2の者	4	11	18	15	20	18	86	2.4%	10	9	20	13	14	14	80	2.3%	166	2.3%
歯の検査	顎関節 1の者	3	1	0	2	0	0	6	0.2%	0	0	0	0	1	0	1	0.0%	7	0.1%
	顎関節 2の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	1	0	1	0.0%	1	0.0%
	歯垢の状態 1の者	30	32	67	74	50	60	313	8.7%	40	39	41	56	40	46	262	7.5%	575	8.1%
	歯垢の状態 2の者	1	8	8	9	11	28	65	1.8%	1	4	6	6	6	10	33	0.9%	98	1.4%
	歯肉の状態 1の者	10	29	47	47	28	28	189	5.3%	29	32	25	33	19	31	169	4.9%	358	5.1%
	歯肉の状態 2の者	0	1	2	4	5	10	22	0.6%	0	3	3	6	2	1	15	0.4%	37	0.5%
	その他の疾病の者	23	26	19	43	39	36	186	5.2%	34	25	24	33	37	32	185	5.3%	371	5.2%
	D(永久歯の未処置歯数)	_	/	/	/	/	95	95	$\angle$	4	/	۷,	_	_	102	102	$\angle$	197	/
DMF歯数	M(永久歯の喪失歯数)	_	/	/	/	/	7	7	$\angle$	4	/	۷,	_	_	1	1	$\angle$	8	/
	F(永久歯の処置歯数)	_					127	127		$\angle$		_	_	_	161	161		288	
	受検者数	569	650	625	621	604	563	3,632	99.8%	617	574	567	559	607	591	3,515	99.5%	7,147	99.6%
尿検査	蛋白陽性の者	0	2	2	2	3	3	12	0.3%	0	3	4	1	7	11	26	0.7%	38	0.5%
	潜血陽性の者	4	4	1	4	1	3	17	0.5%	8	1	4	3	4	10	30	0.9%	47	0.7%
	糖陽性の者	0	0	1	0	0	0	1	0.0%	1	1	0	1	0	1	4	0.1%	5	0.1%
寄生虫卵	受検者数	565	0	0	0	0	0	565	15.5%	595	0	0	0	0	0	595	16.8%	1,160	16.2%
	寄生虫卵保有の者	8	0	0	0	0	0	8	1.4%	4	0	0	0	0	0	4	0.7%	12	1.0%
	受検者数	566	651	622	619	600	561	3,619	99.4%	618	569	569	560	601	592	3,509	99.3%	7,128	99.4%
	栄養不良の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	肥満傾向の者	4	7	6	4	7	10	38	1.1%	6	5	4	4	3	2	24	0.7%	62	0.9%
	脊柱側わんの者	1	0	0	1	1	4	7	0.2%	0	2	2	1	5	15	25	0.7%	32	0.4%
その他の疾	その他の脊柱・胸郭・四肢の異常の者	4	5	3	7	3	5	27	0.7%	2	1	2	3	2	6	16	0.5%	43	0.6%
病等の検査	感染性皮膚疾患の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	アトピー性皮膚炎の者	22	28	17	25	10	9	111	3.1%	34	11	12	15	10	2	84	2.4%	195	2.7%
	心臓疾患・異常の者	1	3	7	6	4	2	23	0.6%	4	8	1	5	2	5	25	0.7%	48	0.7%
	心臓疾患·異常の者 ぜん息の者	41	3 28	40	43	32	30	214	5.9%	29	23	20	5 20	15	5 21	128	3.6%	48 342	
	ぜん息の者 腎臓疾患の者		28 5	40	43 2	32	30 2	214 14	5.9% 0.4%	29 2	23 0	20 0	20	15 0	21	128 4	3.6% 0.1%		0.7% 4.8% 0.3%
	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数	41	28	40	43 2 623	32	30	214	5.9%	29	23 0 575	20	20 1 565	15	21	128	3.6% 0.1% 99.8%	342	0.7% 4.8% 0.3% 99.9%
	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数	41 0 569 9	28 5 652 1	40 2 624 0	43 2 623 5	32 3 605 1	30 2 566 0	214 14 3,639 16	5.9% 0.4% 99.9% 0.4%	29 2 618 7	23 0 575 5	20 0 567 3	20 1 565 2	15 0	21 1 594 0	128 4 3,527 18	3.6% 0.1% 99.8% 0.5%	342 18 7,166 34	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5%
	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数	41 0 569 9 50	28 5 652 1 53	40 2 624 0 48	43 2 623 5 54	32 3 605 1 48	30 2 566 0 43	214 14 3,639	5.9% 0.4% 99.9%	29 2 618 7 60	23 0 575	20 0 567 3 53	20 1 565	15 0 608	21 1 594 0 37	128 4 3,527 18 283	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0%	342 18 7,166	0.7% 4.8% 0.3% 99.9%
	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数	41 0 569 9	28 5 652 1	40 2 624 0	43 2 623 5	32 3 605 1	30 2 566 0	214 14 3,639 16	5.9% 0.4% 99.9% 0.4%	29 2 618 7	23 0 575 5	20 0 567 3	20 1 565 2	15 0 608 1	21 1 594 0	128 4 3,527 18	3.6% 0.1% 99.8% 0.5%	342 18 7,166 34	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5%
	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者	41 0 569 9 50	28 5 652 1 53	40 2 624 0 48	43 2 623 5 54 3	32 3 605 1 48	30 2 566 0 43 0	214 14 3,639 16 296	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1%	29 2 618 7 60	23 0 575 5 48	20 0 567 3 53	20 1 565 2 39	15 0 608 1 46	21 1 594 0 37	128 4 3,527 18 283	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0%	342 18 7,166 34 579	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.3%
結核検査	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数	41 0 569 9 50	28 5 652 1 53 0	40 2 624 0 48 0	43 2 623 5 54 3	32 3 605 1 48 0	30 2 566 0 43 0	214 14 3,639 16 296 10	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3%	29 2 618 7 60 5	23 0 575 5 48	20 0 567 3 53	20 1 565 2 39	15 0 608 1 46	21 1 594 0 37 0	128 4 3,527 18 283 8	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2%	342 18 7,166 34 579	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.3%
結核検査	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者	41 0 569 9 50 7	28 5 652 1 53 0	40 2 624 0 48 0	43 2 623 5 54 3	32 3 605 1 48 0	30 2 566 0 43 0	214 14 3,639 16 296 10	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3%	29 2 618 7 60 5	23 0 575 5 48 1	20 0 567 3 53 0	20 1 565 2 39 1	15 0 608 1 46	21 1 594 0 37 0	128 4 3,527 18 283 8	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2%	342 18 7,166 34 579 18	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.3%
結核検査	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者	41 0 569 9 50 7	28 5 652 1 53 0	40 2 624 0 48 0	43 2 623 5 54 3	32 3 605 1 48 0	30 2 566 0 43 0	214 14 3,639 16 296 10	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3%	29 2 618 7 60 5	23 0 575 5 48 1	20 0 567 3 53 0	20 1 565 2 39 1	15 0 608 1 46 1	21 1 594 0 37 0	128 4 3,527 18 283 8	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2%	342 18 7,166 34 579 18	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.3%
結核検査	世ん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者 精密検査を変施者数 (精密検査)胸部X線検査実施者数 (精密検査)喀痰検査実施者数 (精密検査)その他の検査実施者数	41 0 569 9 50 7 6 6	28 5 652 1 53 0 0	40 2 624 0 48 0 0	43 2 623 5 54 3 3	32 3 605 1 48 0 0	30 2 566 0 43 0 0	214 14 3,639 16 296 10 9	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3% 0.2%	29 2 618 7 60 5 5 4	23 0 575 5 48 1	20 0 567 3 53 0 0	20 1 565 2 39 1	15 0 608 1 46 1	21 1 594 0 37 0 0	128 4 3,527 18 283 8 8 7	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2% 0.2%	342 18 7,166 34 579 18 17 16	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.3% 0.2%
結核検査	世ん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者 精密検査実施者数 (精密検査)胸部X線検査実施者数 (精密検査) 喀痰検査実施者数	41 0 569 9 50 7 6 6 0	28 5 652 1 53 0 0 0	40 2 624 0 48 0 0 0	43 2 623 5 54 3 3 0	32 3 605 1 48 0 0 0 0	30 2 566 0 43 0 0 0	214 14 3,639 16 296 10 9 9	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3% 0.2% 0.2% 0.0%	29 2 618 7 60 5 5 4 0	23 0 575 5 48 1 1 1	20 0 567 3 53 0 0 0	20 1 565 2 39 1 1 1 0	15 0 608 1 46 1 1 1 0	21 1 594 0 37 0 0 0	128 4 3,527 18 283 8 7 0	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2% 0.2% 0.2%	342 18 7,166 34 579 18 17 16	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.3% 0.2% 0.2%
結核検査	世ん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者 精密検査を変施者数 (精密検査)胸部X線検査実施者数 (精密検査)喀痰検査実施者数 (精密検査)その他の検査実施者数	41 0 569 9 50 7 6 6 0	28 5 652 1 53 0 0 0 0	40 2 624 0 48 0 0 0 0	43 2 623 5 54 3 3 0	32 3 605 1 48 0 0 0 0	30 2 566 0 43 0 0 0 0	214 14 3,639 16 296 10 9 9 0	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3% 0.2% 0.2% 0.0%	29 2 618 7 60 5 4 0	23 0 575 5 48 1 1 1 0	20 0 567 3 53 0 0 0 0	20 1 565 2 39 1 1 1 0	15 0 608 1 46 1 1 1 0	21 1 594 0 37 0 0 0 0	128 4 3,527 18 283 8 7 0	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2% 0.2% 0.2% 0.0%	342 18 7,166 34 579 18 17 16 0	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.3% 0.2% 0.0% 0.0%
結核検査	世ん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者 精密検査を変施者数 (精密検査)胸部X線検査実施者数 (精密検査)喀痰検査実施者数 (精密検査)その他の検査実施者数 潜在性結核感染症の者 結核の者	41 0 569 9 50 7 6 6 0 0	28 5 652 1 53 0 0 0 0 0 0	40 2 624 0 48 0 0 0 0 0 0	43 2 623 5 54 3 3 0 0	32 3 605 1 48 0 0 0 0 0 0	30 2 566 0 43 0 0 0 0 0 0	214 14 3.639 16 296 10 9 9 0 0	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0%	29 2 618 7 60 5 4 0 0 0	23 0 575 5 48 1 1 0 0 0	20 0 567 3 53 0 0 0 0 0	20 1 565 2 39 1 1 1 0 0	15 0 608 1 46 1 1 0 0	21 1 594 0 37 0 0 0 0 0	128 4 3.527 18 283 8 7 0 0 0	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0%	342 18 7,166 34 579 18 17 16 0 0	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0%
	世ん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者 精密検査を変施者数 (精密検査)胸部X線検査実施者数 (精密検査)喀痰検査実施者数 (精密検査)その他の検査実施者数 潜在性結核感染症の者 結核の者	41 0 569 9 50 7 6 6 0 0 0	28 5 652 1 53 0 0 0 0 0 0 0	40 2 624 0 48 0 0 0 0 0 0 0	43 2 623 5 54 3 3 0 0 0	32 3 605 1 48 0 0 0 0 0 0 0	30 2 566 0 43 0 0 0 0 0 0	214 14 3,639 16 296 10 9 9 0 0 0	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%	29 2 618 7 60 5 4 0 0 0 0	23 0 575 5 48 1 1 1 0 0 0	20 0 567 3 53 0 0 0 0 0 0 0	20 1 565 2 39 1 1 0 0 0	15 0 608 1 46 1 1 0 0 0	21 1 594 0 37 0 0 0 0 0 0	128 4 3.527 18 283 8 7 0 0 0 0 3.525	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%	342 18 7,166 34 579 18 17 16 0 0 0	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0% 99.8%
結核検査に関わる。	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者 精密検査実施者数 (精密検査)胸部X線検査実施者数 (精密検査) 喀痰検査実施者数 (精密検査) その他の検査実施者数 (精密検査) その他の検査実施者数 潜在性結核感染症の者 結核の者	41 0 569 9 50 7 6 6 6 0 0 0	28 5 652 1 53 0 0 0 0 0 0 0 0 5 5 5 6 5 6 6 6 6 6 6 6 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	40 2 624 0 48 0 0 0 0 0 0 0 0	43 2 623 5 54 3 3 0 0 0 0	32 3 605 1 48 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30 2 566 0 43 0 0 0 0 0 0 0 0	214 14 3,639 16 296 10 9 9 0 0 0 0 0 3,635 39	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 1.1%	29 2 618 7 60 5 4 0 0 0 0	23 0 575 5 48 1 1 0 0 0	20 0 567 3 53 0 0 0 0 0 0 0 0	20 1 565 2 39 1 1 0 0 0 0	15 0 608 1 46 1 1 0 0 0 0	21 1 594 0 37 0 0 0 0 0 0 0 0	128 4 3.527 18 283 8 7 0 0 0 0 0 0	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%	342 18 7,166 34 579 18 17 16 0 0 0 0	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%
肥やの状況	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者 精密検査実施者数 (精密検査)胸部X線検査実施者数 (精密検査)喀痰検査実施者数 (精密検査) 喀痰検査実施者数 (精密検査)その他の検査実施者数 潜在性結核感染症の者 結核の者  受検者数 高度肥満(肥満度≧50%) 中等度肥満(50%>肥満度≧30%)	41 0 569 9 50 7 6 6 6 0 0 0 0 570 2 13	28 5 652 1 53 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	40 2 624 0 48 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	43 2 623 5 54 3 3 0 0 0 0 0	32 3 605 1 48 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 21	30 2 566 0 43 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	214 14 3.639 16 296 10 9 9 0 0 0 0 0 3.635 39 140	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 1.1% 3.9%	29 2 618 7 60 5 5 4 0 0 0 0	23 0 575 5 48 1 1 0 0 0 0	20 0 567 3 53 0 0 0 0 0 0 0 0 0	20 1 565 2 39 1 1 0 0 0 0 563 5	15 0 608 1 46 1 1 0 0 0 0 608 4 20	21 1 594 0 37 0 0 0 0 0 0 0 0 4 12	128 4 3,527 18 283 8 7 0 0 0 0 0 0	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.6%	342 18 7,166 34 579 18 17 16 0 0 0 0 7,160 60 230	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 3.2%
肥やの田 状式によ	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者 精密検査実施者数 (精密検査) 略変検査実施者数 (精密検査) 喀痰検査実施者数 (精密検査) マの検査実施者数 (精密検査) その他の検査実施者数 潜在性結核感染症の者 結核の者  受検者数 高度肥満(肥満度≧50%) 中等度肥満(30%>肥満度≧30%) 軽度肥満(30%>肥満度≧20%)	41 0 569 9 50 7 6 6 6 0 0 0 0 570 2 13	28 5 652 1 53 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	40 2 624 0 48 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 4 16 44	43 2 623 5 54 3 3 0 0 0 0 0 623 8 35 32	32 3 605 1 48 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 10 10 21 34	30 2 5666 0 43 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 39 25	214 14 3,639 16 296 10 9 9 0 0 0 0 0 3,635 39 140 176	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 1.1% 3.9% 4.8%	29 2 618 7 60 5 5 4 0 0 0 0 0	23 0 575 5 48 1 1 0 0 0 0 0	20 0 567 3 53 0 0 0 0 0 0 0 0 0 6 16 20	20 1 565 2 39 1 1 0 0 0 0 0 563 5 15 27	15 0 608 1 46 1 1 0 0 0 0 0 608 4 20 23	21 1 594 0 37 0 0 0 0 0 0 0 0 4 12 32	128 4 3,527 18 283 8 7 0 0 0 0 0 0 3,525 21 90 148	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.6% 2.6% 4.2%	342 18 7,166 34 579 18 17 16 0 0 0 0 7,160 60 230 324	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 4.8% 3.2% 4.5%
肥やの状況	ぜん息の者 腎臓疾患の者 問診実施者数 ・問診票から 要検討者数 学校医による診察実施者数 要精密検査の者 精密検査実施者数 (精密検査)胸部X線検査実施者数 (精密検査)喀痰検査実施者数 (精密検査) 喀痰検査実施者数 (精密検査)その他の検査実施者数 潜在性結核感染症の者 結核の者  受検者数 高度肥満(肥満度≧50%) 中等度肥満(50%>肥満度≧30%)	41 0 569 9 50 7 6 6 6 0 0 0 0 570 2 13	28 5 652 1 53 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	40 2 624 0 48 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	43 2 623 5 54 3 3 0 0 0 0 0	32 3 605 1 48 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 21	30 2 566 0 43 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	214 14 3.639 16 296 10 9 9 0 0 0 0 0 3.635 39 140	5.9% 0.4% 99.9% 0.4% 8.1% 0.3% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 1.1% 3.9%	29 2 618 7 60 5 5 4 0 0 0 0	23 0 575 5 48 1 1 0 0 0 0	20 0 567 3 53 0 0 0 0 0 0 0 0 0	20 1 565 2 39 1 1 0 0 0 0 563 5	15 0 608 1 46 1 1 0 0 0 0 608 4 20	21 1 594 0 37 0 0 0 0 0 0 0 0 4 12	128 4 3,527 18 283 8 7 0 0 0 0 0 0	3.6% 0.1% 99.8% 0.5% 8.0% 0.2% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.6%	342 18 7,166 34 579 18 17 16 0 0 0 0 7,160 60 230	0.7% 4.8% 0.3% 99.9% 0.5% 8.1% 0.2% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 3.2%

※「裸眼視力省略の者」は、「裸眼視力検査」の「受検者数」に含まない。

## 令和元年度 児童生徒定期健康診断集計表 【中学校】

## 19	ΕΛ	T 3K1T	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	男女	男女
製造物質	区分	中学校					%					%		%
近日の							25.49				_	24.00	_	22.20
#報明の外部											-			
日本語の	神田祖士松本													
接触性   接換						-								
接合性				-										
接いた。				-										
接いた できらい できらい できらい できらい できらい できらい できらい できらい	眼の絵査													
野神経   一次	収の投重					-								
接続できたいた。				<u> </u>					<u> </u>	_				
接触性	聴力検査								$\overline{}$		-			
再換照明報				558					546					
● 副品腔疾患の者 0 0 68 0 0 68 122% 0 0 41 0 41 7.5% 100 9.95 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	甘阜咽頭の													
受給者数														
□の検査			0		0	-		0		0				
照案子の者 73 64 64 201 118 76 60 103 239 14.5% 440 13.15 表現監備の名名者 86 87 79 253 14.8% 67 107 122 236 18.0% 549 16.0% 13.15 表現 13.15 表现 13.15				-	527			542		563	1.649			
高の検索  一部の検索  一部の  一部の  一部の  一部の検索  一部の  一部の  一部の  一部の検索  一部の  一部の  一部の検索  一部の  一部の  一部の  一部の  一部の  一部の  一部の  一部			73	64	64	-	11.8%	76	60	103	239	14.5%	440	13.1%
高の検索  一部の検索  一部の  一部の  一部の  一部の検索  一部の  一部の  一部の  一部の検索  一部の  一部の  一部の検索  一部の  一部の  一部の  一部の  一部の  一部の  一部の  一部						-								
勝列・咬合1の者 119 109 97 325 19.15 101 95 91 287 17.45 101 18.35 14 42 135 79% 44 62 58 164 9.9% 299 299 299 299 299 299 299 299 299 2														
勝一時に対している。						-								
期間節 2 の				54	42			44	62	58	164	9.9%	299	
<ul> <li>歯垢の状態 1の者</li> <li>101</li> <li>88</li> <li>97</li> <li>286</li> <li>16.85</li> <li>71</li> <li>69</li> <li>65</li> <li>205</li> <li>12.45</li> <li>491</li> <li>14.65</li> <li>自頭の状態 2の者</li> <li>19</li> <li>23</li> <li>9</li> <li>51</li> <li>305</li> <li>12</li> <li>12</li> <li>12</li> <li>21</li> <li>21</li> <li>22</li> <li>21</li> <li>22</li> <li>21</li> <li>45</li> <li>275</li> <li>96</li> <li>295</li> <li>286</li> <li>15.75</li> <li>73</li> <li>75</li> <li>79</li> <li>227</li> <li>19</li> <li>28</li> <li>10</li> <li>10</li> <li>17</li> <li>19</li> <li>46</li> <li>2.85</li> <li>90</li> <li>275</li> <li>206</li> <li>207</li> <li>206</li> <li>207</li> <li>206</li> <li>207</li> <li>206</li> <li>207</li> <li>207</li> <li>207</li> <li>208</li> <li>208</li> <li>211</li> <li>11</li> <li>11</li> <li>11</li> <li>11</li> <li>11</li> <li>11</li> <li>11</li> <li>11</li> <li>11</li> <li>11</li></ul>	歯の検査		5	4	4	13	0.8%	11	7	10	28	1.7%	41	1.2%
### 整新の状態 2の者		顎関節 2の者	2	4	1	7	0.4%	0	3	2	5	0.3%	12	0.4%
歯肉の状態 1の者 95 86 87 288 15.7% 73 75 79 227 13.8% 495 14.8% 自肉の状態 2の者 9 26 9 44 2.6% 10 17 19 46 2.8% 90 2.7% その他の疾病の者 18 11 6 6 35 2.1% 10 17 19 46 2.8% 90 2.7% その他の疾病の者 18 11 6 6 35 2.1% 10 17 19 46 2.8% 90 2.7% その他の疾病の者 18 11 16 6 35 2.1% 10 17 19 46 2.8% 90 2.7% 日本の他の疾病の者 18 12 2 206 206 206 206 207% 338 2 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 206 207% 207% 207% 207% 207% 207% 207% 207%		歯垢の状態 1の者	101	88	97	286	16.8%	71	69	65	205	12.4%	491	14.6%
関内の状態 2の者 9 26 9 44 2.6% 10 17 19 46 2.8% 90 2.7% その他の疾病の者 18 11 6 35 2.1% 19 8 8 3 35 2.1% 70 2.1% 2.0% (人名歯の未処置歯数) 152 206 111 11 11 17 17 17 19 46 17 18 19 18 18 11 18 11 6 35 2.1% 19 8 8 8 3 35 2.1% 70 2.1% 2.1% 2.0% 150		歯垢の状態 2の者	19	23	9	51	3.0%	12	12	21	45	2.7%	96	2.9%
日本の他の疾病の者 18 11 6 35 2.1% 19 8 8 8 35 2.1% 70 2.1% 0 (永久値の未免匿箇数) 132 132 206 206 338 208 338 208 (永久値の未免匿箇数) 132 132 206 206 338 208 338 208 206 (永久値の表人匿箇数) 156 156 150 306 (下永久値の処匿歯数) 156 150 150 306 (下永久値の処匿歯数) 156 150 306 (下永久値の処匿歯数) 156 150 306 (万永久値の処匿歯数) 156 150 308 208 208 208 208 208 208 208 208 208 2		歯肉の状態 1の者	95	86	87	268	15.7%	73	75	79	227	13.8%	495	14.8%
D(永久橋の朱色園園数)		歯肉の状態 2の者	9	26	9	44	2.6%	10	17	19	46	2.8%	90	2.7%
□ DMF 歯数		その他の疾病の者	18	11	6	35	2.1%	19	8	8	35	2.1%	70	2.1%
F(永久僧の処置御教) 156   156   156   150   306   248   258   259   267   1650   306   279   346   17,733   97.6%   532   559   567   1.656   97.0%   3.391   97.3%   3.60   3.		D(永久歯の未処置歯数)	132	$\overline{}$	$\overline{}$	132		206	$\overline{}$	$\overline{}$	206		338	
原検者数 608 579 546 1.733 97.6% 532 559 567 1.658 97.0% 3.391 97.3% 温白陽性の者 5 10 3 18 1.0% 10 16 9 35 2.1% 53 1.6% 潜血陽性の者 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2 0 1 1 1 1 9 50 30% 53 1.6% 務当陽性の者 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2 0 2 0.1% 53 1.6% 務主無解保有の者 4 2 2 8 3 0.5% 2 0 2 1 11 1 19 50 30% 3.0% 53 1.6% 際法 不良の者 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	DMF歯数	M(永久歯の喪失歯数)	6			6		11		$\setminus$	11		17	
展在画階性の者 5 10 3 18 1.0% 10 16 9 35 2.1% 53 1.6% 潜血陽性の者 1 1 1 1 3 0.2% 20 11 19 50 3.0% 53 1.6% 潜血陽性の者 0 0 0 0 0 0.0% 0 2 0 2 0.1% 2 0.1% 2 0.1% 至 0.1% 要接着数		F(永久歯の処置歯数)	156			156		150	$\setminus$	$\setminus$	150		306	$\setminus$
勝極性の者 1 1 1 1 3 0.2% 20 11 19 50 3.0% 53 1.6% 静陽性の者 0 0 0 0 0 0.0% 0 2 0 2 0.1% 2 0.1% 2 0.1% 変換者数		受検者数	608	579	546	1,733	97.6%	532	559	567	1,658	97.0%	3,391	97.3%
潜血陽性の者 1 1 1 1 3 0.2% 20 11 19 50 3.0% 53 1.6% 抽陽性の者 0 0 0 0 0 0.0% 0 2 0 2 0.1% 2 0.1% 2 0.1% 2 0.1% 3 1.6% 抽陽性の者	尿桳杏	蛋白陽性の者	5	10	3	18	1.0%	10	16	9	35	2.1%	53	1.6%
審生虫卵 寄生虫卵 寄生虫卵 寄生虫卵 寄生虫卵 寄生虫卵 寄生虫卵 寄生虫卵 寄	77-17-12		1	1	1	3	0.2%	20	11	19	50	3.0%	53	1.6%
寄生虫卵保有の者			0	0	0	0	0.0%	0	2	0	2	0.1%	2	0.1%
要検者数 623 567 542 1.732 97.6% 547 553 576 1.676 98.0% 3.408 97.8% 栄養不良の者 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	寄生虫卵		$\sim$	=	$\overline{}$			=	$\sim$	$\sim$	$\overline{}$	-	$\overline{}$	$\sim$
形満傾向の者 4 2 2 8 0.5% 2 0 2 4 0.2% 12 0.4% 育柱側わんの者 0 5 6 11 0.6% 12 12 25 49 2.9% 60 1.8% その他の脊柱・胸郭・四肢の異常の者 1 1 2 4 0.2% 1 0 0 0 1 0.1% 5 0.1% 感染性皮膚疾患の者 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 7トピー性皮膚炎の者 12 7 6 25 1.4% 7 9 5 21 1.3% 46 1.3% 心臓疾患・異常の者 2 1 2 5 0.3% 4 2 5 11 0.7% 16 0.5% ぜん息の者 12 7 6 25 1.4% 7 9 5 21 1.3% 46 1.3% 心臓疾患・異常の者 2 1 2 5 0.3% 4 2 5 11 0.7% 16 0.5% ぜん息の者 18 20 19 57 3.3% 18 13 8 39 2.3% 96 2.8% 腎臓疾患の者 0 1 0 1 0.1% 3 0 0 3 0.2% 4 0.1% 16 0.5% 16 0.5% 16 0.5% 17 0 0 0 3 0 0.9% 1 0.0% 1 0.1% 2 2 3 3 7 0.4% 13 0.4% 学校医による診察実施者数 628 585 558 1,771 99.8% 551 568 567 1,706 99.8% 3.477 99.8% 10 0 0 0 0 0 0.0% 1 0			623	567	542	1,732	97.6%	547	553	576	1,676	98.0%	3,408	97.8%
その他の疾病等の検査 その他の脊柱・胸郭・四肢の異常の者 1 1 2 4 0.2% 1 0 0 1 0.1% 5 0.1% 感染性皮膚疾患の者 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0		栄養不良の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
その他の存在・胸郭・四肢の異常の者 1 1 2 4 0.2% 1 0 0 1 0.1% 5 0.1% 感染性皮膚疾患の者 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0		肥満傾向の者	4	2	2	8	0.5%	2	0	2	4	0.2%	12	0.4%
病等の検査   感染性皮膚疾患の者		脊柱側わんの者	0	5	6	11	0.6%	12	12	25	49	2.9%	60	1.8%
総株住及商鉄造の者 12 7 6 25 1.4% 7 9 5 21 1.3% 46 1.3% 心臓疾患・異常の者 2 1 2 5 0.3% 4 2 5 11 0.7% 16 0.5% ぜん息の者 18 20 19 57 3.3% 18 13 8 39 2.3% 96 2.8% 腎臓疾患の者 0 1 0 1 0.1% 3 0 0 3 0.2% 4 0.1% 問診薬から 要検討者数 628 585 558 1.771 99.8% 551 568 587 1.706 99.8% 3.477 99.8% ・問診薬から 要検討者数 3 3 0 6 0.3% 2 2 3 3 7 0.4% 13 0.4% 学校医による診察実施者数 93 124 101 318 18.0% 113 122 120 355 20.8% 673 19.4% 要精密検査の者 1 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% (精密検査)ト胞部終検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% (精密検査)を応者数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 1 0.0% (精密検査)を応者数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 1 0.0% 済在性結核感染症の者 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 1 0.0% 済在性結核感染症の者 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 1 0.0% 済在性結核感染症の者 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 1 0.0% 済在性結核の者 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 1 0.0% 1 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	その他の疾	その他の脊柱・胸郭・四肢の異常の者	1	1	2	4	0.2%	1	0	0	1	0.1%	5	0.1%
心臓疾患・異常の者 2 1 2 5 0.3% 4 2 5 11 0.7% 16 0.5% ぜん息の者 18 20 19 57 3.3% 18 13 8 39 2.3% 96 2.8% 腎臓疾患の者 0 1 0 1 0.1% 3 0 0 3 0.2% 4 0.1% 間診実施者数 628 585 558 1.771 99.8% 551 568 587 1.706 99.8% 3.477 99.8% 学校医による診察実施者数 93 124 101 318 18.0% 113 122 120 355 20.8% 673 19.4% 要精密検査の者 1 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% (精密検査)密疫検査実施者数 2 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% (精密検査)密疫検査実施者数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)を必検査実施者数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 3 0.2% 4 9.6% 50 0 0 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0	病等の検査	感染性皮膚疾患の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
世ん息の者 18 20 19 57 3.3% 18 13 8 39 2.3% 96 2.8% 腎臓疾患の者 0 1 0 1 0.1% 3 0 0 3 0.2% 4 0.1% 問診実施者数 628 585 558 1,771 99.8% 551 568 587 1,706 99.8% 3.477 99.8% 学校医による診察実施者数 93 124 101 318 18.0% 113 122 120 355 20.8% 673 19.4% 要精密検査の者 1 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% 理構密検査の者 1 0 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% 1 0.0% (精密検査)胸部X線検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)を廃棄施者数 0 0 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)を必要施者数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 1 0.0% 潜在性結核感染症の者 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0.0% 1 0.0% 潜在性結核感染症の者 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0.0% 1 0.0% 1 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0.0% 1 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0 0 0 0 0.0% 1 0 0.0% 1 0 0 0 0 0.0% 1 0 0 0 0 0.0% 1 0 0 0 0 0.0% 1 0 0 0 0 0 0.0% 1 0 0 0 0 0.0% 1 0 0 0 0 0.0% 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		アトピー性皮膚炎の者	12	7	6	25	1.4%	7	9	5	21	1.3%	46	1.3%
腎臓疾患の者 0 1 0 1 0.1% 3 0 0 3 0.2% 4 0.1% 目診実施者数 628 585 558 1.771 99.8% 551 568 587 1.706 99.8% 3.477 99.8% 予技医による診察実施者数 93 124 101 318 18.0% 113 122 120 355 20.8% 673 19.4% 要精密検査の者 1 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% 要精密検査の者 1 0 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% (精密検査)胸部X線検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)略部X線検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)を強強を実施者数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)を強強を実施者数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)を必要を持定を表数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0.0% 1 0.0% (精密検査)を必要を持定を表数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0.0% 0 0 0.0% 1 0.0% (精密検査)を必要を持定を表数 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0 0.0% 0 0 0.0% 1 0.0% (精密検査)を持定を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を		心臓疾患・異常の者	2	1	2	5	0.3%	4	2	5	11	0.7%	16	0.5%
問診実施者数 628 585 558 1,771 99.8% 551 568 587 1,706 99.8% 3,477 99.8% 予検医による診察実施者数 3 3 0 6 0.3% 2 2 3 7 0.4% 13 0.4% 学校医による診察実施者数 93 124 101 318 18.0% 113 122 120 355 20.8% 673 19.4% 要精密検査の者 1 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% [精密検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)略部X線検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)密療検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0.0% 0 0.0% (精密検査)をの他の検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% (精密検査)その他の検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0%			18	20	19	57	3.3%	18	13	8	39	2.3%	96	2.8%
・問診票から 要検討者数 93 124 101 318 18.0% 113 122 120 355 20.8% 673 19.4% 学校医による診察実施者数 93 124 101 318 18.0% 113 122 120 355 20.8% 673 19.4% 要精密検査の者 1 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0 0.0% 1 0.0% 1 0.0% (精密検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)略部X線検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)略部X線検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0.0% 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)を密察検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0%			-						0	_				0.1%
## 学校医による診察実施者数 93 124 101 318 18.0% 113 122 120 355 20.8% 673 19.4% 要精密検査の者 1 0 0 1 0.1% 0 0 0 0 0.0% 1 0.0%														
無核検査														
精密検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)胸部X線検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)胸部X線検査実施者数 2 0 0 0 2 0.1% 0 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)喀痰検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% (精密検査)その他の検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0.0%														
(精密検査)胸部X線検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)溶痰検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% (精密検査)容痰検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0%		要精密検査の者 	1	0	0	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%	1	0.0%
(精密検査)胸部X線検査実施者数 2 0 0 2 0.1% 0 0 0 0.0% 2 0.1% (精密検査)溶痰検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% (精密検査)容痰検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0%	4+++ <u>+</u>	<b>维索检查中扩大型</b>	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>		Ķ	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	
(精密検査)喀痰検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0%	<b>福</b> 核梗 <b>宜</b>					-								
(精密検査)その他の検査実施者数 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0%														
潜在性結核感染症の者 0 0 0 0 0.0% 0 0 0 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0%						-								
若核の者   0														
受検者数 583 518 505 1,606 90.5% 496 510 532 1,538 89.9% 3,144 90.2% 高度肥満(肥満度≥50%) 15 7 10 32 2.0% 8 3 7 18 1.2% 50 1.6% 中等度肥満(50%)>肥満度≥30%) 34 23 29 86 5.4% 16 17 28 61 4.0% 147 4.7% 軽度肥満(30%)>肥満度≥20%) 35 22 27 84 5.2% 23 29 34 86 5.6% 170 5.4% やせ(-20%)≥肥満度> -30%) 17 7 12 36 2.2% 14 23 11 48 3.1% 84 2.7%														
肥 満せつ せん か せん か は か は か は か は か は か は か は か は か は か		MATINA ALL			U		J.U/0			U	U	J.U/0	U	J.U/0
肥 満 や せ か け か け か が 沢 (村田式による)		受検者数	583	518	505	1,606	90.5%	496	510	532	1,538	89.9%	3,144	90.2%
や せ		高度肥満(肥満度≧50%)	15	7	10	32	2.0%	8	3	7	18	1.2%	50	1.6%
(村田式による) や世(-20% ≧肥満度 > -30%) 17 7 12 36 2.2% 14 23 11 48 3.1% 84 2.7%	即 注	<b>☆ 中 中 中 一 中 一 中 一 中 一 中 一 中 一 中 一 中 一 中 </b>	34	23	29	86	5.4%	16	17	28	61	4.0%	147	4.7%
やせ(-20%≧肥満度> -30%) 17 7 12 36 2.2% 14 23 11 48 3.1% 84 2.7%	やせ	中寺及肥為(50%) / 肥為及至30%)	07					_						
高度のやせ(-30%≧肥満度) 1 0 0 1 0.1% 1 1 2 4 0.3% 5 0.2%	や せの状況					84	5.2%	23	29	34	86	5.6%	170	5.4%
	や せの状況	軽度肥満(30%>肥満度≧20%)	35	22	27									

※「裸眼視力省略の者」は、「裸眼視力検査」の「受検者数」に含まない。

# 学校給食について

#### 1. 給食の実施方式

(1) 給食センター方式(10校)

木更津第一小学校、木更津第二小学校、清見台小学校、畑沢小学校、請西小学校、真舟小学校 木更津第一中学校、木更津第二中学校、太田中学校、畑沢中学校

#### (2) 自校親子方式(20校)

(東清小学校・南清小学校)、(祇園小学校・清川中学校)、(岩根小学校・岩根西中学校) (高柳小学校・岩根中学校)、(波岡小学校・波岡中学校)、(鎌足小学校・鎌足中学校) (金田小学校・金田中学校)、(中郷小学校・西清小学校)、(富来田小学校・富来田中学校) (八幡台小学校・木更津第三中学校)

※左に記載されている学校で2校分を調理し、右に記載されている学校へ配送します。

#### 2. 給食費の額

給食費の1食単価は、小学校265円、中学校320円です。

#### 3. 学校給食センター

木更津市学校給食センターの建設・稼動に関して、PFI方式を採用し「木更津教育サービスPFI株式会社」によるHACCPの概念とするドライシステムでの衛生管理を実施し、最新式調理機器を活用した調理を行っています。

#### ○ 施設概要

所 在 地 木更津市潮見二丁目13番地1

敷地面積 5,474.00㎡

建築面積 1,912.55㎡

延床面積 2,524.08㎡

構 造 鉄骨造2階建

開設年月日 平成21年4月1日

#### ○ 事業概要

施設稼働日 年間199日以内

給食数6,000食/日(最大提供可能食数)

配 食 校 給食センター方式による10校

## 4. 学校給食における地産地消及び循環による食育の推進

給食食材の選定にあたって、地産地消を推進しております。

特に、鎌足小・中学校においては、地元産野菜を積極的に給食に使用するとともに、生ごみ処理機を鎌足小学校内に設置し、給食から発生する残渣を肥料化したものを地元農家等へ還元する循環を通して、食育に取り組んでおります。今後、実施校を増やし、地元産品の取り入れ拡大を推進していきます。

- 46 -
--------

# 6. 生 涯 学 習

#### 重点目標・施策

#### 1 青少年の健全育成

青少年の健やかな成長と自立を実現するために、家庭、地域、学校・行政をはじめ、社会全体で青少年を育み、支える環境づくりを推進し、地域の教育力の向上を図ります。あわせて青少年育成事業や教育環境の整備に取り組みます。

#### (1) 青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上

- ・青少年の指導育成、保護、矯正に関する総合的施策や自立支援方策等について必要な事項を調査・審議するとともに、関係機関との連絡調整を図るため、青少年問題協議会を開催します。
- ・子どもたちの居場所づくりや、家庭、地域、学校・行政が連携して地域の教育力の向上を図るため、「生き生き子ども地域活動促進事業」を推進し、地域の参画による世代間交流や様々な体験活動を提供し、子どもたちの主体性、協調性、自立心の育成を図ります。
- ・青少年の健全育成を推進するため、県と連携し青少年相談員を委嘱し、制度の活性化と 活動の充実を図ります。
- ・地域での青少年健全育成活動を推進するため、子ども会育成連絡協議会、青少年育成木 更津市民会議等の関係団体を支援するとともに、担い手となるボランティアの育成に努め てまいります。

#### (2) 青少年育成事業の推進

- ・青少年の豊かな人間性を育み、自立と社会参加を促すため、生き生き体験キャンプ事業 や野外体験促進事業、成人式事業など、青少年育成に関する各種事業を実施します。
- ・少年自然の家キャンプ場が、自然体験活動の拠点として一層活用されるよう、積極的な 広報や運営方法の改善等による利用促進を図ります。
- ・老朽化した施設の計画的な整備に努めるとともに、中長期的な施設の改修・整備計画の策定に向けた検討を行います。
- ・青少年のさまざまな活動を支援するため、アフタースクールボランティアやユースボランティアなど各種ボランティアを活用するとともに、各ボランティアの活性化を図ります。

#### (3) 青少年を取り巻く環境浄化と非行防止

- ・さまざまな問題に悩む青少年や保護者への支援を行うため社会教育指導員による相談活動(電話相談・来所相談・メール相談)を実施します。
- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、青少年補導員による地区街頭補導、列車乗車マナー指導、喫煙・飲酒防止キャンペーンなどの「青少年への愛の一声運動」を関係機関・団体との連携のもと行います。
- ・青少年の非行防止と健全育成に関する啓発のため、青少年健全育成だより「News Letter」や青少年指導関係活動報告「青少年に愛の一声を」を発行するとともに、関係機関や学校、また地区住民会議や地域の各種団体と連携し、地域ぐるみの非行防止啓発活動に取り組みます。
- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関や青少年補導員・相談員・PTAなど地域の関係団体とともに、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を行います。

・青少年育成、非行防止に関わる関係機関・団体・有識者との連携を図り、まなび支援センターの青少年指導関係事業を効果的に運営するために、青少年指導関係運営協議会を開催します。

#### 2 社会教育の推進

さまざまな暮らしの課題に対し、市民一人ひとりがあらゆる機会、あらゆる場所を利用して学習できる環境を整えるとともに、社会の変化に対応したまちづくりを推進するために、必要な学習機会を提供し、その活動を奨励します。

また、社会教育を推進する各機関・団体との連携・協力や社会教育施設の整備を図ります。

#### (1) 生涯学習・社会教育推進体制の充実

- ・広く民意を反映し、市民参画による社会教育行政の推進を図るため、社会教育委員会議 に社会教育推進施策等を諮問し、答申や意見を求めます。
- ・総合的な生涯学習の推進にあたり、広く市民の意見や要望を取り入れるため、生涯学習 推進協議会を開催します。
- ・市民に多様な学習機会を提供し、学習活動を側面から支援するため、職員の力量形成の 向上に努めるほか、専門職員による学習支援体制の充実を図ります。
- ・近隣市や県内の関係団体とも連携し、社会教育関係委員や社会教育関係職員の研修活動の充実に努めます。
- ・視聴覚教材を活用し、各種団体・機関等の学習活動を支援します。
- ・社会環境の変化に対応した「第2次生涯学習基本構想」と「基本計画」の策定に取り組みます。
- ・今後の公民館のあり方に鑑み、関係部等と調整しながら、公民館の総合的な整備の方向性を検討します。

#### (2) 生涯学習・社会教育活動の充実

- ・家庭教育の不安や悩みを解消するため、家庭、地域、学校・行政が一体となって家庭の教育力向上を図ります。
- ・家庭教育支援の拡充を図るため、官民含めた機関、団体との連携を図り、社会全体で子育てを支援する機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの環境を充実します。
- ・女性の社会参加の促進や地域社会・まちづくりへの積極的な関わりを推進するための、 学習機会の提供に努めます。
- ・市民の多様で高度な学習ニーズに対応するため、市内高等教育機関と連携した公開講座 の開催や市政に理解を深めてもらうことを目的とした出前講座を実施します。また、「動く 教室」として生涯学習バスを運行します。
- ・市民による生涯学習活動の一層の拡充と生涯学習を通じたまちづくりの振興を図るため、 生涯学習フェスティバルを開催するなど生涯学習に関する啓発事業を実施します。特に、 若手・中間層(30~50歳代)が中心的に関わる事業展開を目指します。
- ・社会教育関係団体との協働の事業を推進し、団体が自主的に行う社会教育活動の円滑な 運営や一層の充実を図るため、求めに応じて助言・指導します。また、木更津市教育振興 事業補助金交付要綱に基づき、対象となる事業に対して補助金を交付し活動を支援します。
- ・生涯学習活動により培ってきた知識や経験など、市民の生涯学習の成果をそれぞれの社

会生活や地域社会に活かすため、生涯学習ボランティアの仕組みづくりを進めます。

#### (3) 図書館サービスの充実

- ・利用者の要望及び社会の要請に対応するため、基本的運営方針、資料の収集方針、各年度ごとの事業計画の策定及び公表について検討します。また、運営の状況、目標の達成状況等に関して自らの点検及び評価を行うよう努めます。また、市民の生活や仕事に関する課題及び地域に関する課題の解決に向けた活動を支援するため、本市の実情に即した情報や資料を収集・整備・提供します。また、県内外の公共図書館、大学図書館や他機関との連携を図り、豊富な情報資産を活用して、司書によるレファレンス機能を充実させ、的確な情報提供を行います。さらに、利用者の安全・安心を図るため、社会情勢を踏まえ想定される事態に対応した危機管理体制の見直しを検討します。
- ・図書館遠隔地の市民の読書環境を整備するため、公民館図書室との連携を強化し、整備・充実を図ります。
- ・子どもの読書活動の推進を支援するため、児童図書の整備、学校及び教諭、読書相談員 との連携を強化します。
- ・地域住民の学びを支える図書館づくりを図るため、図書館ホームページ・図書館報等により情報を発信するとともに、利用者・地域・他機関との協働・連携を推進し、魅力ある講演会・講座・展示会等の事業展開に努め、利用者の一層の拡大を図ります。

#### (4) 公民館活動の充実

- ・市民の学習要求に応えるため、各種学級・講座を実施します。また、安心して暮らせる地域社会の構築を図るため、生活課題や地域課題の解決に向けた学級講座を実施します。
- ・家庭教育の充実を図るため、小中学校や地域の教育機関との連携を進めます。また、親 同士のネットワークを広げるため、乳幼児期、児童期、思春期の各成長段階に応じた家庭 教育学級や子育て講座を地域の状況にあわせて実施します。さらに、地域において乳幼児 と親が孤立しないため、気軽に集える場を提供し、子育てを支援します。
- ・未来を担う青少年の健全な育成を図るため、サタデースクール事業等の青少年教育事業 を実施します。また、地域ぐるみの青少年健全育成を促進するため、生き生き子ども地域 活動促進事業を支援します。さらに、効果的な事業の推進を図るため、地区住民会議など、 地域や学校、各種関係機関との連携・協働を進めます。
- ・高齢者の生きがいや健康づくりを促進するため、高齢者教室を実施します。また、豊かで活力のある長寿社会の実現のため、高齢者の持つ豊富な知識や経験を活かした他世代交流の機会を創出するとともに、社会参加を促進します。
- ・民意を反映した公民館運営の推進を図るため、各種事業の企画実施について調査・審議する公民館運営審議会を開催します。また、地域住民の自主的な社会教育活動を推進するため、市民参画による事業を進めます。さらに、地域の絆づくりと新たなコミュニティ形成を図るため、地域住民や各種関係機関との協力支援体制を構築します。合わせて、地域自治の拠点として行政と地域をつなぐ役割を担い、まちづくり協議会の支援に取り組みます。

#### (5) 生涯学習・社会教育施設の整備

・今後の公民館の整備や老朽化した施設の改修を含めた公民館の総合的な整備計画の策定に向け、「木更津市公共施設再配置計画」を踏まえ、関係部等と協議を進めます。

- ・快適に学習できる環境を維持するため、建物や設備の不具合を補修するほか、備品の管理に努めるなど、適正な維持・保全及び整備に努めます。
- ・社会教育施設の使用料・手数料の改定に伴い、条例等の適正な運用による利用者間の公平性の確保と利用者の理解を図ることに努めます。

#### 3 市民文化の充実

市民がふるさとの歴史や文化に誇りと愛着を持つために、地域の芸術文化を育む環境づくりを図りながら多様な芸術文化活動の推進をめざします。また、歴史的な文化遺産と豊かな自然を後世に伝えていくため、埋蔵文化財、古文書、民具、伝統行事などを保存し、継承するとともに、それらの保管管理ができる施設の整備に努めます。

#### (1) 芸術文化活動の推進

- ・児童生徒の芸術文化に触れる機会を充実させるため、音楽鑑賞教室等の事業を拡充します。また、市民を対象にプロの芸術家などによるコンサートや美術展鑑賞会を開催し、優れた芸術文化に触れる機会を提供します。さらに、芸術文化の向上を図るため、収蔵作品の適正な保存、管理及び活用に努めます。また、茶華道などの伝統文化を体験できるよう関係団体と協議を進めます。
- ・各種芸術文化団体の自主的な活動を支援するため、情報提供や助言するとともに、市内の芸術文化団体が実施する事業へ補助金を交付します。さらに、市民会館大ホールが利用できない中、市外の対象施設を利用する場合に使用料の一部を補助します。

#### (2) ふるさと文化の継承

- ・市内に所在する有形・無形の文化財、史跡、天然記念物の保護を図るため、文化財の指定・活用・周知に努めます。また、市内の文化財を保存・伝承する団体を支援するため、求めに応じた助言・指導とともに補助金を交付します。
- ・埋蔵文化財保護のため、開発事業に対応した調整を図り、必要な発掘調査や整理作業を 実施し、調査報告書を刊行して記録保存に努めます。また、発掘調査で出土した資料を博 物館の展示に活用し、適正に管理するよう努めます。
- ・本市の歴史や文化、また豊かな自然への関心を高めるため、新たな「木更津市史」を編さん・刊行し、調査・研究成果を活用した学習活動の支援や公開講座の実施に努めるとともに、「(仮称) 木更津市史編さん室」の設置に向けた検討を進めます。
- ・博物館事業の充実を図るため、学校の受入れ等を積極的に行う博学連携事業及び市民が博物館事業の運営に参画する市民との連携事業をさらに推進し、利用者の増大に努めます。
- ・金鈴塚古墳出土品の国宝化をめざして推進事業に取り組むとともに、国の機関等との共同研究及び資料整理を行い、研究報告書を刊行します。
- ・博物館事業の充実を図るため郷土に関する調査研究を、市民、研究者及び研究協力機関 と協力して推進し、その成果を企画展事業や講座、体験教室等に反映させます。

#### (3) 文化施設・郷土博物館金のすずの整備

・市民文化の発展に資するため、新たな中規模ホールの活用方法の検討を進めます。また、 埋蔵文化財を適正に管理するため、公共施設再配置計画の中で施設の整備に努めます。さ らに、利用者が快適に利用できる環境管理と博物館資料等の適切な保管管理を図るため、 空調設備改修を行います。

#### 4 人権擁護の推進

社会状況の変化とともに発生しているさまざまな差別意識を解消し、相互に基本的人権を尊重し、すべての人が自分らしい生き方のできる社会を実現するために、学校教育・社会教育における新たな人権教育の充実を図ります。

#### (1) 人権意識の高揚

- ・差別のない人権が尊重される社会の実現のため、人権の理念を普及し、その理解を深めるための研修を行います。
- ・人権問題に対する市民の理解を深め、人権に対する意識を高めるため、啓発活動を推進します。

# 社会教育事業

# 〇 生涯学習課事業

事 業 名	概
社会教育委員会議	広く民意を反映した社会教育行政の推進を図るため、教育委員会から 社会教育推進施策等を諮問し、答申や意見を求める。
人権教育研修会	差別のない人権が尊重される社会を実現するために、人権問題への理解を深め、社会人権教育の一層の推進と充実を図る。
社会教育関係職員研 修会	社会教育関係職員に対して、生涯学習・社会教育施策の理解を図るとともに、職務等に応じた研修を実施し、職員としての専門的な知識、技能、資質の向上を図る。
家庭教育推進協議会	関係部局や機関・団体等との連携により、家庭教育(子育て)支援の 推進及び家庭の教育力の向上を図る。
家庭教育支援事業	困難を抱えた子どもを持つ保護者のための家庭教育支援事業を実施 し、子育てについての学習機会の拡充を図る。
家庭教育学級交流集会	家庭教育学級生・担当職員相互の交流を深めながら、学級をより充実 したものにするための運営方法等を実践的に学ぶことを目的として実 施する。
家庭教育学級研究集会	各学級での取り組みの成果と課題を踏まえた事例発表を行い、学習内容や運営方法等について研究・協議するとともに、家庭教育学級の意義やあり方について考える。
生涯学習推進協議会	総合的な生涯学習の推進にあたり、広く市民の意見や要望を取り入れ、 生涯学習の推進施策に資する。
生涯学習フェスティ バル	講演会等をはじめ、市民の生涯学習活動の成果発表などを中心とした フェスティバルを開催し、生涯学習の啓発と一層の拡充を図る。
市民公開講座	高等教育機関のスタッフによる高度な学習機会を提供し、市民の多様 な学習要求に応えるとともに生涯学習の振興を図る。
生涯学習バス「まなび」	生涯学習の「動く教室」としてバスを運行し、公民館事業等をはじめ、 市民の生涯学習活動における体験的学習の機会拡充を図る。
保育ボランティア入 門講座	幼児を持つ親の学習機会を確保し子育て世代を支援するために、保育 ボランティアの養成を行うとともに、ボランティア活動の拡充を図る。
きさらづ出前講座	市職員等が市民の学習会、集会、会合に出向き、市の施策や取り組み、 身近な生活に役立つ情報などについて説明し、市民と対話することで、 市政へ関心と理解を深めることを目的として実施する。
視聴覚ライブラリー 事業	視聴覚機材及び教材を管理し、教育機関・学校等への貸し出しを行う ことで、視聴覚教育の充実を図る。
少年自然の家キャン プ場利用促進事業	キャンプ場をより広く周知するとともに、ボランティア団体等との連携によりキャンプ場の利用促進と活性化を図る。

野外体験活動促進事業	子どもたちの体験活動を促進するためのモデルとなるような事業や、 事業を計画するための参考となるようなプログラム等の資料作成事業 を創意工夫して展開する。
青少年問題協議会	青少年の指導育成、保護、矯正に関する総合的施策や自立支援方策等 について必要な事項を調査・審議するとともに、関係機関との連絡調 整を図る。
アフタースクールボ ランティア養成事業	子どもたちが放課後や週末に自由に集い、遊び、学べる場をつくり、 活動を手助けするためのボランティアを養成、組織化し、子どもたち の地域での活動を支援する。
生き生き体験キャンプ事業	中学生及び小学6年生を対象に、ふるさとの自然環境を生かした自然体験活動の中で子どもたちの豊かな感性を養い「生きる力」を育むとともに、地域のリーダーを養成する。
生き生き子ども地域活動促進事業	学校・家庭・地域社会の連携の下で、子どもたちの体験活動機会を意図的に作り出し、児童・生徒が積極的に地域活動に参加するような事業の展開を図る。
成人式	成人としての自覚を持ち、「自らが作る成人式」という意識を高めるため、実行委員会方式による企画・運営を行う。
放課後子ども教室推 進事業	家庭、地域、学校・行政が連携し、子どもたちが放課後に安全で安心 して過ごせる居場所づくりを推進する。市内6小学校区に設置。
子ども会新インリー ダー・新役員講習会	子ども会の運営上必要な仕事を明らかにし、リーダーの具体的な役割 を理解させる。
ユースボランティア 登録制度	地域での小中学生の活動支援、及び青少年の奉仕活動・体験活動の機会を提供するため、高校生・大学生等のボランティアを登録する。

# 〇 文化課事業

事 業 名	概	要
芸術文化振興事業	市内小中学校で音楽鑑賞教室を行い、芸術的市所蔵の美術品を市民一般へ展示・公開に使	
芸術文化に親しむま ちづくり振興事業	市民を対象としてプロの芸術家等を招いた 開催して芸術文化の振興を図る。	ニコンサートや美術展鑑賞会を
芸術文化活動補助金 事業	「木更津市文化協会」等の社会教育団体が行い対し、補助金を交付し芸術文化活動の支持	
市民会館市外利用等補助金事業	市民会館大ホールの利用を停止しているこの助することによって、市民の文化・芸術活動	
上総木更津金鈴塚古 墳出土品国宝化推進 事業	金鈴塚古墳を紹介するパンフレットを作成た、一般を対象とした公開講座を開催して 魅力を紹介し、ふるさと木更津への愛着心の	上総木更津金鈴塚古墳出土品の
文化財保護審議会	木更津市文化財保護条例の規定に基づき設けの保存・活用に関して意見を具申し、必要に行政の円滑な推進と文化財の保存・活用に	な調査を実施して、本市文化財
文化財保護事業	文化財全般の保護と活用を図るため、「金鉾等の市内に所在する、指定文化財及びその作 属製品・木製品などを対象とした文化財保	他の文化財の管理、出土した金
文化財保護事業補助 金事業	「県指定無形文化財木更津ばやし保存会」 振興事業に要する経費に対し、補助金を交付 存の支援を図る。	
市内遺跡発掘調査事業	市内の中小規模開発や個人住宅建設等に対して開発事業と埋蔵文化財保護との調整を 業に伴い発掘調査を行った請西遺跡群等に 書の刊行を行い、文化財の保護活用を図る。	図るとともに、土地区画整理事 こついて整理作業及び調査報告
市内遺跡発掘調査(民間)事業	市内の民間開発事業に対応した確認調査と 果をまとめた報告書を刊行して、民間開発 を図る。	
木更津市史編集委員会	附属機関設置条例の規定に基づき設置され、 ん・刊行に関し、市史編集計画の審議と調理を市長に答申又は建議することにより、 寄与する。	査を行い、事業遂行に必要な事
木更津市史編さん事業	市史基本構想及び基本方針や刊行計画に基 史・資料の調査、研究を実施する。「通史終 資料編)」「自然編(総論・資料編)」の編さ 取り組む。調査・研究成果を市民に提供す 更津市史研究」などを刊行する。	扁」「史料編」「民俗編(総論・ さんに向けて各部会が分担して

# 公 民 館

# 〇 中央公民館

事業名	実施 回数	事 業 概 要
中央KIDSクラブR1 (サタデースクール事業)	12	様々な物作りや軽スポーツ. 宿泊などの体験を通して、地域の大人や公民館サークルとの交流 を図るとともに、異学年同士による仲間作りをする。
春休みプログラミング教室 (サタデースクール事業)	3	2年生から5年生までの小学生を対象に、来年度から必修となるプログラミングを体験しながら、異学年交流を図る。
わがまちたんけんぽんぽこラリー (住民会議主催)	1	地域内の諸団体の協力の下、地域内の史跡等を巡るスタンプラリーを行い、地域ぐるみで青 少年健全育成を進める一助とする。
ポランの広場	8	ハンディキャップのある人に対し、様々な体験活動や学習機会を提供することにより、仲間 との交流や余暇充実の一助とする。
中央よみきかせ会 (家庭教育支援事業)	10	図書館司書による詠み聞かせにより、乳幼児やその保護者の情操を培うとともに、簡単なおもちゃを作り遊ぶことによって、同世代の子どもを持つ親同士の交流・仲間づくりの一助とする。
おしゃべりたぬき学級 (家庭教育)	10	小中学生期の子育てや家庭教育のあり方について考えるとともに、子育てを通じて地域の母 親の交流と仲間づくりをすすめる。
中央コミュニティカフェ (地域課題)	10	高齢者の健康寿命の延伸のため、地域で気軽に立ち寄り話が出来る「コミュニティカフェ」 の開催とボランティア運営会議を行う。
中央市民講座 (地域課題)	3	<ul><li>一中学区の成人を対象に、今後起こりうるさまざまな災害を想定して、地域での防災力を高めるために地域の現状と今後の課題を考える。</li></ul>
中央郷土史講座	9	木一中学校区を中心とした郷土の歴史、文化・伝統と、それに関連した歴史事項について学 習し、郷土愛を育む機会を提供する。
ふれあい学級 (高齢者学級)	9	高齢者を取り巻く課題についての学習や地域の方々との交流・仲間づくりを通して楽しく健康で生き甲斐のある人生を過ごすための一助とする。
初心者対象山歩き講座	3	高齢者を対象に、安全に楽しく山歩きをするための基本的な知識、常識、マナー、最近の便 利ツールについて学び、参加者の新たな趣味の発見や、健康寿命を延ばすことを目的とす る。
スマホ教室	6	近年の情報のデジタル化、また生活ツールとしての需要の増加に目をむけ高齢者を対象にスマホ教室を開催し、それらを活用し、より便利で過ごしやすい生活をできるよう促すことを目的とする。また、市アプリ (アクアコイン・らづナビ) についても紹介をし今後の活用を促す。
利用者救命救急講習会	1	公民館利用者を対象に、日常生活において、不測の事態に対応できるよう普通救命講習を実施する。
利用者懇談会	2	公民館の目的や役割、利用方法等について理解を深めるとともに、利用団体相互の交流・情報交換の場とする。併せてサークル連絡協議会の設立に向け、準備会の設立を目指す。
学社連携会議	1	公民館と小中学校が連携することにより、地域の青少年健全育成を推進する。
中央公民館だより発行事業 (公民館HP含む)	10	公民館事業を中心に生涯学習情報を提供するとともに、身近な地域の話題等を取り上げ、地域に対して広く情報を発信する。
図書貸出事業	通年	地域住民にとっての身近な"図書館"として、利用の促進及び読書活動の普及を図る。
中央生活学校(支援)	10	安全で豊かな暮らしを保つために必要な衣食住に関わる日常生活の問題について、生活改善 に向けた学習や情報発信を行う。
木更津第一中学区住民会議 (事務局)	6	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換やわがまちたんけんぽんぽこラリーの 開催を通じて、青少年の健全育成を推進する。
第43回中央公民館まつり (事務局)	1	公民館利用サークル等各種団体を中心に、活動成果の発表や様々なイベント等を通じて、利用者相互や地域との交流を広げ深める場とする。
避難所運営マニュアル作成委員会	12	地域の関係団体の代表者が集まり、木更津第一中学校区の避難所である小中高等学校の避難 所運営マニュアルを作成する。

#### 〇 木更津市立公民館(全体事業)

事 業 名	実施 同数	事 業 概 要
木更津市公民館実践交流集会 「防災と地域コミュニティを考える」		地域の災害対策や公民館の関わり、地域と公民館の役割など、その意義や認識を深め、地域 防災・コミュニティの充実と公民館活動の推進を図ることを目的に開催します。

#### 〇 富来田公民館

〇 富来田公民館	<i>t</i> →1 <i>t</i> →	T
事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
ワクワク子どもものづくり教室 <b>※</b> (サタデースクール事業)	1	お飾りづくりを体験しながら世代間の絆を深める。
ワクワク子ども陶芸教室 <b>※</b> (サタデースクール事業)	6	陶芸に関する基礎知識を習得し、玉つくり、板作り、ひも作りによる作品作りを行う。
ひと夏の親子思い出キャンプ (サタデースクール事業)	1	富来田・中郷・鎌足公民館の3館共催事業。親子で参加してもらい、木更津市の自然を通して「交流・体験」を実現させる。
花いっぱい運動 (生き生き子ども地域活動促進事業)	2	地元の小中学生と公民館利用者 (サークル等) の共同による公民館の花壇の植替え及び除草作業。
きしゃぽっぽ広場 (子育て支援事業)	22	紙芝居や絵本の読み聞かせ、手遊び、簡単工作などによる親子同士の交流。育児に関する情報交換や相談等。
いちご学級 (富来田家庭教育学級)	7	家庭教育や学校教育、地域を知るための学習や生活を豊かにするための体験等。
富来田ふるさと講座	7	学習成果を地域に還元、次世代に継承していくことを目的とした、主として地域の歴史、郷 土文化に関する学習。
サムデイハイク	2	身近な自然に触れる機会を提供し、相互の交流と健康増進を図る。
新・房総自然遺産紀行	2	房総内にある未来に残したい自然遺産(天然記念物)を広く知り深める環境学習。
富来田みどり学級 (高齢者学級) ※	9	健康・福祉・医療など、高齢社会の課題をテーマにした学習と学級生同士の交流を深めるための軽スポーツやものづくり。
活き生きクッキング講座	4	料理経験が浅い男性 (主に高齢者) の健康や栄養面を考えながら、1人でも簡単に作れる料理を楽しく学び、会食を通して交流を深める。
富来田市民講座 「終活について」	1	日常生活ではなかなか考えにくい"終活行動"の知識を学び元気なうちに事前に備え、繋げる機会とする。
季節を楽しむ お料理楽しみま専科	2	季節料理にちなんだ料理の創作を通し、地域の異年齢の交流を深める。
季節を楽しむ 素敵な寄せ植え楽しみま専科	3	植物の癒しを感じながら、地域内の幅広い世代の交流を推進する。
利用者懇談会	2	公民館活動と使用上の留意点などの説明と有料化の説明及び意見交流。
公民館だより発行事業	12	富来田公民館だよりの各地区全戸配布による公民館情報等の提供(富来田公民館だより)その他に、小中学校等へも配布。
図書貸出事業	通年	図書の貸出・整理、リクエストの受付、各種資料の提供。月1回の図書館職員による受付業務。
地域活動支援事業	通年	区長会、地区社会福祉協議会(敬老のつどい)、富来田ふれあいの会、フレンドスポーツ倶楽部、武田川コスモスロードの会、元旦マラソン大会実行委員会など、地域で活動する団体・組織の求めや必要に応じた助言・援助。
富来田地区青少年健全育成会議	4	地域ぐるみによる青少年健全育成のための取組。理事会、総会、全体会(研修会)、馬来 田・富岡地区花いっぱい運動の実施。
富来田地区まちづくり協議会	28	平成27年度に発足した富来田地区まちづくり協議会の事務局として、活動を支援。住民会議や第18回富来田納涼大会、第24回武田川コスモスフェスティバルの実施のほか、富来田・富岡両地区に防犯カメラを設置。
※富岡公民館と共催事業		!

※富岡公民館と共催事業

#### 〇 岩根公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
YOU 遊 イングリッシュ (サタデースクール事業)	4	小学3年から6年の子どもたちが、会話を通して英語に親しむとともに、異年代間の交流を図る。
子どもサイエンス教室 (サタデースクール事業)	2	身のまわりにあるものを利用した簡単な実験を通して、科学の楽しさを知る機会を提供する。

図書貸出事業	通年	市立図書館の協力支援のもとに、地区住民の読書活動の普及促進を図る。
岩根東地区まちづくり協議会 (事務局)	7	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決していく。今年度はいわねEAS Tふれあい祭り・防災対策事業・あいさつ運動・コミュニティカフェ事業を実施。
岩根公民館運営協力委員会 (事務局)	4	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得る。
いきいき子ども地域促進事業 (事務局)	1	青少年育成岩根東地区住民会議とともに、岩根中学校生徒全員による、夏の夜に20kmを歩く「ナイトウォーク」を実施し、地域の人たちと交流を図る。
青少年育成岩根東地区住民会議 (事務局)	5	青少年健全育成に関わる団体相互の連絡調整を図るため定期的に会議を開催し、地区内の青 少年健全育成の機運を高める。中学生を対象に「地域の先輩に学ぶ」を開催。
第62回岩根東地区文化祭 (共催:同実行委員会)	1	実行委員会や各種部会活動を通し、日頃の公民館活動の成果を発表するとともに、地域文化の振興と地域住民の交流を図る。
サークル連絡協議会研修会 (共催:岩根公民館サークル連絡協議会)	1	公民館を利用するサークルで組織された連絡協議会の研修を、公民館と協働事業として実 施。
公民館報発行事業	12	地域の生涯学習、公民館活動、地域情報を発信し、地域内の社会教育及び公民館活動の振興 を図る。毎月1回の定期発行、全戸配布を行う。
利用者継談会	2	公民館活動への理解を深めるとともに、利用者相互の交流を図り、もって公民館活動の推進を図る。
岩根ほがらか高齢者教室	9	高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを図るとともに、現代社会の理解を促進し、自分自身 が為すべき事柄を考える。
岩根陶芸教室	4	陶芸の基礎を学ぶとともに、地域内の住民同士で交流を行い親睦を深める。
岩根郷土史講座	9	郷土の歴史を学び、ふるさとの再発見を通して、郷土を愛する心を育てる。
岩根健康学習会	9	健康と病気予防の大切さを学び元気に過ごす知恵を体得する。話し合い学習を通して、健康を支え合う仲間づくりを進める。
岩根パソコン教室	6	パソコン入門者を対象に、パソコンの基本的な使い方を学び、実生活に役立つ技術を習得することで、趣味を広げ生活を豊かにする為の一助とする。
いわねうたごえ喫茶	10	淹れたての珈琲を飲みながら歌を歌うことで、地域住民の交流を図る。
「詩書絵」体験教室	2	実用書道の練習を行う中で、「詩書絵」を書いて楽しむ。
五感で感じる絵本講座	4	絵本の世界を五感をとおして体験することで、子どもの豊かな情操をはぐくむ一助とする。
岩根公民館ハイキング事業	1	岩根東地区住民の健康増進と、住民同士の交流を図る。
岩根すぎな家庭教育学級	11	高校生以上の思春期の子どもを持つ親を対象に、子どもとの関わり方を学びながら、子育てを支えあう仲間づくりを目指す。
岩根つくし家庭教育学級	9	小中学生を子どもに持つ親を対象に、家庭教育の役割等、子どもの心と身体について学習 し、子育てを支えあう仲間づくりの機会とする。
子どもなんでも体験教室 (サタデースクール事業)	5	多様な体験(凧づくり・工芸・料理)を通して、物ごとへの関心を高める。

#### 〇 鎌足公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
子ども体験事業 (サタデースクール事業)	10	夏・冬休みを利用して、親子の交流と地域文化の継承を目的に実施する。
どんぐり山の親子くらぶ	19	親としての心構えや子供への接し方、しつけ等子育てに関する幅広い知識や知恵を学びながら、母親同士の交流、情報交換を図る。
P T Aサマーキャンプ (共催)	1	地域・家庭・学校が協力し、子どもの自主性を育むキャンプを実施する。
鎌足むかし発見講座	20	地区住民が中心となって地区内の歴史・民俗資料を発掘・記録し、調査する。

	持続可能な社会を作っていくために、現状の環境を一から学ぶ。 原材料を栽培し、千葉県唯一のほうき職人から、途絶えつつある伝統技術を学び、地域の活
	性化につなげる。
	健康を維持するための様々な視点を学ぶ。
	木更津市内外の里山を歩き、歴史・自然に親しみ、健康増進を図る。
	鎌足内外の方に、鎌足地区の歴史を紹介し、郷土愛を深める。
	健康増進や趣味の充実の為に学び生きがいづくりに資するとともに、地域の高齢者・多世代の 交流の機会とする。
	優れた建造物や美術品などに触れることにより、鎌足地域の文化醸成・発信の一助とする。
	地元に繁茂している竹を使った工芸品を作る機会を設けることにより、在来の生活用具作成 の楽しさを体験し、地域環境と資源化を考える。
	竹細工製作の楽しさを体験後、本格的に始めるための第1のステップ「竹ひごづくり」を学ぶ。
	地元の食材を使用して、誰でも作ることのできる精進料理を学ぶ機会を提供する。
	鎌足地域で凧づくり・凧揚げ大会を通じて、世代を超えた地域住民の交流の場とする。
	公民館活動への理解を深めると共に、助言・協力を得る。
	地域諸団体・サークル等の発表・交流を通し豊かな地域づくりの一助とする。
	公民館と地域住民を結び公民館活動への理解を深め、生涯学習機会の情報を提供する。
:	地域住民の読書活動の推進を図る。
	地域ぐるみで青少年の健全育成・地域の子育て環境の醸成に寄与する。
i.	地域における諸課題に対し、地域住民及び各団体が連携を取り解決していく。

## 〇 中郷公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
みのり学級(高齢者教室)	3	健康増進や趣味の充実の為に学び生きがいづくりに資するとともに、地域の交流の機会とする。
中郷思春期家庭教育学級 (中郷けやき思春期学級)	5	思春期の子どもを持つ親を対象として、家庭教育のあり方を学習し、子育てを通して子ども の理解や親のあり方について考える。
中郷幼児家庭教育学級 (中郷どれみふぁキッズ)	4	乳幼児期の子育てに関する学習や親子活動を通して、同じ世代の子どもを持つ親同士の交 流・仲間づくりに寄与する。
中郷親おやcafé	3	子どもの自己肯定感を高めるべく家庭教育のあり方を学習し、こどもの気持ちに寄り添う言葉かけについて学びあう。
コーヒー講座	4	コミュニティの希薄化、世代間交流の減少等の地域課題に対処するべく、気軽に集まること ができる機会創設の準備として開催、人材育成に寄与する。
スマホ講座	1	近年の情報のデジタル化、また生活ツールとしての需要の増加に目をむけ高齢者を対象にスマホ教室を開催し、それらを活用し、より便利で過ごしやすい生活をできるよう促すことを目的とする。また、市アプリ(アクアコイン・らづナビ)についても紹介をし今後の活用を促す。
中郷ウォーキング教室	5	住民の健康増進に寄与するとともに、生涯スポーツの普及・推進を図る。

中郷梨っ子くらぶ	12	学校を会場に、地域のこどもの居場所作りに寄与すべく様々な体験学習を行う。
2019青少年交流体験スクール	1	富来田、富岡、鎌足との合同事業。小規模校同士の親子の交流を図り、木更津市キャンプ場 を会場に自然を活用した様々な体験活動を行う。
中郷こども教室	2	物作り等さまざまな体験を通して、地域の大人や公民館サークルとの交流を図るとともに、 異学年同士による仲間作りをする。
利用者懇談会	1	公民館の目的や役割、利用方法等について理解を深めるとともに、利用団体相互の交流・情報交換の場とする。併せてサークル連絡協議会の設立に向け、準備会の設立を目指す。
公民館だより発行	12	公民館事業を中心に生涯学習情報を提供するとともに、身近な地域の話題等を取り上げ、地域に対して広く情報を発信する。
中郷地区文化祭 (文化祭実行委員会・公民館共催)	1	公民館利用サークル等各種団体を中心に、活動成果の発表や様々なイベント等を通じて、利 用者相互や地域との交流を広げ深める場とする。
中G0!探検オリエンテーリング大会 主催:中郷青少年育成会議(事務局)	1	地域内の諸団体の協力の下、地域内の史跡等を巡るスタンプラリーを行い、地域ぐるみで青 少年健全育成を進める一助とする。
中郷ふれあい夏まつり 主催:中郷青少年育成会議(事務局)	1	中郷地区全体の住民がともにふれあい、楽しめるイベントを実施、地域住民の世代間交流を 推進する。
中郷公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	住民の声を公民館運営に反映し、公民館活動への理解と協力を得るための地域の諸団体やサークルの代表等による会議。
中郷地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域の身近な話題に、自主的かつ主体的に対処し、安全で安心な暮らせる魅力ある地域づく りの推進に寄与する。
中郷マルシェ運営委員会(事務局)	通年	中郷地区内だけでなく地区外との交流を積極的に図ることを目的に、すべての人が楽しみながら参加し、地域を盛り上げるイベントを運営する。
中郷地区振興対策協議会 (事務局)	通年	中郷地区の地域振興及び地域の活性化に寄与するため、地域諸団体等で構成されている組 織。
中郷青少年育成会議(事務局)	通年	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換や中GO!探検オリエンテーリング大会等の開催を通じて、青少年の健全育成を推進する。
中郷地区小櫃川さくら祭り実行委員会 (事務局)	通年	中郷の地域振興のために開催している、春の風物詩ともなっている中郷地区さくらまつりを 支えていくための地域諸団体等で構成された組織。今年度は企画から見直し、運営形態の変 更に取り組む。
ロビー展示事業	通年	定期利用サークルの活動の様子を展示し、情報交換と相互理解を図る場とする。
図書の貸し出し	通年	図書の利用促進。

#### 〇 富岡公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
ワクワク子どもものづくり教室※ (サタデースクール事業)	1	お飾りづくりを体験しながら世代間の絆を深める。
ワクワク子ども陶芸教室※ (サタデースクール事業)	6	陶芸に関する基礎知識を習得し、玉つくり、板作り、ひも作りによる作品作りを行う。
生き生き子ども地域活動促進事業	1	地域ぐるみで青少年健全育成に関する事業を展開し、もって地域住民の親睦及び連携を深める。
陶芸教室	8	陶芸の知識や技術の習得並びに作陶を通し、地域文化の向上を図るとともに、参加者の親睦 を図る。
富来田みどり学級※ (高齢者学級)		健康・福祉・医療など、高齢社会の課題をテーマにした学習と学級生同士の交流を深めるための軽スポーツやものづくり。
公民館利用者合同移動研修会	1	地区外での研修活動を通して、地域文化を再認識するとともに、地域の持つ諸課題について、その解決の手段と方法を皆で考える。
利用団体代表者会議	1	公民館の利用方法やマナーに対する共通認識を再確認し、より円滑な公民館利用と利用者相 互の連携を図る。
富岡公民館運営協力委員会	1	公民館活動への理解と助言及び協力を得ながら、公民館事業の発展を図る。

公民館だより発行事業	1	文化祭のイベント及び展示等の内容周知に特化して発行。
------------	---	----------------------------

※富来田公民館と共催事業

#### 〇 文京公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
サタデーきっずチャレンジ (サタデースクール事業)	7	創作活動や体験学習を通して、子どもたちに技術の向上やものづくりの楽しさを伝える。
文京公民館チャイルドボランティア (サタデースクール事業)	2	子どもたちにもできるボランティア活動を通して、安心、安全なまちについて考えるととも に、人とのつながり、絆の大切さを学ぶ機会とする。
にこにこルーム (乳幼児家庭教育学級)	16	乳児を持つ保護者を対象に、親子遊びや保育士の話を聞く等の活動を通し、参加者同士の交流を図るとともに、子育て支援や仲間作りを促進する。
子育て広場カモミール (家庭教育学級)	9	木更津第二小学校・請西小学校通学の児童を持つ保護者を対象に、家庭教育の役割について 学び、親同士の交流を図りながら、子育てに関する諸問題をともに考える。
親子ちゃれんじ教室	3	親子で体験を通してものづくりの楽しさを知り、交流の機会とする。
第17回木二中学区通学合宿 (生き生き子ども)	1	住民会議・桜井公民館との共催により「通学合宿」を実施。子どもの協調性、自主性を育み、あわせて世代間の交流、地域の教育力の向上を図る。
文京ふれあい学級 (高齢者教室)	10	65歳以上の高齢者を対象に、心と身体の健康のため、講義や実技を通して、生きがいづくり、仲間づくりの機会とする。
『与三郎恋物語』鑑賞会	1	『与三郎恋物語』を鑑賞することにより、木更津に伝わる「切られ与三郎」の話を知り、地域資源を見つめなおす機会とする。
スマートフォン入門講座	1	主に高齢者を対象にスマートフォンの基本的な使い方について講習を行い、木更津市が 推進する「アクアコイン」や「らづナビ」について周知活用を促す。
地域づくり講座「未来思考船」	5	地域やふるさとづくりについて話し合う場「座談会」を提供し、わたしたちにできること、 行うべきことを考える。
健康増進講座	2	健康増進のため、保健師から生活習慣病予防について学び、施設生き生き館を利用し、インボディチェック結果を参考に必要な運動を考え、運動習慣を付けるための契機とする。
防災学習講座	2	地域住民の防災意識の高揚を図り、あわせて地域住民相互の交流を図る。
第18回文京公民館まつり(事務局)	1	公民館を利用するサークル・団体・地域住民が一堂に集い、日頃の学習成果等を発表し、地域文化の交流を図る。
木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議(事務局)	5	地域内の青少年健全育成を促進する。第17回木更津第二中学校区通学合宿・ごみ拾い活動 等の生き生き子ども地域活動促進事業の実施のほか、青少年懇談会を実施し、地区内の情報 交換と交流を深める。
木二中学区学社連携会議	1	学区内の小中学校と公民館との連携を深める為、会議を実施し、共通理解を図り、行事等の 調整を行う。
利用者懇談会	1	公民館の利用方法を確認し、公民館利用サークル相互の交流を図る。
公民館だより発行事業	6	公民館事業の案内、地域情報の発信。

# 〇 八幡台公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
八幡台かえで学級	9	社会の変化や健康等についての学習を通して、高齢者の生きがいの増進と健康の維持、仲間づくり、地域づくりを図る。
めばえ家庭教育学級		親子遊び、母親同士の交流を通して、仲間づくりを行うとともに、育児に関する知識を学ぶことにより、より良い子育ての手助けを行う。年間計画10回のところ、9月については、台風15号により中止。
ひばりキッズ		親子遊び、母親同士の交流のほか、家庭だけではできないことややってみたいことを参加者が主体となり行うとともに、育児に関する知識を学ぶことにより、より良い子育ての手助けを行う。

ひばり家庭教育学級	9	主に小学生期の児童を持つ親を対象として、家庭教育のあり方を学習し、子育てを通して子どもの理解や親のあり方について考える。年間計画11回のところ、9月については、台風15号により中止。
思春期家庭教育学級 (波岡公民館共催事業)	9	思春期の子どもを持つ親を対象として、家庭教育のあり方を学習し、子育てを通して子ども の理解や親のあり方について考える。
八幡台郷土史講座	9	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土への理解と愛着を深め、郷土愛を育てる。
波岡・八幡台歴史探訪ハイキング	1	波岡地区に墜落したB29の乗組員を地元住民が慰霊した場所を訪問し、地域の歴史を学ぶ。
ワンデイハイキング	2	身近な自然にふれる機会を提供し、環境保全の意識を高めるとともに、健康の増進と地域住 民の交流・親睦を図る。
いつまでも元気! 健康講座	5	現代的課題の一つである「健康」について、糖尿病を観点に取り上げ、学習し、市民の健康 増進を図る。また、自主的な学習会を5回行っている。
大人の教養講座 〜仮名書道の世界を体験しよう・初歩 から〜	5	今まで公民館が取り組んでこなかったテーマとして「仮名書道」に取り組むとともに、今後 のサークル活動につなげる。
お飾りづくり教室 (サタデースクール事業)	1	地元上鳥田に伝わる正月のおかざりづくりを通じて、地域の伝統文化を理解するとともに世 代間の交流を図る場とする。
八幡台サタデースクール夏休み 体験事業(サタデースクール事業)	7	夏休みを利用して、子どもの体験機会の拡充を図るとともに、青少年の健全な育成に資する。また、地域で活動する団体等を講師にすることにより、異世代交流を図る。
親子ハゼ釣り教室 (サタデースクール事業)	1	地元の自然資源である木更津港を活用して、子どもの体験機会の拡充を図るとともに、地域の大人と子どもたちとの交流を図る。
きっずシアター (サタデースクール事業)	1	夏休みを利用して映画会を開催し、子どもの豊かな情操を培い、青少年の健全育成に資する。
遊び塾なみ・はち (サタデースクール事業)	5	波岡小学校の児童と一緒に、自然体験や制作体験を地元講師に教わりながら行うことにより、異学校交流、異学校交流、異年齢交流を図る。年間計画では別に校外に出ての自然体験も行う予定だったが、台風15号により中止。
親子で防災教室!(共催事業)	3	小学生とその保護者世帯が多い地域であることに着目し、地域と協力し合いながら防災について考える。
ひばりカフェ (共催事業)	7	地域や市の情報交換の場や、新しい仲間づくりの場として、コミュニティカフェを実施する。
第18回四季の杜音楽祭(共催事業)	1	公民館利用サークルが、活動の成果を発表することにより、地域の文化と教育力の向上を図る。
第38回上鳥田・八幡台・羽鳥野 地区文化祭(共催事業)	1	地域の団体と公民館利用サークルが、活動の成果を発表することにより、地域の文化と教育力の向上を図る。
波岡中学校区青少年育成連絡会議	5	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進する。
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とする。
図書貸出事業	随時	図書のリクエストや貸し出し業務を行い、読書活動の普及と推進を行う。
八幡台公民館だより発行	9	公民館活動を広く周知するとともに、地域の情報紙として機能するよう活用を図る。
生き生き子ども地域活動促進事業 (共催事業)	2	地域の子どもたちの体験機会の拡充と地域の交流を深める。
波岡地区学校・公民館連絡会	1	波岡中学校区の児童、生徒にかかわる情報の交換を行う。
サークル支援事業	随時	主に館を利用する団体・サークルが円滑な運営をするために、活動の調整等で支援する。
八幡台小ひばりチャレンジ広場 (協力事業)	随時	八幡台小児童の放課後の居場所づくり事業として保護者や地域が主体となる運営委員会により実施し、その活動を支援していく。
八幡台小学校区まちづくり協議会	6	地域の身近な課題に、自主的かつ主体的に対処し、安全で安心することができる豊かで住み よい魅力ある地域づくりの推進に寄与する。
l	1	· ·

## 〇 東清公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
夏休み子どもワクワク教室 (サタデースクール事業)	8	夏休み前後に、創作活動やさまざまな体験的な学習を実施し、異年齢や地区内他校の子ども との交流を図り、豊かな情操を育む一助とする。(ポスター教室、子ども映画会、クッキン グ教室、将棋教室、クラフト教室)
冬休み子どもワクワク教室 (サタデースクール事業)	2	冬休みに、創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢や地区内他校の子どもとの交流を図り、豊かな情操を育む一助とする。(書き初め教室・お飾りづくり教室)
子どもワクワククッキング教室 (サタデースクール事業)	1	食育についての体験的な学習を実施し、異年齢や地区内他校の子どもとの交流を図り、豊かな情操を育む一助とする。 (クッキング教室)
小中学生のママ講座	9	小中学生の母親を対象に、家庭教育についての諸問題やよりよい子育てについて学ぶととも に、様々な体験や学習を通じて地域の母親同士の交流を深める。
子育て学級 (幼児家庭教育学級)	3	新興住宅地であるほたる野周辺に住む母親のネットワークづくりを目的に、親子が歩いて来られるように伊豆島公園内にあるほたる野町内会集会場を会場に、地元の主任児童委員やボランティアの方と一緒に新規事業として開催している。
ふるさと歴史講座	9	東清川地区および、広くふるさと千葉の歴史を学ぶことにより、郷土愛を深め、新旧住民相 互の交流の機会とする。
パッククッキング教室	1	災害に備えた食生活について、パッククッキングの実習を交えて学ぶ。
とうせいシニアカフェ	1	高齢者の身近なたまり場づくり。簡単でヘルシーでおいしいメニューをみんなで作って楽し く食べる。
シニアのための健康講座	3	いつまでも健康で活き活き暮らせるように「生涯自分の足で歩く!」をテーマにシニアの方 のために健康体操を中心とした講座。
スマホ入門講座	1	地域の高齢者を対象に、スマートフォンの基本的な使い方やアプリのインストールの仕方か らアクアコイン・らづナビの使い方まで教える講座。
ワンデイハイク	2	地域住民の健康増進及び自然・環境への理解を深めるとともに、住民同士の交流を図る。
東清さわやか学級 (高齢者学級)	9	高齢者の生きがいづくりと健康づくりを促進するとともに、地域の高齢者相互の仲間づくり の機会とする。
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とする。
公民館だより「かけはし」発行	12	地域の情報や公民館活動・生活情報などを幅広く住民に発信し、住民と公民館との「かけは し」となることを目指す。
図書貸出事業	通年	市立図書館と連携し、地域における読書活動の普及を図る。
第38回東清川地区文化祭	1	地域文化活動の発表の機会として、また地域住民のふれあい・交流の場として、展示・芸能発表・各種イベント・模擬店等を開催する。
清川中学区青少年育成住民会議 (事務局)	14	地域ぐるみで青少年の健全育成を推進するため会員相互の連絡調整を図る。「生き生き子ども地域活動促進事業」および、「教育フォーラム」、「全体会議」、「こどもチャレンジ大会」、「花いっぱい運動」を実施。
東清公民館運営協力委員会 (事務局)	3	住民主体の公民館活動を進めるための、市政協力員やサークル代表者からなる組織で、文化 祭実行委員会の母体となる。会議を通じて公民館活動への理解を促進する。

#### 〇 清見台公民館

<u> </u>		
事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
キッズわくわくチャレンジ教室	6	子どもたちや親子によるお飾り作りやクッキング、絵手紙、フラワーソープ、凧作りの体 験。
このゆびとまれ	20	乳幼児を持つ保護者や子ども同士の遊びと交流。
たんぽぽ家庭教育学級	9	子育て・家庭教育に関する学習、情報交換や体験活動。母親同士の仲間作り。
ふるさと講座	7	木更津と万葉集・日本書紀の関係や源氏・平氏との繋がりについての学習。清見台地区文化 祭で学習成果を発表。

脱!冷え性講座	4	冷え性と健康づくりについての学習。
清見台・太田地区防災連絡協議会 (事務局)	22	清見台小学校・太田中学校避難所運営マニュアルの作成、清見台公民館避難所開設訓練、台 風被害状況調査、防災連絡会議の実施。
地区防災講座	4	大災害に備えた日頃から実践すべき事項等に関する学習。
くらしのサポート講座	7	高齢社会と認知症をテーマに、具体的な知識や接し方、予防法についての学習と笑顔カフェ 1日体験。講座終了後にコミュニティカフェを試験的に開催。
はつらつ学級	8	健康体操や薬草の学習、移動研修、調理実習。公開による寄席。スマイルフェスタ2019 への参加、清見台小学校1年生対象の昔遊び体験。
第26回清見台音楽祭(事務局)	1	清見台公民館を利用している音楽団体による練習成果の発表と交流。
第19回通学合宿 「公民館から学校へ通おうよ!」	1	公民館で共同生活を行いながら学校へ通う3泊4日の宿泊体験。防災グッズ作りや非常食体験作り、東日本大震災体験談等防災について学習。
スマイルフェスタ 2 0 1 9	1	太田中生徒とサークル等地域の大人が企画する子ども・親子の交流イベント。お楽しみ映画、ふれあいタイム、科学マジックショー等。
清見台地区第24回房総かるた大会	1	子ども会主体による房総子どもかるた大会。地域の子どもたちに加え、中学生ボランティア や高齢者も参加。
第36回清見台地区文化祭(事務局)	1	公民館及び体育館で活動するサークル・団体や地域で活動する個人の発表・交流・各種イベント。北部地域包括支援センターによる出張相談を兼ねた1日カフェを実施。
第3回清川地区なわとび大会	1	清川地区(6小学校区)の青少年相談員が連携して取り組むなわとび大会。
公民館だより発行事業	10	広報誌「ハイ公民館です」を年10回発行。町内会を通じて配布・回覧。
図書ロビーミニギャラリー展	通年	清見台公民館を利用している団体の作品や活動等の紹介。
太田中学校区学社連携担当者会議(事務局)	3	太田中学校区内の小中学校・公民館による情報・意見交換、連絡・調整。
清見台公民館関係団体連絡協議会 兼利用者懇談会(事務局)	8	清見台公民館・附属体育館利用団体及び地域関係団体相互の連絡・連携。利用者懇談会 (3回)。公民館周辺の美化活動 (4回)。
青少年育成太田中学区住民会議 (事務局)	5	地域の青少年に関係する諸団体相互の連絡・調整と地域の環境浄化活動。生き生き子ども地域活動による青少年の健全育成。
図書貸与事業	通年	本の貸し出しや閲覧による読書活動の推進。

## 〇 畑沢公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
はたざわこども公民館 (サタデースクール事業)		畑沢公民館のサークルや地域団体の協力を仰ぎ、子どもたちが体験活動を通して、地域の大人と交流や未来を育む糧を考える機会をつくることを目的に実施。令和元年度はこども体験教室(全3回)・チャイルドボランティア活動(全4回)・こども卓球クラブ(全6回)を実施。
夏休み子ども映画会 (サタデースクール事業)	2	映画鑑賞を通じて、子どもたちに芸術に親しむ場を与える。
ぴよぴよ子育てフリースペース	10	幼児を抱える親のための家庭教育学級。情報交換、様々な体験、学習を通してのネットワー クづくりの機会とする。
そよかぜ家庭教育学級	10	小中学生の子どもを持つ母親同士のネットワークづくりと、子育て、家庭教育に関する学 習。
おやじ専科	11	地域の男性同士のネットワークづくりと生活課題、地域課題等の学習。
地域ボランティア講座	9	地域課題を考える機会や住みよい地域を住民自らつくるための必要な活動について、さまざ まな視点から学ぶ講座。

チャイルドと交流隊	2	小中学生と地域を支える役員、ボランティア等の大人が、社会見学や体験、ホリエンテーリングなどの活動を行い、子ども達に楽しいふるさとの思い出づくりをするとともに、地域を支えるボランティア精神を感じさせる機会とする。
はたざわ歴史講座	11	郷土の歴史を学ぶとともに、地域住民の交流の機会とする。
野山歩きのつどい	3	野山歩きを通じて身近な自然に親しむと共に地域住民の交流を図る。
地域まるごと健康カレッジ	11	健康学習や実技・実習を通じて、受講生自身の健康増進に留まらず、将来的に地域ぐるみで健康長寿を促進するための方策を考える講座。
畑沢むつみ学級	11	高齢者を取り巻く様々な課題を学習するとともに、高齢者の生きがい・仲間づくり・健康づくりを図る。
利用者懇談会	2	定期利用サークルに向けて、公民館利用についての共通理解を図る。
公民館先行予約調整会議	1	自治会・地区社協・民児協を対象とした、公民館使用の先行予約の調整会議。一般のサークル活動に先立ち、公益性の高い自治会活動等の使用を優先的に予約し、自治会間の競合が発生した場合、話し合いで調整する。
第36回畑沢公民館地区文化祭	1	公民館の利用団体をはじめ地域の文化活動の発表と交流を通じて豊かな地域づくりの一助とする。
公民館だより発行事業	11	公民館事業や地域の情報を提供する。
生き生き子ども地域活動促進事業 (事務局)	会議6回行事1回	小中学生で組織する畑沢ハートフル王国実行委員会が子どもたちのイベントを企画・運営。令和元年度は、名前も「Heart Full王国」とし「クリーン作戦&ハタナミキッザニア」を実施。
畑沢中学校区青少年健全育成連絡 会議(事務局)		地域の青少年健全育成のための情報交換を行うと共に、生き生き子ども地域活動促進事業を 推進する。また「子どもたちのための地域フォーラム」を実施。
畑沢公民館運営協力委員会 (事務局)	2	公民館と地区住民とのパイプ役として公民館運営への助言や協力を得る。
図書貸出事業	通年	地域の子どもからお年寄りまでを対象に読書活動の普及を図る。

#### 〇 岩根西公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要
親子茶道教室	3	小中学生を対象に親子の参加者を募り、茶道を通じての情操教育、日本伝統文化への理解を 深め、礼儀作法を身に付けるとともに、協調性も養う。
いきいき子どもクッキング	3	料理体験を通じて、栄養・健康に対する知識や男女共同参画意識を高めるとともに青少年の 健全育成を図る。(全4回の予定だったが、台風の影響で1回中止となった。)
めばえ学級	14	親子あそびを中心に幼児と母親のふれあいの場を提供することで、子育て支援の一助とするとともに地域の母親の交流を図る。(全16回の予定だったが、台風の影響で2回中止となった。)
なのはな 家庭教育学級	11	小中学生期の子どもの子育てや家庭教育について学習するとともに、子育てを通じた地域の 母親の交流を図る。(保育) (全14回の予定だったが、台風の影響等で3回中止となっ た。)
健康講座	3	ウォーキングをテーマとし、講義・実技の両面から足腰の強化や、生活習慣病予防に取組む。 (コロナウィルス感染拡大防止のため、1回中止となった。)
コーヒーブレイク&ふまねっと運動講 座	5	来たる高齢化社会に向け、主に中高年の世代を対象に、足腰の鍛錬や認知機能の向上を目的として取り組むとともに、地域交流の場を目指す。(コロナウィルス感染拡大防止のため、1回中止となった。)
初心者のためのヨガ体験講座	4	来たる高齢化社会に向け、主に中高年の世代を対象に、足腰の鍛錬や認知機能の向上を目的として取り組むとともに、サークル化を目指し、地域交流の場とする。
レッツトライ!!太極拳入門講座	4	来たる高齢化社会に向け、主に中高年の世代を対象に、足腰の鍛錬や認知機能の向上を目的として取り組むとともに、サークル化を目指し、地域交流の場とする。
親子いけばな教室	11	日本の伝統文化芸術を若い世代に伝え、親子の交流を促進させる。
野山ハイキング&ウォーキング	2	初級レベルのコースを選択し、房総のハイキングを通じて身近な自然にふれる機会を提供するとともに、健康の増進と地域住民の交流を図る。(コロナウィルス感染拡大防止のため、 1回中止となった。)

ふれあい学級	8	健康増進や現代社会を理解するための学習を通して、生きがいづくりの一助とするとともに 社会参加の促進を図る。(台風の影響や、コロナウィルス感染拡大防止のため、1回中止と なった。)			
岩根西地区まちづくり協議会	通年	地域課題を取上げて課題解決について取り組みを推進していく。 (コロナウィルス感染拡大防止のため、『防災フォーラム』は延期となった。)			
利用者懇談会	2	公民館の目的や役割、利用方法等について理解を深める場とするとともに、利用団体相互の 交流・情報交換の場とする。			
岩根西地区文化祭	1	地域の諸団体や公民館利用サークルが連携して取り組むことで、地域のふれあいの場・文化 活動の発表と交流の場とする。			
公民館だよりの発行	12	主催事業やサークル活動等の生涯学習情報を提供するとともに、地域の話題や情報を取げることで地域づくりの一助とする。			
図書貸与事業	通年	より身近な"図書館"として地域住民の読書活動の普及促進を図る。			
岩根西公民館運営協力委員会	2	地区文化祭の実施に当たって中核的な活動を担うほか、公民館事業全般に対して助言・支援・協力する。			
青少年育成岩根西地区住民会議	2	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換や環境浄化活動等を通じて地域ぐるみで青少年の健全育成を推進する。 (悪天候のため1回中止した。)			
生き生き子ども地域活動促進活動	1	岩根西地区通学合宿を実施。地域住民と青少年の交流を促進し、地域の教育力を高める。 (悪天候のため1事業を中止した。)			
学社連携連絡会議	2	学区内の小学校、中学校との定期的な情報交換・連絡調整を通じて学校と公民館の連携をある。 (コロナウィルス感染拡大防止のため、1回中止となった。)			

#### 〇 西清川公民館

事業名	実施 回数	事 業 概 要						
にしきよサタデースクール キッズわくわく体験隊	9	地域の自然を活用した体験学習を行うことで、地域の大人と子どもの交流を図る。						
なんでも体験教室	4	有識者の方に協力をいただき、陶芸教室やダンスレッスンを行い子どもたちの体験学習の機 会とする。						
正月お飾り作り教室	1	地域の伝統文化の伝承。地域の高齢者の方から「お飾り」作りを学ぶ。						
子育ておしゃべりサロン (家庭教育学級)	8	小中学生期の子どもを持つ親を対象として、子どもたちの心身の発達や親子関係について学ぶとともに、親同士の交流を図る機会とする。						
西清川歴史学級	7	主に県内の歴史を学び、郷土の歴史への理解と知識を深め、地域住民どうしの交流を図る。						
男の料理教室~ヘルシー編~	6	料理の基礎を学び、地域の男性同士の交流を図る。						
おとなの学び舎遊歩道	8	中高年を対象に暮らしに根付いた身近な課題や興味を深め、地域での仲間づくりを図る。						
ワンデイハイキング	3	身近な自然に触れる機会を提供し、健康の増進と地域住民の交流・親睦を図るとともに、環境保全の意識を高める。						
サンデーコンサート~団塊世代に贈る	1	定期利用サークル (ハーモニカ塾・ブルース塾・ウエストピュアシングアウトクラブ・レッドサウンズ) の協力で音楽を楽しみながら、地域住民の交流を図る機会とする。						
健康講座 血圧減圧作戦!	5	血圧について学び、健康の増進、健康を維持する為の実技(ヨガや健康ストレッチ)を実践 し、地域住民相互の交流を図る。						
A E D講習会 (西清川まちづくり協議会 共催)	1	消防本部に赴き、AEDの使用方法など不測の事態への対応の仕方について学ぶ。						
西清川福寿学級 (高齢者教室)	9	高齢者を取り巻く課題等の学習をするとともに、参加者相互の交流を図り、生きがいづくり の一助とする。						
西清川公民館だより発行	11	公民館活動を広く周知するとともに、地域の情報を提供するべく月1回発行し地域に配布する。						
利用者懇談会	1	館を利用する団体・サークルが一堂に会し、公民館利用についての意見交換をし、館の今後の円滑な運営について協議を行う。						
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図る。						

第30回西清川地区文化祭 (事務局)	1	学習成果の発表と地域文化活動の発表と地域住民の交流を図る。
スクールアドベンチャーキャンプ 2019(生き生き子ども)	1	デイキャンプを通じて子どもたちの体験学習の拡充と地域の大人たちの連帯を図る。 (青少年育成会議と共催)
たこ作り教室 (生き生き子ども)	1	凧づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解 を深める。(青少年育成会議と共催)
昔遊びのつどい (生き生き子ども)	1	昔遊びを通して地域の子ども同士、大人と子どもの交流、郷土の民俗文化への理解を深める。(青少年育成会議と共催)
西清川地区学社連携会議 (事務局)	1	木更津第三中学校区の祇園小・西清小・木更津第三中・西清川公民館の4機関の職員による情報交換により、事業の円滑な運営を図る。
三中学区青少年育成会議 (事務局)	12	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進する。
西清川まちづくり協議会 (事務局)	通年	地区における身近な課題に自主的主体的に対処し、安全で安心な地域づくりを推進する。防 災に関する施設見学や学習会を開催し、防災に関する意識を高める。防犯パトロールの実 施・防犯交通安全のぼり旗・看板等の設置を実施。

# 〇 波岡公民館

〇 波岡公氏館									
事業名	実施 回数	事 業 概 要							
夏休みこども体験教室 (サタデースクール事業)	3	夏休みを利用して子どもたちの体験学習の機会の拡充を図る。							
三世代交流お飾り作り教室 (サタデースクール事業)	1	也域の伝統文化を理解し、世代間交流を促進する。							
遊び塾「なみはち」 (サタデースクール事業)	5	八幡台公民館との共催事業。野外活動を主とした子どもたちの「遊び」の中から「生きる 力」を育むことを目的とする。							
なみおか星空観察教室 (サタデースクール事業)	1	子供たちが天体に対し親しみを感じ、また知識を深めるとともに、地域交流の一環とすることを目的とする。							
波岡子育で学級	16	地区内の乳幼児親子の交流を図るとともに、育児に関する学習や情報交換の場として月2回 開催する。							
思春期家庭教育学級 (八幡台公民館共催事業)	9	思春期の子どもの発達や親子のかかわりを学ぶことで、家庭教育の充実を図る。八幡台公民 館との共催事業。							
波岡郷土史講座	6	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土の理解を深める。身近な歴史への興味関心をひく内容とする。							
大人のための英会話講座	6	英会話の習得を通して、コミュニケーション能力の向上を図る。							
波岡健康講座~糖尿病に負けないから だづくり~	6	糖尿病について、その仕組みや留意点などを学ぶ。							
波岡市民講座~防災力UP!講座	2	地域の防災について学習を深め、特に自助、共助の精神を涵養する。							
初心者のためのスマホ入門講座	2	高齢者を対象として、スマートフォンの使い方を学習し、木更津市が推進するらづナ ビ・アクアコインの周知を図る。							
親子でホタルウォーク	1	地域ボランティアの協力によりホタルの観察会を実施し、親子及び地域住民の交流を促進する。							
菜の花教室 (高齢者学級)	9	健康や趣味等の学習会を通して、高齢者の生きがいづくりや地域のコミュニティーづくりを 推進する。							
高齢者のための交通安全教室 (高齢者学級)	1	高齢者の交通安全に対する知識を高め、事故等の防止啓発をするため開催する。							
波岡公民館運営協力委員会 (事務局)	3	公民館と地区住民とのパイプ役として公民館運営への助言や協力を得る。							
サークル支援事業	随時	主に公民館を利用する団体・サークルが円滑な運営をする為に共催事業の実施等求めに応じて支援する。							
波岡地区学校公民館連絡会	1	波岡中学校区の児童・生徒にかかわる情報の交換。							

波岡中学区青少年育成連絡会議 (事務局)	5	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓蒙活動を行うことにより、青少年健全育成活 動を推進する。
生き生き子ども地域活動促進事業	1	子どもたちに体験や地域活動の場を提供し、青少年の健全育成を図る。
第27回波岡地区文化祭	1	地域の団体と公民館利用サークルが、活動の成果を発表することにより、地域の文化と教育力の向上を図る。
波岡公民館利用者懇談会	1	公民館の効果的利用の促進と相互の交流を図る。
波岡公民館だより発行	11	地域の情報や公民館活動等の情報を提供する。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図る。

## 〇 桜井公民館

事 業 名	実施 回数	事 業 概 要						
桜井PBR工房	1	子ども達の理科的な関心を高めるために、子どもたちが理科に遊びの要素を見いだせる内容 を取り上げる。						
桜井将棋倶楽部	5	地域における世代間交流を推進するために、幅広い層の住民にとって親しみやすい題材で交流できる機会を設ける。						
星空観察会	6	青少年を中心に広く地区住民にも募集をかけ、気軽に参加できるイベント型の事業として、 公民館事業参加へのきっかけ作りとして実施する。						
桜井寺子屋	5	夏季休業中の子どもの自習学習を推進するために公民館図書室を開放する。						
お飾り作り教室	1	青少年とその保護者を対象とした伝統文化の体験事業であり、地域の希望者を同時に参加させることで世代間交流の機会とする。						
ファミリーキッチン@桜井	1	子どもの食育と親子活動の推進のために親子料理体験として実施する。						
蕎麦打ち体験事業	1	桜井公民館活動サークルによる学習成果の地域還元を趣旨として、地域の青少年とその祖父 母世代の交流推進の場として実施する。						
篆刻体験教室	1	桜井公民館活動サークルによる学習成果の地域還元を趣旨として、地域住民を対象に実施する。						
日本伝統文化にふれよう! 茶道体験教室 (サタデースクール事業)	7	日本の伝統文化である「茶道」の体験学習を通じ、豊かな情操教育を育むとともに異年齢の 子ども同士の交流を図る。						
こどもまつり実行委員会	17	地域の子どもたちが自ら企画運営するイベントを開催。こどもまつり(文化祭と同時開催)と クリスマス会を実施。会議は15回実施。						
桜井親子家庭教育学級	10	2歳から就学前の子どもとその保護者を対象に、交流と情報交換を図りながら学び合う機 会。						
思春期家庭教育学級	8	思春期の子どもの子育てに関する様々な課題について学習するとともに、参加者相互の交流・情報交換を図る。						
真舟小学校家庭教育学級	9	真舟小学校児童の保護者を対象に、子育てに関する様々な課題について学習するとともに、 参加者相互の情報交換・交流を図る。						
気になる子どもを持つ親のための講座	1	発達障がいについての正しい知識を得ることで、その発達の困難さへどのような対応ができるかを学習し、参加者相互の情報交換・交流を図る。						
桜井公民館コミュニティカフェ	10	発達障がい(気になる) の子どもを持つ保護者や支援者の交流の場。						
桜井よもやま話 オリンピック特別編	1	地域出身の元オリンピック選手を招き、ふるさとに関する話などを交えながら自身がオリンピックに出場するまでを振り返って貰う。						
桜井防災講座	2	災害に対する課題意識を地域で共有し、近所との情報交換を気軽に行えるようになるための きっかけ作りの場として開催する。						
スマートフォン講座	1	初心者を対象としたスマートフォン講座を実施し、生活を便利にする一助とする。						

いきいき健康づくりハイキング	1	ハイキングを通じて健康づくりへの意識醸成を図る機会。主に県内の山を歩く。
さくらい健康ウォーキング倶楽部	4	効果的なウォーキングの方法を学ぶとともに桜井公民館を基点とするウォーキングコース マップづくりを実施。
人とつながりものづくり講座	7	「環境と健康な生活について考える」ことを目的に手仕事やリサイクルなど「ecoな暮らし方」を学ぶ。
桜井あしたば学級	8	中高年を取り巻く課題等の学習と生きがいづくりの機会。
第18回桜井地区文化祭	1	日頃のサークル・団体活動や地域活動の成果を発表するとともに、地域住民相互の交流を図 る。
桜井海苔祭り	1	青少年を軸とした事業として実施する。地域住民に親しみ深い題材を呼び水として世代間交流を図るとともに、地域の歴史を体験的に学習する。
第3回桜井公民館館長杯 グラウンドゴルフ大会	1	公民館と運動場利用団体および運動場利用団体間の相互交流の推進と、地域住民の健康促進 を趣旨として実施する。
二中学区学校・公民館連絡会	1	学校と公民館との連絡・連携を深め、地域の教育力の向上を図る。
木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議	4	関係機関・団体等と連携し、青少年健全育成を推進する。
通学合宿	1	住民会議との共催により「通学合宿」を実施。世代間の交流、地域の教育力の向上を図る。
チバミュージアムフェスタ2020 オリンピック展	1	千葉県立美術館・博物館による千葉県とオリンピックの関わりをまとめた巡回展示を行う。
公民館報「さくらい公民館だより」 発行	6	学習情報等の提供により公民館活動への理解と推進を図り、地域づくりを促進する。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の推進と普及を図る。
桜井公民館協力委員会	1	委員会の助言・協力を得、公民館の効果的な管理・運営を図る。
t-		•

# 少年自然の家キャンプ場

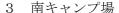
生活体験・自然体験の機会が乏しくなっている青少年が、豊かな自然の中で心身を鍛錬し、 生き生きとした野外活動を体験することによって、集団の中の規律・協働・友愛・奉仕の精神を身につけ、豊かな人間性を育むとともに、市民相互の交流を図る。

#### ○ 施設の概要

- 1 北キャンプ場
  - (1) キャビン 3 (各8人程度)
  - (2) 炊事場 1 (かまど 10 基・流し)
  - (3) 水洗トイレ 1 (男7・女4)

#### 2 西キャンプ場

- (1) テント 7 (各 10 人程度)
- (2) キャビン 3 (各8人程度)
- (3) 炊事場 1 (かまど10基・流し)
- (4) 水洗トイレ 1 (男 7・女 4)



- (1) テント持ち込み(100人程度)
- (2) 水道栓 1

#### 4 その他の施設

- (1) 屋根付き広場(広さ 138 m<sup>2</sup> テーブル・長いす 10 卓設置)
- (2) 自由広場(広さ 1,260 ㎡、キャンプファイヤー場等)
- (3) シャワー室 (男女別各3 温水シャワー)
- (4) 管理棟(事務室·倉庫)
- (5) 駐車場(普通自動車48台・大型バス2台)

#### ○ 利用状況(平成30年度)

	種 別	件 数	人 数			
	子ども会	3	2 2 4			
	青少年育成団体等	7	297			
-1-	青少年相談員	3	1 0 1			
市	学校	2	5 0			
内	ボーイ・ガールスカウト	1	1 7			
	各種団体等	6	2 7 5			
	行政・公民館	1 2	3 3 9			
	個 人	4 5	3 2 6			
	青少年育成団体等	0	0			
市	各種団体等	1	5 6			
外	行政・公民館	0	0			
	個 人	1 0	1 1 2			
	合 計	9 0	1,797			

<sup>※</sup> 延べ件数・延べ人数による集計(1人が2泊した場合には2人とカウントする)



# 図書館

#### 〇 施設の環境整備

図書館は現在の場所に新館が設置され46年目を迎えた。その間、施設の増築、駐車場の拡張、 書庫の電動化、空調設備工事を実施してきた。環境整備にあたり、利用者にとって適正な環境を維持できるよう努めている。

#### ○ 図書館サービス

生涯学習の拠点施設として、図書館資料の収集・保存・整備を行い、閲覧・貸出をはじめ、レファレンスサービス等により市民の図書館利用の増進を図っている。また、図書館ホームページの公開、インターネットを活用した図書の予約・延長サービスの実施、各種データベースの導入など、情報化社会に対応したサービスを行っている。

市内各地域の14公民館に週1回図書を配本し、図書館遠隔地の市民の読書環境の整備・充実に 努めるとともに、大活字本の収集やマルチメディアデイジー図書の活用により、読書の格差解消に 努めている。

#### 〇 読書の普及と支援

学校との連携による総合学習、調べ学習の支援は、学校教諭、読書相談員との連携を密に行い団体貸出を行うほか、子どもの本、学習支援の資料収集を積極的に行っている。また、学校のおはなし会への職員派遣や、教職員研修、中学生の職場体験等の受け入れを行っている。

乳幼児、児童には「おはなし会」を開催し、主催事業である各種講座・講演会を通して読書の普及に努めている。

市内の清和大学図書館、県内市町村図書館、県外図書館、国立国会図書館等と連携して協力体制をとり、資料提供を行っている。

## 〇 主 催 事 業 (平成30年度)

事 業 名	事 業 内 容	実 施 回 数	参加者数
児 童 文 学 講 座	児童文学関係者による講演	1旦	80 人
ボランティア講座	音訳教室	1回	31 人
図書館おはなし会	児童の読書習慣の育成・指導	142回	1,587人
保育園おはなし会	保育園児の読書習慣の育成・指導	155回	3, 453 人
大人のためのおはなし会	大人を対象とするおはなし会	2回	56 人
雑誌リサイクルフェア	雑誌(保存期限切れ)の無償配布	1旦	592 人
絵 本 講 座	絵本の選び方、おすすめ絵本の紹介	2回	50 人
夏 休 み 企 画 工作教室・こわ~いおはなし会 ・1日図書館員体験	夏休み子ども向け工作教室、季節の おはなし会、図書館の仕事体験	工作教室 2回 おはなし会 2回 図書館員体験 4回	53 人 49 人 38 人
れきおんミニコンサート	国立国会図書館の提供する歴史的音源(れきおん)を利用したコンサート	5 回	96 人
文芸講演会	文芸作家による講演会(隔年開催)	1回	284 人

# 〇 図書館利用状況の推移

		→ 6-1	館外貸出	登録者数	館	外	貸	出	館	外	貸	出	₩	数	
年度	開館日数	入館者数	12 歳未満	12 歳以上 ・施設等	利	用	者	数	児	童	書	_	般	書	
平成26年度	288	130, 617	42, 103			02.015		440, 956							
平成20年度	200	150, 617	3, 415	38, 688		93, 015		14	<b>1</b> 7, 3	31	29	93, 6	525		
平成27年度	289	124, 747	44,	099			01 057				438, 303				
十成乙十十段	209	124, 747	3, 401	40, 698		91, 857				36, 3	378	30	)1, 9	925	
亚出 0 0 左连	0.0.6	110 000	45,	849			00 1	-1 <i>C</i>			421,	437			
平成28年度	286	119, 082	119, 082 3, 240 42, 609 88, 516				010	13	31, 8	881	28	89, 5	556		
平成29年度	284	100 666	47, 668			97 076			416, 427						
平成 2 9 年度	204	120, 666	3, 178	3, 178 44, 490			910	13	32, 0	006	28	34, 4	421		
亚战20年度	202	117, 304	49, 365		OF 007			197	404, 831						
十成るり千度	成30年度 283		304 3, 090 45, 966 85, 927				04 ( 	12	24, 3	378	28	30, 4	453		

# ○ 館外貸出登録者 性別·年齢別内訳 (平成31年3月31日現在)

性	性	另	IJ			年    齢				別	J			
別				0	7	13	16	19	23	30	40	50	60	
•	男	女		>	>	>	>	>	>	>	>	>	歳	
年			計	6	12	15	18	22	29	39	49	59	>	計
齢	性	性		歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳		
別														
登録者数	19, 732	29, 141	48, 873	526	2, 564	1,816	2, 010	3, 314	4, 751	8, 031	8, 992	5, 392	11, 477	48, 873
(人)	19, 132	23, 141	40,013	320	2, 504	1,010	2,010	3, 314	4, 701	0,001	0, 992	5, 592	11, 477	40,013
比率(%)	40. 4	59. 6	100.0	1. 1	5. 2	3. 7	4. 1	6.8	9. 7	16. 4	18. 4	11.0	23. 6	100.0

<sup>※</sup> その他団体登録等(他市町村図書館等含む) : 492 を除く

# 〇 蔵書冊数の推移

年 度	総数
平成26年度	347, 256
平成27年度	352, 355
平成28年度	356,000
平成29年度	359, 519
平成30年度	361, 414

# ○ 分類別蔵書冊数 (平成31年3月31日現在)

種別	0 総記	1 哲学	2 歴史	3	4	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	E 絵本	P 紙芝居	その他	うち 公民館 醂	計
無数	12, 190	10, 158	36, 773	42, 858	22, 603	23, 850	10, 594	25, 154	4, 356	132, 622	26, 285	812	13, 159	48, 822	361, 414
比率	3. 4%	2. 8%	10. 2%	11. 9%	6. 3%	6. 6%	2. 9%	7.0%	1. 2%	36. 7%	7. 2%	0. 2%	3. 6%	13. 5%	100.0%

# 〇 障害者サービス(資料郵送貸出有)

年度	登 録 者	貸出利用者	貸出	冊 数		
年度	登 録 者	其山州用伯	点 字 図 書	録 音 図 書		
平成26年度	3 2	5 1	2 9 3			
十八人〇十及	3 2		253	4 0		
平成27年度	2 7	8 5	485			
十成27 十段	21	0 0	4 1 0	7 5		
平成28年度	2 9	8 6	489			
十八人〇十段	2 9	8.0	4 1 2	7 7		
平成29年度	3 0	206	1, 256			
十八人3十尺	3.0	200	1,037	2 1 9		
平成30年度	0.0 左座 0.0		1, 065			
十成30千度	3 0	168	7 2 6	3 3 9		

# 〇 団体貸出(保育園・学校・その他施設)

年 度	登 録 者	貸 出 冊 数
平成26年度	5 9	9,626
平成27年度	5 9	8, 171
平成28年度	6 0	8, 336
平成29年度	6 1	8, 092
平成30年度	6 7	11, 403

# 〇 公民館配本

年 度	配本施設(公民館)	配本冊数
平成26年度	1 4	52, 910
平成27年度	1 4	52, 142
平成28年度	1 4	51, 236
平成29年度	1 4	50, 588
平成30年度	1 4	48,822

# 〇 レファレンス及び資料複写サービス

左	調	査・回	答	資 料	複 写	
年  度	電 話	口 頭	文書・メール	件数	枚 数	
平成26年度		4 5 0		1, 901	15, 227	
十八人〇十尺	7 0	3 7 3	7	1, 501	10, 221	
平成27年度	5 2 6			1,879	13, 370	
十八八八十尺	6 8	4 5 5	3	1, 879	10, 070	
平成28年度		563		1, 796	17, 142	
十八八〇十尺	8 7	473	3	1, 790		
平成29年度		6 4 4		1, 754	1.7. 6.9.0	
平成 2 9 年度	9 6	5 4 2	6	1, 734	17,630	
平成30年度		6 3 4		1, 583	1 4 7 0 7	
十八〇〇十尺	7 3	5 5 6	5	1, 565	14,707	

# 木更津市郷土博物館 金のすず

#### ○経営の重点

【展示活動】平成30年度は、国指定重要文化財「上総木更津金鈴塚古墳出土品」、国指定重要有形民俗文化財「上総掘りの用具」を中心に、市所蔵資料による郷土に関する常設展示の充実を図った。また、開館10周年を記念し、これまでの軌跡や新収蔵品を紹介する特別展を実施し、市民に郷土の歴史や文化を理解する機会を提供した。

令和元年度は、工事休館中のため、中央公民館を利用して、市内請西に陣屋を構えた請西藩林 家最後の藩主「林忠崇」についてのパネル展を実施し、市民に郷土の歴史や文化を理解する機会 を提供した。また、小学校の体験学習を受け入れるため、昔のくらし体験コーナーを仮設展示し た。

【調査活動】平成30年度は、「国立歴史民俗博物館と学術研究交流に関する協定」の最終年度で、金鈴塚古墳出土品の共同研究を終了した。また、市内外に存在する郷土資料の調査を適宜実施し、情報の蓄積を図った。

令和元年度は、国指定重要文化財「上総木更津金鈴塚古墳出土品」について、文化庁の指導により台帳整理等を進め、文化審議会にて再評価に係る審議の資料として、再整理報告書を作成している。また、市内外に存在する郷土資料の調査を適宜実施し、情報の蓄積を図った。

【教育普及活動】平成30年度は、体験教室や講座等の実施を通して学習内容の深化と施設利用の 促進を図った。

併せて、平成30・令和元年度とも、「博物館友の会」「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」との連携により、昔のくらし体験学習、団体見学に対応した旧安西家住宅の展示解説等を 実施した。また、市内小中学校や公民館等に資料の貸出および講師派遣を行った。

【施設の環境整備】平成30・令和元年度とも、定期的に施設の環境適正・環境美化に努めた。

【空調改修工事に伴う収蔵資料等管理】令和元年度は、空調工事の進捗に併せ、館内の展示・保管 資料及び事務文書等を適宜移動し、重要文化財等の適切な管理を行った。

#### 主要事業の概要

#### 1. 職員体制

H30 年度:館長1名(非常勤特別職員)・副館長1名(学芸員)・副主幹3名(事務1名・学芸員 2名)・主任主事1名(学芸員)・非常勤一般職員3名(受付業務2名・学芸業務1名)

R1 年度:館長1名(非常勤特別職員)・副館長(学芸員)1名・副主幹(学芸員)2名・主任主事 (学芸員)1名・主任主事1名(再任用)・非常勤一般職員2名(空調工事に伴う業務1名・学芸 業務1名)

#### 2. 展示活動

(1) 常設展は、平成30年度は通常開館し、令和元年度は空調工事に伴い、展示資料を収蔵庫等に移動し、本館3階集会室に第9展示室の昔のくらし体験コーナーの一部を移設し展示した。

#### (2) 企画展等

年度	展 示 名 称 ・ 期 間 ・ 観 覧 者 数							
30	特別展「金のすず―10th Anniversary―」1月12日~3月31日(開館68日)2,448人							
	記念講演会「倭王と木更津」1月19日166人							
1	パネル展「脱藩大名 請西藩主林忠崇」8月10日~9月15日(開館36日)540人							

講演会①講演「上総請西藩物語 請西藩林家と御兎御用」②発表「真武根陣屋跡の調査」8月 31日162人

#### 3. 調查活動

#### 国立歴史民俗博物館との学術研究交流

平成22年度から国立歴史民俗博物館(以下、歴博と表記)と学術研究交流の協定を締結し、平成25・28年度に2回の延長を実施した。歴博が実施した上総木更津金鈴塚古墳出土品の非破壊による理化学的分析結果等を参考に、全国の古墳時代研究者有志と協力して金鈴塚古墳の学術的な再検討を実施、平成30年度で終了した。年間25日、のべ52人が実働した。『金鈴塚古墳研究』7号に報告書掲載資料以外の金鈴塚に関する情報をまとめた。

#### 上総金鈴塚古墳出土品再整理報告書等刊行事業

文化庁の指導により台帳整理を進めるとともに、国指定重要文化財「上総木更津金鈴塚古墳出土品」について、再整理報告書の年度末刊行に向けて準備を進めた。

#### 文化財調査

H30 年度:金鈴塚古墳共同研究事業として市外資料調査4箇所、市内個人所蔵資料7箇所、市外関係団体1箇所、市外個人1箇所の調査を実施した。また、木更津市史編集部会や博物館ボランティア等の協力を得て、旧請西藩主家所蔵資料及び齋藤昌麿関係資料の目録作成を行った。上総金鈴塚古墳出土品再整理報告書等作成事業の一環として、金鈴塚古墳出土品の撮影を民間業者に委託して実施した。

R1 年度: 市内個人所蔵資料2箇所の調査を実施した。また、市民のボランティア等と協力して旧請 西藩主家所蔵資料及び上総金鈴塚古墳出土品の写真撮影を実施した。

#### 4. 管理

#### 資料管理

#### ・収蔵資料管理

H30 年度: 重要文化財「上総木更津金鈴塚古墳出土品」の台帳整理作業を H27 年から文化庁、県 教育委員会とともに継続して実施。空調設備改修工事に伴う保存管理について、文化庁 担当官から指示を仰いだ。

R1 年度:空調工事に伴い、館内の資料移動及び借用先等への資料返却をし、収蔵庫等で適正な管理を行った。

・寄贈資料の受入:申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施。

H30 年度:市内個人3名から:屏風/民具/漁撈具/合計3件 市外個人1名から:出羽三山信仰関係資料/1件 市外1団体から:農具ほか/1件

R1年度:市内個人1名から:民具1件

• 寄託資料の受入: 申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施。

H30年度: 更新7件、新規受入1件 R1年度: 更新2件

#### 環境管理

H30 年度:博物館保存環境調査(4月1日~4月30日、7月5日~7月22日)計6週間、昆虫類 捕縛用箱型トラップを館内に設置した。捕縛した昆虫類の傾向から、保存環境について 調査を実施した。館外からの資料受入等には、適宜殺虫剤による資料の保全を図った。

R1 年度:館外からの資料受入等には、適宜、殺虫剤による資料の保全を図った。

台風 15 号等による博物館周辺の倒木等が多かった。来館者への安全を図るため、倒木撤去等の作業を行った。

#### 建物管理

令和元年の台風により、旧安西家住宅等に被害が生じたことから、職員が応急的に修繕した。また、次年度計画として資産管理課と修繕の協議をした。

- 5. 教育普及活動
- (1) 博学連携事業
- 教職員研修受入:随時教職員の研修を受入れている。

H30 年度: 高校1校(2日間1名)

R1 年度: 工事休館中のため受け入れ見合わせた。

•職場体験受入:収蔵資料整備、環境整備、勾玉作りなどの体験を行った。

H30 年度:中学校3校(3日間3名1校2日間4名1校·3名1校)

R1 年度: 工事休館中のため受け入れ見合わせた。

・講師派遣:講師として郷土に関する講義を実施した。

H30年度:小学校1校1回、他市1回

R1年度:小学校1校1回、市内公民館6回

• 学校見学等受入: 小学校を中心に、昔のくらし・社会科見学が中心で体験学習等を受け入れた。 小学校の昔のくらし体験学習では、「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」の協力により、 かまどの火吹き、石臼による黄粉作り、いろり、行灯などの体験を行った。

H30 年度:44 校(小学校等38 校=市内22、市外16 校 市外中学校1 校 大学5 校=東京成徳大人 文学部・千葉大文学部・千葉大工学部・清和大法学部・駒澤大学文学部)

R1 年度: 23 校(小学校等 23 校=市内 12 校、市外 11 校)

•博物館実習生受入:大学の学芸員養成講座に協力し、学芸員資格取得希望者の受け入れを行った。

H30年度:7月21日~8月7日(15日間) 5大学5名

R1 年度: 工事休館中のため受け入れ見合わせた。

(2) 資料貸出等

H30 年度:特別利用(熟覧·撮影等)26 件/計174 点貸出19 件/計132 点借用3件14 点

貸出:金鈴塚古墳出土品関係資料(八戸市博物館・国立歴史民俗博物館)等

R1年度:特別利用(熟覧・撮影等)24件/計98点 貸出4件/計36点 借用1件5箱

貸出:金鈴塚古墳出土品関係資料(国立歴史民俗博物館・房総のむら)等

(3) 講座等(詳細は別表参照)

H30年度:主催講座等をのべ23回実施した。また特別展示でギャラリートークを3回実施した。

R1年度:3講座は実施したが、他は工事休館中のため開催見合わせた。

(4) 旧安西家住字利用状况

H30年度: 3件(うち2件有料) R1年度: 1件(有料)

#### 6. 協議会など

**郷土博物館金のすず協議会** H30 年度:2回実施 R1 年度:1回実施

**君津地方公立博物館協議会** 木更津市・君津市・袖ケ浦市の公立博物館による協議会。

H30 年度: 理事会 (5/19 2/8) 担当者会議 (5/22 11/14 3/22)

第1回研修会「博物館における害虫・害獣対策と資料の維持・管理」(6/11)

第2回研修会「民具の取り扱いと上総唐箕の調査」(8/29)

館外研修会「いすみ市郷土資料館・一宮町中央公民館展示スペース・大網白里

町のデジタルミュージアムの施設見学等」(2/27)

R1 年度: 理事会 (5/17 11/28) 担当者会議(6/6 10/24)

第1回研修会「被災資料への対応と備え」(7/26)

第2回研修会「民具の取り扱いと上総唐箕の調査2」(8/23)

千葉県博物館協会 県内の博物館の団体。平成22年度から協会理事担当。

H30 年度:総会(5/24)役員会(4/26)研修委員会(7/23)

研修会「博物館における展示照明について」(12/12) 情報伝達訓練(3/13)

R1年度:総会(5/23)役員会1回(12/3)研修委員会(8/8)

研修会「今、ミュージアムに求められていること」(12/11)

台風被災状況取りまとめ (9/9)

日本博物館協会「博物館研究」の年間購読等により今日的な博物館の課題、情報を収集。

H30 年度:全国博物館長会議(7/4) R1 年度:全国博物館長会議(7/3)

#### その他 君津地方社会教育研究会

社会教育に関する問題解決等のため、君津地方4市の職員が集まり、実践および研修を 重ねることで、専門職としてのスキルアップを図る。

#### 7. 友の会の活動

H30 年度: 会員数 85 名 定期総会 1 回 役員会 4 回 研修会等 2 回 博物館事業協力 3 回 会報 17 号発刊 太田山クリーンデー2 回 サークル展開催 生涯学習フェスティバル参加 オーガニックフェスティバル参加

R1 年度: 会員数 70 名 定期総会 1 回 役員会 4 回 研修会等 2 回 会報 19 号発刊 太田山クリーンデー2 回 サークル展開催 生涯学習フェスティバル参加

#### 8. きさらづ文化財ガイドボランティアへの委託

旧安西家住宅への来館者に対応するため、任意団体「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」に解説等を委託した。同会は、旧安西家住宅へ来館した小学3年生に昔のくらし体験学習の受け入れも実施した。平成30年度は開館296日間、来館者6,755人、ガイドのべ1,340人、令和元年度は12月末までに開館168日間、来館者3,802人、ガイドのべ832人であった。 H30年度:定期総会1回 役員会10回 研修会2回 博物館事業協力5回 教育普及事業5回

いしずえ 20 号発刊

R1年度:定期総会1回 役員会5回 研修会1回 自主事業4回

#### 9. 入館者の推移

年度	利用者総数	観覧者総数	中学生 以 下	一般	65 歳 以 上	※1 その他	主催授業等参加者	開館 日数
30	11,916人	9,024人	2,938人	3, 145 人	2, 298 人	643 人	2,892 人	291 日
1							※2 2,070 人	※2·3 168 日

<sup>※1</sup>その他とは高校生・大学生など。

<sup>※ 2</sup> 令和元年 12 月 31 日現在。

<sup>※3</sup>令和元年度は休館中につき、開館日数は旧安西家住宅の日数とする。

## 別表 5. 教育普及活動 (3)講座など

# 30年度

# 博物館でお花見を

_	17T I	73 XH	C 00 1					
П	山	П	曜日	会場	内容	講師等	備考	参加者
	4	7	±	旧安西家	の汗切・日泊・元店・ほに	及の会・カイト・ハランティア・ ライオンス・クラブ・親和商店・一 粒舎・市民まちづくり塾・図 書館・仲沢提枝	お汁粉177膳、甘酒200杯 お話会30名、畑沢楊枝作り体 験7名 4月1日(日)~4月8日(日)は無 料開館。	3,106

# フィールドミュージアム

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	講師	参加者
5	13	日	旧安西家· 太田山公園		食べられる食材を 調べ、食す	木暮文雄	27

#### 郷土文化伝承体験教室

7/												
月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者						
7	22	日	保管庫金鈴会館	はたおり講習会	友の会 はたおりサークル	10						
12	22	土	集会室	正月飾り作り教室	大鹿幸惠・尾崎進・寺門徳秋・長野直幸	16						
2	2	±	旧安西家住宅		大鹿幸恵·佐伯信子·沼田静代·野々山 陽子	23						

# 夏休み体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	講師	備考	参加者
7	29	日	集会室	夏休み体験講座「勾玉作り 教室」	勾玉作り	博物館実習生	博物館実習の一環 として事業を実施	30

# 地域学講座「木更津風土記」

				<u> </u>		
月	田	曜日	会場	内容	講師	参加者
8	23	土	集会室	房総を訪れた外国人宣教師	内藤幹生 県文書館嘱託	22
10	13	±	集会室	2000年前の東アジア世界と房総半島の弥生文化	寺前直人 駒澤大学准教授	28
1	26	±	集会室	近世以降の本末制度について	菅根幸裕 千葉経済大学教授	22
2	10	日	集会室	唐箕の秘密〜製作者の視点から〜	古宮利篤 農具研究家	22
3	9	H	集会室	上総掘り	前田俊一郎 文化庁文化財調査官	27

# 歴史講座

月	日	曜日		月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	15	日		8	19	日	集会室	古文書初級編	實形裕介 県文書館嘱託	20 14
9	16	日					集会室	古文書初級編	實形裕介 県文書館嘱託	15
1	20	日	•	2	17	日	集会室	古文書中級編	實形裕介 県文書館嘱託	17 15
3	17	H					集会室	古文書中級編	實形裕介 県文書館嘱託	17

# きさらづ歳時記

月	日	曜日	~	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	28	Ŧ	~	5	10	木	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼりの飾り付け	451
6	30	土	~	7	8	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	49
9	17	月·祝	~	9	24	月·祝	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	お月見	124
2	20	水	~	3	3	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の雛祭り	雛飾り	305

#### 講演会

明次女								
	月	日	曜日	会場	タイトル	講師等	参加者	
	5	26	±	集会室	館蔵資料展記念講演会「明治時代の産業と文化」	鎮目良文 たばこと塩の博物館学芸員	2	
	1	19	±	博物館隣接会場	特別展記念講演会「倭王と 木更津」	上野祥史 国立歴史民俗博物館准教授	166	

講師派遣

HITE WINCE							
[	月	田	曜日	会場	タイトル等	参加者	
	6	8	金	請西小学校	6年生社会科学習「地域の環境・歴史について」	93	
	12	13	木		鎌ケ谷市郷土資料館セミナー「房総の女性の歴史と民俗」昭和20年の木更津~木更津高等女学校生徒の絵日記を中心に~	43	

令和元年度 郷土文化伝承体験教室

70-1-			1 ·     · 3// 1// <del></del>			
月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
10	6	日	保管庫金鈴会館	はたおり講習会	友の会 はたおりサークル	12
12	21	±	集会室	正月飾り作り教室	大鹿幸惠·亀井武夫·寺門徳秋·長野直 幸	20

きさらづ歳時記

月	日	曜日	<b>\</b>	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	20	土	۲	5	6	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼりの飾り付け	383
7	3	水	<b>`</b>	7	7	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	42
9	7	土	?	9	8	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜 9月9日、台風15号の影響により中止	お月見	20

講演会

月	日	曜日	会場	タイトル	講師等	参加者
8	31	±	木更津市中央公民館		實形裕介 木更津市史編集委員稲葉昭智 副館長	162

講師派遣

mm/m/2								
月	田	曜日	会場	タイトル等	参加者			
4	16	火	請西小学校	6年生社会科学習「地域の環境・歴史について」	76			
5	21	火	木更津市岩根公民館	岩根郷土史講座「歴博のリニューアルと木更津の古墳文化について」	23			
7	11	木	木更津市西清川公民館	西清川歴史学級第3回「講義地域を知ろう②祇園貝塚とその周辺~ 鶴巻・大塚山古墳など~」	36			
8	28	水	木更津市中央公民館	郷土史講座「脱藩大名 請西藩主 林忠崇	15			
9	10	火	木更津市岩根公民館	岩根郷土史講座「旧請西藩主林家について」	19			
10	8	火	木更津市岩根公民館	岩根郷土史講座「木更津の遺跡の概要」	27			
12	12	木	木更津市西清川公民館	西清川歴史学級第6回「金鈴のかがやき~木更津の古墳時代·金鈴 塚古墳を中心に~」	12			

# 青少年指導関係

# 1. 活動方針

家庭、地域、学校、警察署や内房地区少年センター、南房総教育事務所生徒指導班、児 童相談所等の関係機関との連携を密に、青少年の非行を防止し、健全育成を図る。

#### 2. 業務内容

- (1) 相談活動
- ①来所相談、電話相談、メール相談等の充実に努める。

相談受理件数(令和元年12月31日現在)

来所相談	電話相談	メール相談	合計
6件	44件	15件	6 5 件

②関係諸機関との連携を密に、効果的な支援に努める。

#### (2) 街頭指導

- ①計画指導 青色灯装着車による街頭パトロールを週1回以上実施する。
- ②地区指導 青少年補導員による街頭指導を中学校区毎に実施する。
- ③特別指導 関係諸機関・諸団体と連携し、JR 乗車マナー指導及び花火大会終了後のパトロール等、特別街頭指導を実施する。

実施状況 (令和元年12月31日現在)	実施回数(回)	延従事者(名)	指導少年数(名)
計画指導	5 0	100	0
地区指導	188	5 9 1	2
特別指導(花火・JR)	4	9 9	0
合 計	2 4 2	7 9 0	2

## (3)情報化社会への対応

- ①情報化社会を安全に生きるための啓発活動等を推進する。
- ②県の実施するネットパトロールと連携し、適切な指導・支援を行う。

#### (4) 関係機関・団体との連携

- ①学校、警察、児童相談所等との協力体制の推進強化を図る。
- ②各種連絡会議との連携を図る。

#### (5) 啓発活動

- ①青少年健全育成のための広報紙等を定期的に発行する。
- ②未成年による飲酒・喫煙、危険ドラック、薬物乱用等の防止・撲滅に関する各種キャンペーンに参加する。
- (6) 青少年指導関係運営協議会

青少年の健全な育成及び非行の防止を支援するために、関係行政・教育機関及び団体

の代表で構成される青少年指導関係運営協議会を設置している。 委員は市長が委嘱し、任期2年、定数15名以内と定められている。(現員数14名)

## (7) 青少年補導員

青少年補導員は、地域における非行状況の情報連絡をするとともに、自主的組織の青 少年補導員連絡協議会を組織し、地区活動を中心に主たる業務である街頭補導に従事す るほか、地域環境浄化活動にも積極的に従事している。

青少年補導員は、市長が委嘱し、任期2年、定数100名以内と定められている。 (現員数79名 令和2年1月1日現在) 7. 資 料

# 歴代教育委員及び教育長

			教 育 委 員	
年度	委員長	委 員 長 職務代理者	委員	教育長
S 27	大日方惟信	浜名 儀三	加藤 儀助 ・ 梶 良一 ・ 加藤 議祐	斉藤 善治 (助役事務取扱)
28	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠	東條 繁樹
29	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤   誠 平野千之助	東條 繁樹
30	梶 良一	加藤 儀助	浜名儀三・ 大日方惟信・ 伊藤・ 伊藤正雄・ 渡辺庄司	東條 繁樹
31	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多・ 渡辺 庄司	小山 義雄
32	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多・ 鳩飼 茂	小山 義雄
33	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多・ 鳩飼 茂	小山 義雄
34	末吉 弥吉	鳩飼 茂	内藤 津多 ・ 堀切 友雄	小山 義雄
35	鳩飼 茂	堀切 友雄	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
36	堀切 友雄	内藤 津多	安西 忠蔵・ 末吉 弥吉	小山 義雄
37	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉 ・ 大日方雄三	小山 義雄
38	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
39	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
40	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
41	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
42	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
43	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
44	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
45	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
46	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
47	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
48	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄 ・ 中村 武雄	小山 義雄
49	堀切 友雄	内藤 津多 榎本 武雄	中村 武雄 • 高橋 裕吉	小山 義雄
50	堀切 友雄 榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 • 高橋 裕吉	小山 義雄
51	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 • 高橋 裕吉	小山 義雄
52	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 • 高橋 裕吉	小山 義雄

			教 育 委 員	
年度	委員長	委 員 長 職務代理者	委員	教育長
S 53	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 • 高橋 裕吉	小山 義雄
54	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 • 高橋 裕吉	小山 義雄
55	榎本 武雄 佐久間重男	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 ・ 中村 武雄 ・ 鈴木 達也	小山 義雄 原 保
56	佐久間重男	高橋 裕吉	中村 武雄 ・ 鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
57	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 · 鹿間 敏夫	原 保
58	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 · 鹿間 敏夫	原保
59	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 · 鹿間 敏夫	原 保 栗林 信夫
60	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 · 鹿間 敏夫	栗林 信夫
61	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 · 鹿間 敏夫	栗林 信夫
62	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 鈴木 達也	鈴木 達也・ 鹿間 敏夫・ 高橋 せい	栗林 信夫
63	高橋 裕吉	鈴木 達也 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫・高橋 せい・ 白石 英夫	栗林 信夫
H 1	高橋 裕吉	鹿間 敏夫	高橋 せい・ 白石 英夫	栗林 信夫
2	高橋 裕吉 高橋 せい	鹿間 敏夫	高橋 せい・ 白石 英夫・ 山本 恭雄	栗林 信夫
3	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
4	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
5	高橋 せい 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 白石 英夫	高橋 せい・ 山本 恭雄	栗林 信夫
6	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい・ 山本 恭雄	栗林 信夫
7	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい・ 山本 恭雄・ 石川 茂子	栗林 信夫
8	鹿間 敏夫	白石 英夫 石川 茂子	杉井 和夫 · 橘田 昭雄	栗林 信夫 西村 堯
9	鹿間 敏夫 杉井 和夫	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 · 石川 茂子 · 石井 利枝	西村 堯
10	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 · 石井 利枝	西村 堯
11	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝 ・ 井原 一恵	西村 堯
12	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 大日方惟忠	大日方惟忠 ・ 井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
13	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 · 青木 和義	西村 堯
14	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 · 青木 和義	西村 堯
15	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義 ・ 清﨑 光惠	西村 堯
16	橘田 昭雄 青木 和義	大日方惟忠	青木 和義 ・ 清﨑 光惠 ・ 石井 英美	西村 堯 初谷 幹夫

			教 育 委 員	
年度	委員長	委 員 長 職務代理者	委員	教育長
Н 17	青木 和義	大日方惟忠	清﨑 光惠 · 石井 英美	初谷 幹夫
18	青木 和義	大日方惟忠	清﨑 光惠 · 石井 英美	初谷 幹夫
19	青木 和義	大日方惟忠	清﨑 光惠 · 石井 英美	初谷 幹夫
20	青木 和義 石井 英美	大日方惟忠 清﨑 光惠	清﨑 光惠 ・ 石井 英美 大日方惟忠 ・ 青木 和義	初谷 幹夫
21	石井 英美	清﨑 光惠	大日方惟忠 ・ 青木 和義 ・ 武井 紀夫	初谷 幹夫
22	石井 英美	清﨑 光惠	青木 和義 ・ 武井 紀夫 ・ 長谷部理絵	初谷 幹夫
23	石井 英美	清﨑 光惠 長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 長谷部理絵 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
24	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 · 吉田 一雄	初谷 幹夫
25	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
26	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
27	_	石井 英美	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄 ・ 長谷部理絵	髙澤 茂夫
28	_	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	髙澤 茂夫
29	_	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	髙澤 茂夫
30		武井 紀夫	吉田 一雄・渡部 佳子・豊田 雅之	髙澤 茂夫
31	_	武井 紀夫	渡部 佳子・豊田 雅之・井上 美鈴	髙澤 茂夫

# 教育功労被表彰者一覧

年度				氏	名	(	団(	本 名	)						
S 28	山崎 直 君塚 嘉夫	<ul><li> 榎本</li><li> 佐久間</li></ul>	武治 · 間重男 ·	時田 栗原	新蔵 金司	•	中村	平吉	•	石渡的	建三郎	•	堀切	友雄	•
29	石井 幹夫 藤倉 信雄	・小熊	君子 ·	三枝	重蔵	•	市川	清茂	•	高橋	卓一	•	河田	陽	•
30	近藤 音松 望月 湊	<ul><li>松本菊</li><li>嶋田</li></ul>	南治郎 ・ 廣吉	鈴木	和子	•	安田	靜一	•	小野	秀三	•	藤倉	信雄	•
31	浅井 泰治 林 好雄	• 内海	茂・	飯塚	しづ	•	浪久	丈雄	•	榎本	武雄	•	細井-	子之助	•
32	宮本 寿吉 若鍋千代吉	<ul><li> 古屋</li><li> 山崎</li></ul>	昇・ ふさ	篠崎	弘	•	服部	てい	•	藤倉	かね	•	山田	金吾	•
33	北見 日吉	<ul><li>大日力</li></ul>	方雄三 ・	竹内	隆	•	白木	光郎	•	内藤	百合子				
34	杉山 聞多	<ul><li>平野</li></ul>	要 •	鈴木	康夫	•	鈴木和	1三郎	•	神子	仁明	•	飯塚	信明	
35	鈴木保松美佐雄	<ul><li>山田</li><li>植松</li></ul>	千鶴 仁子・	佐藤 泉水	I/N	:		真一 奉仕会		黒田	清	•	鈴木	一平	•
36	花崎農夫寿 鈴木 靜夫		田茂雄 ・ 総文化会	内木 木更津	, ,	•	山田料	青五郎	•		英夫	•	北見	定吉	•
37	大日方惟信 根本 安代	・石川	季次郎 ・ 寛 ・	唯野 伊藤	寿雄 俊栄	•		つめよ			一夫	•	神頭	千代	•
38	竹内正太郎 在原 定雄	<ul><li>高橋</li><li>柴崎</li></ul>	まつ・みつ		三郎	•	鳥海り	ゆき江	•		せい	•	細野	鹿蔵	•
39	畑野   敏     林   英樹	・ 三枝	正夫・	細井	<i>J</i> C 111	•	山口	祐正	•	伊草	70.50	•	桐谷	清	•
40	栗原 正美 山本 恭雄	<ul><li>関口</li></ul>	清二・	斉藤	新蔵	•	磯辺	<i>p</i> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•	桑田	馨二	•	梶川	環	•
41	田村 きよ (武道連盟)	・小倉	重成・	青木	秀	•		景夫	•	関口	義雄	•	小島	寿子	
42	田村 芳美 千代倉 胖	<ul><li>岩瀬</li></ul>	すみ・	落合	均	•	杉浦	16.1	•	安田	智堂	•	高橋	省己	•
43	竹内金兵衛 高木 茂男	<ul><li>渡辺</li></ul>	達雄 ・	本多	光子	•	斉藤	藤江	•	森	美代子	•	本吉	雄吉	•
44	吉川 金一 鈴木 安雄	• 根本	隆之 •	鶴岡	清子	•	高崎	繁雄	•	秋楽	幸子	•	嶋野	一雄	•
45	積田 博 赤川 徹男		美代子 ・		まさ			功		鈴木	文子		鈴木	重雄	
46	山口 健一	<ul><li>安西</li></ul>	輝子 •		和子			澄子			香	•		きみ江	
47	原 保 石井 堅一	• 宇野	裕之 ・ 六夫 ・	守	瑾英 智雄	•	刈込 勝呂	淑子 国利	•	羽瀬	雪 玲子	•	29.	哲夫	
48	石橋 郁夫 横須賀 孝		茂·		富子		大久仍					•	渡辺	和彦	
49	前田 弘次 西山 六郎		禮治 •		ツヤ		森本			小林	いつ		国分	貞子	
50	大河原三夫 手島 宏晴	・ 小原	勉 · 三郎 ·	楠田伊	裏 云次郎			習恵子			巴子		鳥飼	誠	
51	石川   俊夫     大岩   徳	<ul><li>川名東</li></ul>	が夫 ・ 等美恵 ・	磯崎曽根	愛子 和男					下室	高治			武夫	
52	柳瀬 秀雄 庄司 邦夫	<ul><li>白石</li><li>鈴木</li></ul>	三郎・ 健之・	筑紫 佐久間	引さく			等次郎 ———			つね		池田	幹男	
53	天羽 隆雄 小籠 定長	<ul><li>浅井</li><li>鈴木</li></ul>	昭 · 音彌 ·	相川 花輪	良二 正好	•	三枝	園子	•	山口	敏子	•	鈴木	恒子	•

年度			氏 名	(団体名	)	
S 54			藤里 玲子 鳥飼明二郎	• 景山喜久子	• 斉藤 誠	・ 山口 栄治・
55		鈴木 騎兵 ・ 庄司 肇	安田 敬	<ul><li>林 秀雄</li></ul>	• 牛島登志子	- · 土屋 清子 ·
56		渡辺 敏夫 ・ 八剣 昭雄	中島 京	・ 桑田 芳枝	• 萱野 敏彦	・ 井上 亮三 ・
57		青柳 文夫 ・ 稲垣 新清 ・	榎本しずえ 大溝 晴史	<ul><li>・ 早田 芳子</li><li>・ 重城 良造</li></ul>	<ul><li>瀬戸 正嗣</li></ul>	引・ 森山 弘大・
58		刈込 仁 · 山田 弘 ·	嶋田伊富子 富澤 一枝	• 鈴木 恵子	<ul><li>松本 祐子</li></ul>	- · 東 秀和 ·
59		<ul><li>竹内 秀夫 ・</li><li>伊藤 満</li></ul>	安田 祿彌	• 小林 セツ	<ul><li>和地 妙子</li></ul>	· 市東 良子 ·
60	藤嵜百合子 ·	星野 享永 ・ 山本 茂子 ・	渡辺博白石裕	7011 == 70	• 鈴木 郁夫	
61		萩原 一郎 ・ 山本 良治 ・	三枝   公一     吉田   明	• 高橋 君子	<ul><li>八剣 茂</li></ul>	き・ 富澤 義夫 ・
62		山田 重昭 ・ 篠辺 正和 ・	藤里   公一     塩塚   重雄	<ul><li>細谷 竹松</li><li>大野 進</li></ul>	• 和地 惠實	で・山口 かの・
63	小川 弘子 ·		山口 川口 純	<ul> <li>関 正輪</li> </ul>	<ul><li>山口 義雄</li></ul>	., , ,
H 1		米澤 安夫 ・ 地曳 岩夫 ・	曽根   英範     高木   厚行	<ul><li>・ 岡田 良平</li><li>・ 壇谷 洋</li></ul>	• 岸	『・ 松永 和夫 ・
2	箱守 和子 •	川本 勉・	藤嵜 啓好 飯田厚三郎 飯島 咲子	<ul><li>・ 林 務</li><li>・ 大日方 洋</li></ul>	<ul><li>鈴木 和郎</li><li>高橋 竹刀</li></ul>	
3	竹内 哲也 ·	前田 曻・ 荻野 敬次・	生島 新治 鳥海 郁二	• 小川 郁夫	<ul> <li>石渡 重彦</li> </ul>	・ 山田 文子・
4	東條 章夫・		鈴木     勝江       仲田     一	<ul><li>・ 茂田 政睦</li><li>・ 磯貝 良</li></ul>	<ul><li>宇渡 明日</li><li>・ 影山 乾一</li></ul>	
5	石井 恭雄 ·	川名 伸夫 ・ 勝呂 至孝 ・	和田 公喜 鈴木 寛	<ul><li>・ 宮森 文郎</li><li>・ 桑田きゐ子</li></ul>	<ul> <li>柴崎 明子</li> </ul>	· ・ 能星みち子 ・
6	関口 敏夫・	中山 寿弘 ・ 庄司安兵衛 ・	中村 督民 大野 英二	<ul><li>・ 平野 勲</li><li>・ 本吉 松博</li></ul>	- Net 111 - 40	けい 羽山 豊春 ・
7	野口 芳宏 ·	五川仁一郎 ・ 大塚 淳 ・	小川 曻	• 鈴木 貞雄	<ul> <li>松江 俊昭</li> </ul>	R · 渡辺美智子 · E · 杉井 和夫 ·
8			<ul><li>錦織 正道</li><li>磯貝 昇</li></ul>	<ul><li>・ 金子 馨</li><li>・ 今井 香樹</li></ul>		
9	前田 宏 ·		小磯 利夫	<ul><li>長谷川久治</li><li>赤川 宣子</li></ul>	<ul><li>柳川 秀雄</li><li>岡田 正岡</li></ul>	性 ・ 酒井 正雄 ・ 川 ・ 高橋 一美 ・
10	安藤 智子・			<ul><li>・ 小池 和夫</li><li>・ 小泉ヨシ子</li></ul>		・ 板倉美代子 ・ ・ 瀬能 正一 ・
11	山田 勝巳 ·	安達 弦太・	高橋 惠子 藤井 一夫 永島 貞二	<ul><li>・ 吉田 惠子</li><li>・ 山口 延善</li></ul>		- ・ 伊藤 三子 ・ - ・ 田村 幸雄 ・
12	平野 弘子 •	佐久間道子 ·	浦部紘一郎 安積美智子 (木更津ばや			・ 勝又 節子 ・ ・ 鈴木 芳則 ・
13	中村 和成・	村松 和久 •	安藤 昭之 佐藤 敏彦	<ul> <li>御園 信弘</li> </ul>		・ 川名 好枝 ・ ・ 山田 節義 ・

年度	氏 名 (団 体 名)
Н 14	鈴木 克彦 ・ 根本榮治郎 ・ 山口 正明 ・ 奈良輪 索 ・ 柳生 直宣 ・ 園田 陽子 ・ 松沢 廣子 ・ 宮本 紀子 ・ 鳥海 照代 ・ 鳥海ひろみ ・ 齊藤 英子 ・ 水野 信義 ・ 飛澤 彰 ・ 筑紫 敏夫
15	鴻池 敦 ・ 鴇田 憲司 ・ 横内 規明 ・ 磐井美千代 ・ 吉元 玲子 ・ 横内きよ子 ・ 石渡 宏 ・ 吉田 敬 ・ 小竹 和己 ・ 櫻井 滿 ・ 吉田 光代 ・ 鈴木 克巳 ・ 蘇我 芳章 ・ (木更津市体育協会) ・ (木更津市文化協会)
16	藤沢きよ子 ・ 平野 寛 ・ 勝畑 利光 ・ 礒貝 修一 ・ 大塚 典夫 ・ 川名眞木子 ・ 功刀 和子 ・ 八角 泰男 ・ 勝呂 文恵 ・ 礒貝 節子 ・ 地曵 貞二 ・ 原 初惠 ・ 廣部 一 ・ (千葉県自転車軽自動車商協同組合木更津支部)
17	林 俊之 ・ 實形勢津子 ・ 関口 一眞 ・ 高橋 博光 ・ 渡邉 啓子 ・ 露嵜 信子 ・ 村野はるみ ・ 鈴木 俊子 ・ 門田 秀夫 ・ 磯貝 隆久 ・ 鈴木 敏子 ・ (岩根西地区青少年健全育成振興会)・(木更津薪能の会)
18	長島 眞 ・ 齋藤 勇 ・ 磯崎 正利 ・ 川名 和夫 ・ 長谷川貢一 ・ 武田 敏子 ・ 上田 光代 ・ 松清 央 ・ 小関 洋男 ・ 石村 元章 ・ 島田登美夫 ・ 桑田 光正
19	礒貝 章 ・ 鈴木 健治 ・ 田村 博 ・ 平野えい子 ・ 宇野 裕子 ・ 中山 立子 ・ 長尾 幸子 ・ 綾野美登里 ・ 上田 誠治 ・ 橋爪 洋平 ・ 市東 良子 ・ 山口 一郎 ・ 鴇田 隆一 ・ 武藤 義彦
20	鈴木 順一 ・ 鎌田 実 ・ 藤森けい子 ・ 鈴木 節子 ・ 今井 裕文 ・ 古泉美根子 ・ 石井 禎一 ・ 相沢枝里子 ・ 飯田 勉 ・ 吉﨑 治美 ・ 溝口五百子 ・ 筑紫 敏夫
21	小原 俊郎 · 内藤 健一 · 塩田 耕司 · 鈴木 正美 · 永嶌 博文 · 高橋 純子 · 嶋田 敏恵 · 山田ゆり子 · 鈴木喜代江 · 杉山 公夫 · 鈴木 勝也 · 渡辺 和彦
22	高村 直道 ・ 土井 淳治 ・ 多田 元樹 ・ 石井 春久 ・ 古閑 晃一 ・ 玉川 剛 ・ 鈴木 雄子 ・ 内海 晃 ・ 齋藤眞理子 ・ 平山 政彦 ・ 山下 博 ・ 佐々木幸生 ・ 李 程英
23	林 正巳 ・ 明石 知幸 ・ 白石 修一 ・ 多田 芳明 ・ 石井 吉明 ・ 宮城三津子 ・ 内藤 成人 ・ 柳澤 裕子 ・ 森 孝子 ・ 鈴木 克己 ・ 水野 幸子
24	栗原 正志 ・ 桐谷 和美 ・ 古泉 忠之 ・ 小尾 哲郎 ・ 齋藤 幸子 ・ 大岩 静江 ・ 長谷川文子 ・ 平野 洋子 ・ 八代 時江 ・ 宮崎 惠子 ・ (木更津市婦人会連絡協議会)
25	田口 哲郎 ・ 渡辺 正悟 ・ 髙澤 茂夫 ・ 池田 武 ・ 神子 由之 ・ 堤 千枝子 ・ 鹿島 都子 ・ 佐久間 薫 ・ 久我 京子 ・ 泉水 桂子
26	小髙已喜男 ・ 篠原 和行 ・ 伊東 晶一 ・ 安川 公子 ・ 荒井 幸江 ・ 加藤 則子 ・ 仲野 憲治 ・ 杉本 正美 ・ 山口 治彦 ・ 石井 典子 ・ 佐久間ひさい ・ 志保沢博央 ・ 山田 治子
27	石井 章 ・ 関口 明 ・ 小川 善彦 ・ 大胡 利一 ・ 萱野 弘之 ・ 伊藤 俊樹 ・ 渡邉 義明 ・ 原田 智子 ・ 岩崎 淳
28	加藤 高明 ・ 竹内 淑子 ・ 江田 欣弘 ・ 積田 一重 ・ 永嶋 偉子 ・ 上田 順次 ・ 中村 吉朗 ・ 関 和一 ・ 竹重 厚志 ・ 若海 和広 ・ 大久保尚子
29	山本 卓人 · 藤平 慶子 · 鈴木 修一 · 額賀 敏行 · 平野千津子 · 武田 重雄 · 横田由起子 · 宮下 育夫 · 小宮 邦夫 · 齋藤 裕子
30	米澤 雅史 ・ 積田 等 ・ 安田 正幸 ・ 佐々木洋子 ・ 桑田 清行 ・ 縄谷 尚志 ・ 宮﨑 眞司 ・ 伊藤結実子 ・ 小尾みどり ・ 髙品 律子 ・ 吉田 裕子 ・ 地曳 昭裕 ・ 青木美津子
31	廣部 昌弘 ・ 佐藤 千明 ・ 田村 淳也 ・ 矢野 直明 ・ 北川 久雄 ・ 越川 茂夫 ・ 伊藤 裕美 ・ 星野志げ子 ・ 鈴木 一枝 ・ 緒形由美子 ・ 鶴岡 宗一 ・ 中澤 恵 ・ 松本 衣江 ・ (木更津ユネスコ協会)

# 市内指定等文化財一覧

令和2年1月1日現在

		種別	名 称	現所在地	所有者	指定年月日	員数	備考
国 指 -	1	重要有形文化財 (考古資料)	上総木更津金鈴塚古墳出土品	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S34. 6.27	一括	
定	2	重要有形民俗文化財 (生産、生業に用いられるもの)	上総掘りの用具	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S35. 6. 9 H 7. 12. 26	258点	追加
国選択	1	記録選択 (無形民俗文化財)	木更津市中島の梵天立て	中島 (神事会場は金田漁 業協同組合裏の水神 宮付近の海)	中島区文化財 保存会	H 4. 2.25		
国 -	1	登録文化財 (建造物)	選擇寺本堂	中央1-5-6	選擇寺	H12. 2.15	1棟	
登 录	2	登録文化財 (建造物)	下郡郵便局旧局舎	下郡	個人所有	H16. 7.23	1棟	
政队	3	登録文化財 (建造物)	ヤマニ綱島商店店舗	中央2-5-9	個人所有	H23. 7.25	1棟	
	1	記念物 (史跡)	金鈴塚古墳	長須賀430	木更津市	S25.11. 3	$251\mathrm{m}^2$	
	2	有形文化財 (彫刻)	銅造阿弥陀如来立像	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木野根沢区	S29. 3.31	1躯	寄託
	3	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来立像	桜井1450	東光院	S30. 12. 15	1躯	
	4	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来坐像	請西	法人所有	S35. 6. 3	1躯	
	5	有形文化財 (工芸品)	金銅孔雀文磬	請西	法人所有	S35. 6. 3	1面	
	6	有形文化財 (工芸品)	金銅五鈷鈴	請西	個人所有	S35. 6. 3	1点	
	7	民俗文化財 (無形民俗文化財)	木更津ばやし	中央(旧仲片町)	木更津ばやし 保存会	S38. 5. 4		
県指	8	有形文化財 (工芸品)	梵鐘 (長禄三年在銘)	真里谷1760	妙泉寺	S39. 4.28	1 🗆	
定	9	有形文化財 (古文書)	制札	請西	法人所有	S39. 4.28	1枚	
	10	有形文化財 (考古資料)	黄瀬戸灰釉木の葉文瓶 附 常滑不識壺	永井作1-4-66	善光寺	S40. 4.27	各1口	
	11	有形文化財 (建造物)	須賀神社本殿	祇園524	須賀神社	S54. 3.21	1棟	
	12	民俗文化財 (有形民俗文化財)	東京湾のり生産用具	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S54. 3. 2	一括	
	13	有形文化財 (古文書)	天正検地帳(上総国望陀郡 菅生庄請西之郷御縄打水帳)	文京2-6-51 木更津市立図書館	木更津市	S57. 4. 6	16冊	
	14	有形文化財 (絵画)	板絵著色富士の巻狩図絵馬	長須賀2444	日枝神社	Н 5. 2.26	1面	
	15	有形文化財 (考古資料)	上総大寺廃寺露盤	大寺1029	熊野神社	H13. 3.30	1点	
	16	有形文化財 (歴史資料)	至徳堂関係資料	文京2-6-51 木更津市立図書館	木更津市	H14. 3.29 H20. 3.18	220点	追加
	1	記念物 (史跡)	斎藤昌麿の墓	小浜	個人所有	S39. 3.25	1基	
	2	記念物 (史跡)	鳥海酔車の墓	長須賀1668 福寿寺内	個人所有	S39. 3.25	1基	
	3	記念物 (史跡)	鋳匠大野五郎右衛門遺跡	矢那	個人所有	S40. 2.20	$30\mathrm{m}^2$	
	4	有形文化財 (書跡)	橘守部遺墨	小浜	個人所有	S40. 2.20	23点	
	5	有形文化財 (古文書)	鈴木三郎家蔵古文書	文京2-6-51 木更津市立図書館	木更津市	S40. 6.17	一括	
市	6	有形文化財 (工芸品)	徳川家より下賜された獅子頭	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	中央 (旧北片町)	S40. 9. 6	1体	
指定	7	有形文化財 (古文書)	木更津船之由緒書	中央	個人所有	S40. 9. 6	1点	
止	8	有形文化財 (彫刻)	長楽寺の五輪塔	請西	法人所有	S41. 4.22	1基	
	9	記念物 (史跡)	真武根陣屋遺址	請西1139-33	木更津市	S41. 4.22	39 m²	
	10	記念物 (史跡)	貝渕木更津県史蹟	貝渕3-10-1	木更津市	S41. 4.22	960. 53 m²	
	12	有形文化財 (彫刻)	嶺田楓江寿碑	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S44. 7. 1	1基	
	13	有形文化財 (彫刻)	加藤家の板碑・五輪塔	矢那	個人所有	S45. 6.11	4基	
	14	有形文化財 (絵画)	江戸期の風俗図屏風六曲一隻	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2.17	1隻	

	15	有形文化財 (古文書)	小倉家文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	S51. 2.17	2点	寄託
	16	有形文化財 (書跡)	寛平御時后宮歌合断簡「春」	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2.17	1幅	
	18	有形文化財 (彫刻)	木造聖観音立像	万石176	金勝寺	S52. 6. 6	1躯	
	19	記念物 (天然記念物)	安西家のキササギ (キササゲ)	草敷	個人所有	S56. 4.23	1樹	
	20	有形文化財 (建造物)	旧安西家住宅	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S56. 4.23	1棟	
	21	有形文化財 (歴史資料)	五大力船絵馬	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S59. 2.23	1面	
	22	記念物 (天然記念物)	松本家のグミ	大稲	個人所有	S60. 12. 12	1樹	
市	23	有形文化財 (絵画)	八剱八幡神社の格天井装飾画	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S61. 9.12	162面	
指定	24	記念物 (天然記念物)	根本家の椎	真里谷	個人所有	S63. 1.20	1樹	
Æ	26	有形文化財 (歴史資料)	上総鋳物師大野家関係資料	太田2-16-2 郷土博物館金のすず	個人所有	H14. 1. 4	一括	寄託
	27	有形文化財 (考古資料)	高部30号墳・32号墳出土資料	太田2-16-2 郷土博物館金のすず	木更津市	H15. 3.26	27点	
	28	記念物 (天然記念物)	「鎌足桜」祖株	矢那1245 高蔵寺内	木更津市	H17. 2.25	1株	
	29	有形文化財 (彫刻)	木造釈迦如来坐像	曽根96	釋蔵寺	H19. 2. 5	1躯	
	30	民俗文化財 (無形民俗文化財)	桜井の獅子舞	桜井	桜井獅子舞 保存会	H22. 6. 2		
	31	有形文化財 (彫刻)	富士見厳島神社の社殿彫刻	富士見1-7-10	厳島神社	H23. 6.29	3点	
	32	有形文化財 (歴史資料)	銅造聖観世音菩薩立像	茅野683-1	善雄寺	H25. 8. 20	1躯	
	33	有形文化財 (考古資料)	灰釉双耳壷	太田2-16-2 郷十博物館金のすず	木更津市	H27. 4. 24	1口	

(1)番号:市の指定文化財については指定書の番号を用いているが、その他の指定等文化財については木更津市において次の文化財指定等区分ごとに通し番号を付した。

#### 文化財指定等区分

国指定=国の重要文化財 県指定=千葉県が指定した文化財 市指定=木更津市が指定した文化財

国選択=「記録選択制度」によって記録を残すべく選択された文化財(指定文化財とは異なる)

国登録=「文化財登録制度」によって文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する文化財(指定文化財とは異なる)

- (2)指定年月日:国選択および国登録に区分された文化財については、選択年月日および登録年月日にそれぞれ読み替えるものとする。
- (3) 欠番:市指定11号「板絵著色富士の巻狩図絵馬」、同25号「至徳堂関係資料」は、県指定文化財へ移行したことで欠番とした。市指定17号「高蔵寺本堂・山門・鐘楼」は、指定解除により欠番とした。
- (4)追加指定:国指定2の「上総掘りの用具」と県指定16の「至徳堂関係資料」については、当初指定後に追加指定が有った物件であるため、追加指定年月日を下段に併記した。

学校施設等

年		<b>九</b> 崇	42	831	24	18	954	950	703	009	829	624	201	808	603	273	006	006	006	10	66
11日現在		屋面運動場	1042		1,024	1,118							1,			1,				1,110	16, 199
令和元年5月		1111111	13, 234	19,838	20, 528	8, 433	21, 406	19, 140	16,863	15,680	21, 904	10,934	22, 280	27, 171	12, 596	22, 276	26, 708	17, 792	33, 140	35, 785	365, 708
令	m	みの商	1,090		4, 467	940	3,952	482	4, 447	2,285		104	7,616			2, 289	5, 768				33, 440
	和	運動 數 地	5,062	10,520	8,081	2,757	10,276	8,851	7,037	6,520	11,893	4,923	6,381	13, 359	3,727	7,625	10,425	7,438	6,696	15, 548	147, 119
	效:	<b>参</b>	7,082	9, 318	7, 980	4, 736	7, 178	9,807	5, 379	6,875	10,011	5, 907	8, 283	13, 812	8, 869	12, 362	10, 515	10, 354	26, 444	20, 237	185, 149 1
		建敷	13	12	6	7	6	15	∞	9	5	2	11	6	9	15	6	9	8	10 2	
		連路資幹・ 計	_																		0 166
	=	教育相談 指導) 语词	27		27							1				1				1	16
	•	<b>华</b> 表 形 后 一	3	4	1		2	2	7	7			3	2		4	1	2	1	3	35
		図書室	2			П			П	П	1	П	2	П	П	2	П			1	21
	<b>V</b> ***	ロンプ 4ーダ	П		П		П	П			1	1	П	1		1		П	П	1	18
	教	祝聴覚	П														П				3
	•	作国語)																			0
	別	※	1		П	П	П	П			1	П	П			1	П	П		1	18
		(技術)																			0
	特	(業 能 )																			0
		図画工作	1	1	1	1	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	15
		抽 楽	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	2	1	1	1	1	18
		生 活						П								1			П		3
		型 科	1	П	7	П	Т	Т	7	7	1	1	Т	1	7	2	П	Т	П	1	19
		普通教室	17	18	2	13	19	15	11	∞	10	8	22	91	∞	22	23	18	31	33	298
	m²	111111111	5, 811	4,828	2,694	3, 126	5, 371	5, 433	3, 748	2, 265	2,674	1, 462	6, 035	6, 182	2, 999	6, 919	6, 121	5, 924	5, 593	8, 120	85, 305
		<del>长</del>		33	33	19	46	20			62	1429	53	29	78		33				1,873
	41	鉄骨ブック		12	152		348	19	62	32	29		102	132	208	132	207	1,023	1,720	8, 120	12,636
	效	<b>袋</b>	5, 811	4, 783	2, 509	3, 107	4, 977	5, 394	3, 686	2, 233	2, 545	33	5, 880	5, 983	2, 413	6, 787	5, 881	4, 901	3,873		70, 796
					20	4							9	2	-1	5	22	3	3	1	
		鲁 年 月 日	M 6.	M 6. 2.	M20. 5.2	M 6. 5.	M 6. 4.	M 6.	M41. 4.	M 6. 7.	M26.8.	M 6.	S45. 4.	S46. 4.	M 5. 8.	S49. 4.	S53. 4.	S54. 4.	S56. 4.	H26. 4.	
校		~	<b>4</b>	÷	÷	÷	÷	÷	<del>\( \lambda \)</del>	<b>4</b>	\rangle	÷	見台小	<del>\( \)</del>		4	÷	÷		Ý	11111111
小手		学校各	無	新二二	東清	西清	南清	岩	波囲	鎌足	金田	中郷	清見台	高柳	富来田小	祇園	畑 沢	計画	八幡台小	真角	
0		No.	1	2	3	4	2	9	2	∞	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	

- 96 -

日現在	屋」	1,065	1,051	1,029	1,067	875	296	843	266	1,018	1,000	1,040	066	11, 942	28, 141
令和元年5月1日現在 m²	# <u></u>	22, 360	18, 297	15, 150	29, 146	22, 934	16, 393	32, 693	31, 663	32, 920	25, 403	28, 264	22, 813	298, 036	663, 744
合和 m	その音		1, 268			935			4, 109		2,352	2, 512	721	11,897	45, 337 6
型	運動場 地	11, 404	9, 327	8, 404	17, 811	13, 272	10, 443	25, 086	13, 459	18, 971	12,659	17, 322	11, 208	169, 366	316, 485
校.		10,956	7, 702	6, 746	11, 335	8, 727	5, 950	7,607	14,095	13,949	10, 392	8, 430	10,884	116, 773	301, 922
	<del>1</del> -	14	14	12	13	6	10	13	11	11	11	13	10	141	307
-	進路資料·	2	П	П						П				2	2
	教育相談 指導	က	2		3	П	П	1	2	2		П	2	20	36
-	<b>本</b> 別 に 動	1	2	П	П	П	2	4		П	П	4	1	19	54
tart.	図書室	1			П	П	П	1	1	1	-1	П	1	12	33
例	ロンプ 4- <i>を</i>	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	30
教	超電河								1		-1			2	2
-AKtr	<b>夕</b> 国語							1						1	1
別	<b>※</b> A	1	2	2	П	П	П	1	1	1	П	П	1	14	32
	技	1		1	П	П	-	1	1	1		-	1	12	12
华	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	1		1	П	П	-	1	1	1		-	1	12	12
	図画日布)													0	15
		-	-		27			1					1	13	31
	(年 年 )													0	3
-	<b>一</b>	67	67	27	67			1	2		27	67	1	19	38
	普通教室	12	17	12	6	3	22	9	20	14	∞	13	13	132	430
	<del>1</del> 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	4, 198	4, 304	5, 159	4, 472	1, 942	2, 104	3, 343	4, 915	3, 998	4, 099	4,640	3, 794	46, 968	132, 273
m,	<del></del>	41			36	92	92	100	26	92	99	92	43	632	2,505 1
<b>∜</b> □ '			86	4, 978	54		340	23	352	243	162			6, 250	18,886 2
故		157	206	181	382	998	672	220	537	629	871	564	751		
	樂	4, 1	4, 2		4,3	1,866	1, 6	3, 2	4, 5	3,6	3,8	4, 5	3, 7	40,086	110,882
	拉皿	4.22	5.10	4. 1	4.30	5.10	5.10	5.10	4. 5	4. 5	4. 1	4. 1	4. 1		
	争用	S22.	S52.	S55.	S57.	S58.	Seo. ,		<b>√</b> □						
核	死	+	#	#	#	+	+	中田	+	#	中国	#	#	11111111	小中学校
計 田 —	华校名	無	第二	無	岩根	鎌足	金田田	富米田	大田	畑 沢	岩根1	波岡	清川		小中
0	No.	1	2	3	4	2	9	2	8	6	10	11	12		

〇 木更津市学校給食センター	_		今和2年]	令和2年1月1日現在
開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
平成21年4月1日	潮見二丁目13番地1	鉄骨造2階建	5, 474. 00 m <sup>2</sup>	2, 524. 08m²
〇 木更津市まなび支援センター	Ţ		令和2年]	令和2年1月1日現在
開記在日日	11. 11.	四等大井	#7 77 77	# 十十 #

778. 61 m²	2.314.45m²	鉄筋コンクリート语2階建て	朝日一丁目8番17号	昭和55年4月1日
延床面積	敷地面積	構造階層	所在地	開設年月日
月1日現在	令和2年1月			〇 木更津市まなび支援センター
2, 524. 08 <i>m</i>	5, 474. 00 m <sup>2</sup>	鉄骨造2階建	潮見二丁目13番地1	平成21年4月1日
Z H W H	AL MICHAEL			

# 社会教育施設

龙	430. 7. 1 430. 6. 30																		
備	移転新築 S51. 2. 1 移転(賃借)H30.7. 青年の家廃止H30.6.	改築 H14. 1. 1	改築 S51. 4. 1	改築 S55. 4. 1	改築 S55.10.1	一部改築 S63.3.31											移転新築 S49. 7.31	旧 県立 上総博物館	
煙染延面槓 m²	972. 89 376. 00 (95. 58)	2, 318. 90	564.08	514.17	99 '899	265.23	549.92	635.24	572.14	748.63	1, 402.74	19.829	663.62	89.88	773.134	1, 045. 49	1, 994. 11	2603.11	875.82
叛地固惧 m²	972. 89 376. 00	6, 082. 60	582.21	4, 108. 36	1, 260. 62	1, 090.89	1, 388. 88	6, 002. 48	1, 861. 35	3, 307. 71	1,870.06	2, 871. 49	2, 392. 60	2, 207. 47	3, 192.81	2, 997. 60	5, 071. 53	2, 638. 92	114,809 出田30,000
部 屋 名	スパークルシティ木更津6階/第1~7会議室 アクア木更津B館3階/多目的ホール (集会室3、和室)	展示ホール、多目的ホール、テリンジ、図書室、保育室、体育室、和室、茶室、調理実習室、工芸実習室、会議室、研修室第1・2、学習相談室、ブループ、交流スペース、更衣室、印刷室	学習室1.2.3.4、集会室、休養室、保育室	研修室、学習室、調理実習室、和室、工作室、図書室	児童図書室、和室、視聴覚室、研修室1・2、調理実習室	集会室2、会議室、研修室、和室、資料室	集会室、学習室、休養室、保育室、オーデイオ室	図書室、和室1.2、実習室、学習室1.2、集会室	研修室1.2.3、調理実習室、図書室	集会室、図書ネール、和室、研修室1・2、調理実習室	7リーナ、ミティング 室2、更衣室2	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、調理実習室	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	集会室、学習室1·2·3、調理実習室、図書室、休養室	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、学習室3、調理実習室	貸出室(一般・児童)、会議室、和室、郷土資料室、参考調査室、 書庫1・2、館長室、事務作業室、別棟恵春庵	本館 (展示室9、収蔵庫2) 、新収蔵庫、旧安西家住宅、保管庫 (旧金鈴塚遺物保存館)	管理棟、キャビン6、テントバース7、炊事場2(カマド20基)、便所2、   唇根付広場:自由広場、シャワー室
構造階層	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・地上9階建て(一部3階建て) (木造平屋)	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄筋コンクリート造平屋建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄骨造平屋建て	鉄筋コンクリート造2階建て 一部木造平屋建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄骨造2階建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄筋コンクリート造2階建て	鉄筋コンクリート造3階建て ほカン	プレハブ平屋建て (管理権)
所在地	富士見1-2-1 (畔戸230)	真里谷110	高柳3-2-1	矢那899-1	井尻789-1	下郡1770-1	文京2-6-54	八幡台4-2-1	笹子469-1	青見台南5-1-29	清見台南5-1-29	畑沢1,053-12	江川934-1	永井作2-11-12	大久保5-7-1	桜井新町4-2	文京2-6-51	太田2-16-2	真里谷5343-8
設置年月日	S38. 4. 1 (S50. 3.28)	842. 4. 1	S32. 10. 1	S32. 10. 1	S32. 10. 1	S42. 4. 1	S55. 4. 1	S55. 12. 1	S57. 4. 1	S58. 4. 1	S58. 7. 1	S59. 4. 1	S61. 4. 1	Н 2. 4. 1	Н 5. 4. 1	H14. 4. 1	S 4. 3.25	H20. 4. 1	S60. 4. 1
施 設 名	中央公民館(畔戸分館)	富米田公民館	岩根公民館	鎌足公民館	中郷公民館	富岡公民館	文京公民館	八幡台公民館	東清公民館	清見台公民館	清見台コミュニティー センター 附属 体育館	畑 沢 公 民 館	岩根西公民館	西清川公民館	波岡公民館	松井公民館	図書館	郷土博物館金のすず	少年自然の家キャンプ場

# 令和元年度 木更津市の教育

発 行 日 令和 2 年 3 月発 行 木更津市教育委員会編 集 教育部 教育総務課

〒292-8501 木更津市朝日三丁目10番19号電話 0438 (23) 5243
FAX 0438 (25) 3991
E-mail kyo-soumu@city.kisarazu.lg.jp
HPアドレス http://www.city.kisarazu.lg.jp/